



報告事項

報告事項 1

協議会議長

澤 辰水

一般社団法人日本ライオンズ執行理事会・理事会・社員総会 報告

- 【一社日 L】 第 7 回理事会議事録 (2024/01/19 開催) 未着
- 【一社日 L】 第 8 回理事会議事録 (2024/02/26 開催) 未着
- 【一社日 L】 第 9 回理事会 (2024/03/19 開催)
- 【一社日 L】 第 3 回社員総会 (2024/03/19 開催)

報告事項 2

一般社団法人日本ライオンズ副理事長

池原 堅

2024～2025 年度（メキシコ大会）国際理事推薦候補者について

【第 1 回国際理事候補者資格審査委員会（2023/08/09 開催）議事録より抜粋】

MD334 L 仁科 良三の推薦書を確認の結果、資格審査が承認され、日本ライオンズ推薦候補者に決定した。

- 【一社日 L】 第 1 回国際理事候補者資格審査委員会議事録 (2023/8/9 開催) P6～7
- 複合地区と地区年次大会 大会誌への掲載依頼状 P8
- 複合地区と地区年次大会 大会誌への掲載依頼状（補足） P9
- L 仁科 良三 所信 P10
- L 仁科 良三 経歴 P11

第62回OSEALフォーラム（札幌）支援協力について

- ① 協力金：会員一人当たり 2,000円
 - ② いつ現在の在籍会員数か？⇒2024年7月1日現在の在籍正会員を対象とする
子会員（二人目以降の家族会員）、学生会員、支部会員を除く
 - ③ いつまでにとりまとめて送金するか？
⇒理事会で配布された文書中では 2024 年 6 月までにとりまとめとなっておりますが、
札幌フォーラム委員会へ確認したところ、最終的に 2024 年 12 月までにおとりまとめ
頂きたいとの要望がございます。
- 一般社団法人日本ライオンズからの支援協力依頼状 P12

報告事項 3

複合地区年次大会委員長

勝本 竜一

第 70 回複合地区年次大会下関ホスト事務局会計残高証明書について

1/25 第 3 回ガバナー協議会にて複合地区上半期（2023 年 7 月～2023 年 12 月）会計監査報告を実施、その際、岡村元議長（社団監事）より、大会ホスト事務局口座（西京銀行）について、残高証明書を添付するようにとの話があった。

残高証明書 P13

報告事項 4

LCIF コーディネーター

高岡 英治

LCIF 進捗状況について

2024 年 2 月 21 日(水) 午後 2 時 45 分～午後 4 時 15 分

MD336/MD337 第 3 回 LCIF 開発会議 (ZOOM)

議 題

1. 進捗状況
2. 2 月の LCIF 活動を振り返って
3. 能登半島地震支援の取り組みアップデート
4. 年次大会準備、5 月 21 日 FVDG/DGE 研修、LCIF 日本写真コンテストへのご協力の
お願い、2021 年～2022 年 LCIF 年次報告書のクラブ送付などのお知らせ

能登半島地震支援指定寄付（2/19 現在速報値）	P14
地区年次大会等の行事における LCIF 表彰の準備について	P15
第 3 回 LCIF 開発会議出席者名簿	P16
FY23-24 前期 LCIF 表彰案内	P17
LCIF 表彰早わかり表	P 当日資料 A3
LCIF 日本写真コンテスト募集要項	P18～19
LCIF 寄付一覧表 2 月分（2/19 現在速報値）	P20
LCIF 寄付一覧表 2 月分（〇/〇現在速報値）	当日資料

報告事項 5

GMA 世話人	真鍋 隆
---------	------

国際本部集計クラブ数・会員数（2 月末現在）	P21
------------------------------	-----

報告事項 6

GMT・GMA コーディネーター	池原 堅
------------------	------

336 複合地区地区健康診断レポート(2 月末現在)	P22
----------------------------------	-----

複合地区最終確認および次年度の引継ぎ会議開催について 次年度引継ぎ会開催のお願い（2/29 GATJapan からの配信メールより）	P23
---	-----

ミッション 1.5 ピン配布について ミッション 1.5 ピン配布についての案内	P24
---	-----

報告事項 7

SCP・FWT コーディネーター	鵜飼 恵美
------------------	-------

2 月度会員増強報告	P25
------------------	-----

報告事項 8

会則および付則運営マニュアル編集委員会委員長	松岡 諒
------------------------	------

複合地区・地区年次大会への議案上程と承認決議依頼箇所について
※ライオンズ必携新旧会則対照表を基に説明

【第 1 号議案（MD336 大会提出議案 日本ライオンズ上程議案部分 協議事項 P6）】 ライオンズ必携 61 版改定 複合地区会則	協議事項 P10～24
--	-------------

【第 2 号議案（MD336 大会提出議案 日本ライオンズ上程議案部分 協議事項 P6）】 ライオンズ必携 61 版改定 国際理事候補者資格審査委員会規則	協議事項 P25～26
--	-------------

【一社日 L】第 6 回委員会議事録（2024/01/22 開催）	P26～32
【MD336】第 4 回委員会議事録（2024/01/23 開催）	P33
【一社日 L】第 7 回委員会議事録（2024/02/22 開催）	P34～39

報告事項 9

アラート委員会委員長	西尾 慎一
------------	-------

「全国アラートフォーラム in 岡山」について
開催日：2024 年 2 月 3 日（土）
出席者数：フォーラム 496 名 懇親会 299 名

【一社日 L】第 3 回委員会議事録（2023/11/13 開催）	P40～48
【一社日 L】第 4 回委員会第 1 回能登地震支援対策本部会議議事録（2024/01/22 開催）	P49～52
【一社日 L】第 2 回緊急委員会議事録（2024/02/15 開催）未着	
【一社日 L】第 5 回委員会議事録（2024/03/11 開催）未着	

報告事項 10

青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会委員長

春木 扶佐子

ライオンズクエスト普及活動及び今後の活動予定について**ライオンズクエスト活動予定と LCIF 交付金の進捗状況****① 336-A 地区**

ライオンズクエスト交付金報告書 提出

報告対象期間：2021年7月～2023年8月

LCIF 交付金の金額：US\$ 11,700 (1,592,343 円)

ライオンズクエスト交付金申請書 提出

申請日：2024年1月31日 申請金額：US\$ 11,300

事業実施計画：ワークショップ4回・セミナー2回

ワークショップ 高知市・土佐市・鳴門市・高松市（対象：学校関係者）

セミナー 学校関係者・ライオンズメンバー 対象

② 336-B 地区 進展なし**③ 336-C 地区**

福山市内私立3校でワークショップ開催予定 7月25日・26日

広島市の小・中学校でワークショップ開催予定

三原市など、コロナ渦でワークショップが止まっている教育委員会へ再開の働きかけを行っている

④ 336-D 地区メンバー対象の1日ワークショップ 2024年6月15日（山口市）16日（大田市）
開催予定

LCIF 交付金申請に向けて対象校のリストアップを行い、準備をしている

委員会開催

・第2回委員会 2月21（水）web開催 12:30～14:30 ※議事録参照

出席者：澤協議会議長・三口担当地区ガバナー・担当委員長・副委員長・準地区の4委員長
青少年育成支援フォーラム馬淵事務局長

準地区4人の委員長にライオンズクエストの普及活動報告と LCIF 交付金の進捗状況を報告いただいた。

青少年育成支援フォーラム (JIYD)馬淵事務局長によるライオンズクエストについて講演をいただいた。※資料参照

その他

・一般社団法人日本ライオンズより委員会名の件でアンケート調査があった。

今後の予定

- ・336-A 地区 3月31日（日）香川県高松市でメンバー対象の1日ワークショップを開催
- ・薬物乱用防止活動とライオンズクエスト普及活動を連携して活動を提案する
- ・第3回委員会を5月に開催予定

【MD336】第2回委員会議事録（2024/02/21 開催）…………… P53～56

JIYD 馬淵事務局長講演資料…………… P57～66

報告事項 11

YCE・国際関係・レオ・平和ポスター委員会委員長

蔵本 守雄

【一社日L】第4回委員会議事録（2024/01/16 開催）…………… P67～71

【MD336】第4回委員会議事録（2024/02/24 開催）…………… P72

2024-2025 年度ポスターコンテストについて**※2024年11月20日（水）迄に複合事務局宛で各地区より1点をお送りください。**

12月上旬に複合地区にて最終審査会を実施し、1点を国際協会へ提出いたします。

なお、最優秀賞として国際協会へ提出された作品につきましては返却されません。

オセアル調整事務局からの案内（2/9 配信）…………… P73

概要…………… P74～76

委員長ガイド…………… P77～81

報告事項 12

環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会委員長

田中 秀幸

【A 地区井出委員長からの報

告】 今期反省等

- ① 委員長として国際大会で情報を取得すべくセミナーをたくさん受けてきました。その中で環境保全に関するもので「マイクロプラスチックの害」と題して30人ほどが座れる小さなセミナーが行われていました。そこで講演されていたのが「Dr. Nancy Messmer」でこの方がアメリカでこの件を訴えて、その後国連に働きかけて現在の世界的な運動になったということです。そばにいた元ガバナーの方が説明してくれて名刺もいただきました。この Dr. Nancy Messmer はライオンズメンバーです。つまりこの運動はライオンズが広めたという事です。
- ② 期の初めの地区役員・委員研修の際に環境セミナー的な話をさせて頂いて、子や孫の世代が生き残る環境を残すのは我々に課された義務だと訴えました。その手始めに「紙の使用量削減」を今期方針に掲げ、無駄を省くという意識を植え付けるよう努力しました。
- ③ 「不要眼鏡のリサイクル」を方針に掲げ、不要眼鏡のリサイクル、リユースがSDGsにも合致しており推進しました。年次大会でその収集した不要眼鏡を回収する箱を用意して、そこへ入れて頂く予定です。目に見える成果を確認し、地区の奉仕の成功を称えたいと思います。これはよく国際大会で行われている事です。
- ④ 年次大会の際にアクティビティーとして大会会場近くの公園清掃を行います。年次大会に参加するだけではなくてアクティビティーに参加することも目的として頂いて、参加意識の向上を目指します。
- ⑤ 8月初めの広島での日赤の血液センター研修は素晴らしい研修でした。大変勉強になりました。
- ⑥ 第三回委員会はZoomで行いました。
- ⑦ 献血セミナーは2R、香川県、高知県で行われた大会に参加させて頂きました。
- ⑧ 若年層（20～30代）献血者の減少や、骨髄移植ドナーが少ない原因はどちらも「重要性の理解が不足している」と考え、教育の為の簡単なスライドを作成し、各クラブが取り組んでいる薬物乱用防止教室スライドに入れてもらうよう配布する予定です。
- ⑨ 複合の役員連絡会議の内容は大変分かりにくいものでした。日本の衰退の原因である社会の効率が悪い一端はこの会議の非効率にあると思います。内容を簡単な図解等でプレゼンをして頂ければ分かる問題だと思いますので、パワーポイント、Zoomを多用し、効率化を図って、良いアイデアを持ち寄ってより良いものを目指していく必要があると思います。 以上

【D 地区高島委員長からの報告】

前回のガバナー協議会以降、表に出るような活動はありません。

今後は次期委員長、副委員長への申し送りと各県の移植医療財団や血液センターとの次年度に向けた連絡調整が主な活動となる見込みです。

研修会については財団との早めの調整が必要となりますので、できるだけ早く申し送りをしたいと考えています。

またこの2年を振り返って課題として見えてきたことがあります。

一つは献眼登録者とその家族が角膜提供の意思を継続的に共有しておくことです。そのためには各県の財団とも話し合う必要があるのではないかと考えています。

二つ目は会員でも積極的に献血される方がおられますので、クラブ活動以外でも献血者数のカウントにつながるような方策を立てたいと感じました。

以上のことは次期委員長、副委員長への申し送り事項にしたいと考えておりますが、次期役員の意向が最優先となりますので活動の助言としてもらえばよいと思っています。

ライオンズクラブ献血推進の基本方針（2023-2024）	P82
献血推進・協力実績 令和5年度（上期 2023/07-12）	P83
献血推進・協力実績 令和5年度（下期 2024/01-02）	P84

報告事項 13	
長期計画委員会委員長	酒井 公一

- ① 一連のパンフレット類の作成完了及び配布について
- ② 長期計画委員会の今後の活動方針報告について

報告事項 14	
ライオン誌日本語版委員会委員	上田 隆政

- 【一社日 L】 第 7 回委員会議事録（2024/02/07 開催） P85～87
- 【一社日 L】 第 8 回委員会議事録（2024/03/04 開催） P88～89

報告事項 15	
国際大会委員長（日本ライオンズ国際大会委員会 MD336 担当委員）	徳永 修

メルボルン国際大会 2024 年 6 月 21 日（金）～25 日（火）

MD336 登録状況 3/21 時点

登録パターン	人数
現地参加登録（近ツーオフィシャルツアー申込）	10
現地参加登録(近ツー準オフィシャルツアー申込)※変則日程	21
現地参加登録（自己手配）(近ツーへ登録代行申込) ※要別途@2,200 登録代行手数料	35
現地参加登録（完全自己手配）	0
現地参加なし 登録のみ（近ツーへ登録代行申込） ※要別途@2,200 登録代行手数料	5
現地参加なし 登録のみ（完全自己手配）	0
計：	71

- 【一社日 L】 第 5 回委員会議事録（2024/01/18 開催） P90～92

その他報告事項



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-IDC 資-M1>

(2023-2024 年度)

第 1 回国際理事候補者 資格審査委員会【ハイブリッド】

2023 年 8 月 9 日 (水) 13 : 30-16 : 00

会場：日本ライオンズ事務所（東京都京橋）+ZOOM

10.23 訂正版

司会：専務理事 増澤 義治

出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之	(八戸 LC)
委員長	松本 宰史	(南房総 LC) 【WEB】
副委員長	栗村 安弘	(大船渡 LC) 【欠席】

各複合地区委員

MD330 委員	石原 英司	(上野原 LC) 【WEB】
MD331 委員	諏訪 昇三	(札幌時計台 LC) 【WEB】
MD332 委員	下間 俊悦	(男鹿 LC) 【WEB】
MD333 委員	藤原 宏高	(船橋中央 LC) 【WEB】
MD334 委員	藤井 大川	(名古屋サウス LC)
MD335 委員	一盛 広樹	(舞鶴 LC) 【WEB】
MD336 委員	酒井 公一	(高知りょうま LC) 【WEB】
MD337 委員	吉見 章一	(宮崎ひむか LC) 【WEB】

一般社団法人日本ライオンズ

専務理事/日本ライオンズ事務局長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
前理事長	村木 秀之	(東京数寄屋橋 LC)
法律顧問	池田 和司	(東京桜門 LC) 【欠席】

1. 開会宣言 招集権者 一般社団法人日本ライオンズ理事長 田名部 智之
昨日、村木前理事長から理事長を引き継ぎました。日本のライオンズがスムーズに運営しますよう協力依頼。
2. 委員長・副委員長あいさつ
当委員会が問題なくスムーズに進んでいくことを望む。
3. 出席者紹介 別紙参照
4. 議事録作成人の指名 MD331L 諏訪 MD334L 藤井
5. 確認事項について 松本委員長が進める



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-IDC 資-M1>

- ① 推薦委員会から資格審査委員会への名称変更について
前年度より名称が変更されている。推薦・手続き関係をお願いしたい。
- ② 国際理事候補者推薦手続規則の確認
60 版ライオンズ必携に記載されている各項目を本日審査する。
- ③ 2024-2026 年度国際理事選出の確認
■国際理事立候補の資格
オセアルのガイドラインもガイドラインにそって審査する。

6. 資格審査

- ① 提出された推薦要望書について
MD334 L 仁科良三より 7 月 25 日推薦要望書が提出された。7 月 31 日までに提出された方は 1 名のみ。
 - ・L 下間委員 質問、第 1 回の本委員会を開催して公募を募るべきではないか？
 - ・委員長回答 日本の枠がどれだけあるかわからないが手続き上の資格を持っている人で出された方を審査して推薦する。
 - ・専務理事 14 条の規約通りに進めていく。
- ② 推薦要望書の内容確認と資格審査
ライオンズ必携第 60 版第 2 章 168-169 ページより抜粋
国際理事候補者推薦選挙手続規則
第 2 章 国際理事候補者推薦選挙管理委員会 第 14 条 2 項より
(2) 推薦要望書には、次の書類を添付するものとする。
 - (a) 候補者の氏名、履歴、所信を記載した書面
 - (b) 所属する準地区および複合地区年次大会での推薦決議が記載された議事録の写し。
 - (c) クラブ会長、地区ガバナー、複合地区ガバナー協議会議長の推薦書
- ・オセアルのガイドラインに基づく審査
各推薦書等を確認 L 仁科良三の資格審査の承認を挙手にて承認した。

7. 上記に伴う事務処理について

7 月 31 日までに推薦要望書を出された方が 1 名、8 月 10 日までに委員会を開催した。
日本ライオンズの推薦候補者に決定した。

8. 閉会宣言

日本ライオンズとして推薦をしていくプロセスとしてのルール・ガイドラインの足りないところや各複合との名称等に差異の調整各項目を会則委員会で検討する。審査項目のチェックシートとかガイドラインに書かれているものの提出書類も統一化され審査がしやすくなる。資格審査委員会・会則委員会と連動してルールを作って頂くことを願っております。

議事録作成人 MD331 委員 諏訪昇三・MD334 委員 藤井大川



LIONS INTERNATIONAL

OFFICE OF DISTRICT GOVERNORS' COUNCIL MULTIPLE DISTRICT 334 JAPAN

Higashiyama Bldg. 6F, 2-43-12 Meieki, Nakamura-ku, Nagoya, 450-0002 Japan
E-mail: lions334@lilac.ocn.ne.jp Tel: 052-581-0777 Fax: 052-581-0779

2024年 2月 6日

336 複合地区ガバナー協議会
議長 澤 辰 水 様

ライオンズクラブ国際協会
334 複合地区ガバナー協議会
議長 戸 祭 宏 樹
334 複合地区国際理事立候補者支援委員会
委員長 山 邊 正 重

複合地区大会誌・地区大会誌への
国際理事候補者経歴書・所信表明 掲載についてのお願い

謹 啓 浅春の候、貴職におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

当複合地区の L.仁科良三(334-E地区 長野みすずライオンズクラブ)の 2024~2026 年度国際理事立候補にあたりましては、貴職並びに貴複合地区構成員各位の絶大なるご指導とご支援を賜っておりますことに対し厚く御礼申し上げます。

さて、仁科良三候補者は日本ライオンズの国際理事推薦委員会および理事会においても日本ライオンズの推薦を確認いただき、メルボルンでの国際大会に立候補する予定でありましたが、現状ではオセアルでの日本の国際理事立候補者枠が無いため、2024~2025 年度のメキシコでの国際大会に立候補する運びとなりました。

しかしながら、会員の皆様に仁科良三候補者について周知いただきたいと存じますので、貴複合地区並びに貴複合地区内各準地区におかれましては、来る年次大会開催の準備に就いておられるかと存じますが、当該年次大会において発行されます複合地区年次大会誌並びに各準地区年次大会誌に仁科良三候補者の経歴書と所信表明を掲載していただきますようお願い申し上げます。

候補者のデータファイルを添付させていただきますので、貴複合地区内各地区ガバナーへもこの旨ご伝達委いただきますよう重ねてお願いいたします。

終りに、貴複合地区並びに構成準地区の益々のご発展と年次大会の成功を念じまして、お願いとさせていただきます。

謹 白



LIONS INTERNATIONAL

OFFICE OF DISTRICT GOVERNORS' COUNCIL MULTIPLE DISTRICT 334 JAPAN

Higashiyama Bldg. 6F, 2-43-12 Meieki, Nakamura-ku, Nagoya, 450-0002 Japan
E-mail: lions334@lilac.ocn.ne.jp Tel: 052-581-0777 Fax: 052-581-0779

2024年 2月16日

複合地区ガバナー協議会議長 各位

ライオンズクラブ国際協会
334複合地区ガバナー協議会
議長 戸祭宏樹

複合区地区大会誌・地区大会誌への
国際理事候補者経歴書・所信表明 掲載についてのお願いの補足

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。貴複合地区の一層の発展を心よりお祈り申し上げます。

さて、以前にお伝えさせていただいた、複合地区・地区年次大会記念誌への仁科良三国際理事候補者の経歴書及び所信表明の掲載に関するお願いについて、いくつか補足させていただきたく存じます。

仁科良三候補者につきましては、2023年8月9日に開催された第1回日本ライオンズ国際理事候補者資格審査委員会において、添付の議事録にもございます通り、審査の結果、推薦を賜りました。

- ・オセアルのガイドラインに基づいた審査を行い、L.仁科良三の資格審査の承認を挙手にて確認
- ・7月31日までに推薦要望書を提出した方が1名おり、8月10日には委員会を開催し、日本ライオンズの推薦候補者として決定

また、この件は第2回理事会でも報告されております。

これらの経緯を踏まえ、貴複合地区の皆様には、次の国際理事選挙に立候補する仁科候補者の経歴と所信について広くご理解いただくため、可能であれば年次大会記念誌に掲載いただけますと幸いです。ただし、これはあくまでもお願いの域を超えず、強制するものではございませんので、ご判断は貴複合地区の方針にお任せいたします。

仁科候補者の経歴と所信に対するご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

敬具



国際理事候補者としての所信

I. フィロソフィー

- 自由でフラットな生活社会の実現
- 世界中の人々に幸せな人生を送っていただきたい。

II 重点活動項目

- ライオンズクラブ国際理事として、LCI で下記の重点項目を中心に活動していきます。

【1】 民族を超えて紛争の無い平和な世界の創造

地球上には国連が認めた日本を含めて 196 の国が存在します。

最近では、ニウエ(2015年5月15日)、南スーダン(2011年7月9日)及びクック(2011年3月25日)が承認されています。また世界には 6000 以上の言語があり、たとえばネパールのような小さな国でも、12 以上の言語が存在し、パプア・ニューギニアにいたっては 840 以上の言語があるといわれ、それぞれ異なる言語文化を持ち暮らしています。世界の国々が自らの文化や言語を大切に、民族を超え、安心して暮らせる、フラットな生活社会、戦争の無い平和な世界を創り上げたいと思います。

【2】 世界の貧困問題の解消に向けて

世界中に貧困と言われる人々は 10% 以上います。特にアフリカに多く、LCIF は長年にわたり支援をしています。貧困ラインとは、世界銀行が定めている貧困の定義では 2015 年以降、1 日当たり 1.9 ドルという数値を採用し、この数値以下で生活する層を貧困層と定義しています。1.9 ドルという数値は、購買力平価 PPP に基づき定められたもので、定期的に見直しが行われています。2017 年のデータによると、世界の 10.74% が貧困層に当てはまり、地域別にみると、サハラ以南のアフリカの国々の割合が 41.18% と、突出して高いことがわかります。

一日一杯の食事もない人々に支援をしながら、貧困を世界中から無くし、世界がフラットに生活出来る社会づくりを支援していきます。

【3】 世界の子供達が平等に学べる社会づくり

世界中に学校に行けない子供が沢山います。2015 年に持続可能な開発目標が採択され、その目標 4 (SDG4) では、2030 年までの普遍的な初等・中等教育 [1] の提供が約束されました。しかし学校に通っていない子どもの人数は一向に減少していません。2018 年の統計では、学校に通っていない子ども（非就学児／不就学児）は、世界で 2 億 5,840 万人います (UIS, 2019)。非就学児が最も多い地域のサハラ以南アフリカでは、約 3 人に 1 人 (31.2%) の子どもが学校に行っていません (World Bank, 2020)。世界中の子供達が学校に通い学ぶ事が出来る社会に支援していきます。

【4】 生きる基盤づくり：世界の飲料水対策の推進

日本のように水道水が飲める国は 15 か国しかありません。日本は水道インフラが整っており、日本人にとって水道水が飲めるのは普通のことと感じています。しかし世界のほとんどの国では、水質の高い水道水が提供されているとは限りません。LCIF では飲み水の無い地域に井戸を掘って、生活水に当てる活動をしてきていますが、更に推進して人々が生きる基盤をつくります。

【5】 まとめ

基本的に日本は支援国であり、これら被支援国に LCIF を中心に支援していきます。

ライオンズのセカンドセンチュリー 次の 100 年に向けての取り組みが早くも 7 年目になりました。私が目指す国際理事期は 110 周年を迎えます。オール JAPAN ライオンズの培った絆で、世界奉仕活動のリーダーシップをとってまいります。

経 歴 書

2024年4月1日現在

(ふりがな)	にしな りょうぞう		334 — E 地区 2 R 3 Z	
会 員 名	仁 科 良 三		所属クラブ	長野みすずライオンズクラブ
生年月日	昭和24年（西暦1949年）5月 9日 年令 74才		会員番号	856614
勤 務 先 (会社名)	住 所	〒 381-0038 長野市東和田804-2		
	電 話	026-243-1112	勤 務 先	(株)ホンダカーズしなの
	FAX	026-243-1417	役 職 名	代表取締役
	E-mail	cdry22006@g.nihon-u.ac.jp		
自 宅	住 所	〒381-0037 長野市西和田1-28-1		
	電 話	026-244-1341	FAX	026-235-8000
	E-mail	cdry22006@g.nihon-u.ac.jp		
入会年月日	西暦1979年10月		結成・チャーター・メンバー	
	ライオン歴	入会以来45年間		
	1979年10月	結成メンバー		
	1980年4月	クラブ チャーターメンバー		
	1983-84年	クラブライオンテーマー		
	1993-94年	クラブ幹事		
	2003-04年	クラブ2年理事		
	2008-09年	クラブ第1副会長		
	2009-10年	クラブ会長		
	2013-14年	2R 3Z ゾーン・チェアパーソン		
	2013年12月	公認ガイディング・ライオン認定		
	2014年7月	長野グリーンシティLC 公認ガイディング・ライオン		
	2014年7月	山ノ内LC 優先クラブ 公認ガイディング・ライオン		
	2015-16年	クラブ1年理事		
	2016-17年	クラブ2年理事		
	2017-18年	第2副地区ガバナー		
	2017年12月	小布施LC優先指定クラブ 公認ガイディング・ライオン		
	2018-19年	第1副地区ガバナー		
	2019-20年	地区ガバナー		
	2019年	チャーターモナークシェブロンアワード		
	2020-2021年	334複合地区ガバナー協議会議長		
2020-2021年	一般社団法人日本ライオンズ副理事長			
2021-2022年	一般社団法人日本ライオンズ理事長			
2022-2023年	一般社団法人日本ライオンズ前理事長			
2023-現在至	一般社団法人日本ライオンズ元理事長			
学 歴				
日本大学 大学院 総合社会情報研究科 国際情報専攻 博士前期課程修了				
職 歴				
昭和53年 株式会社ホンダベルノ長野		代表取締役社長就任		
株式会社ホンダカーズしなの 代表取締役 現在至		東北信エリア 14店舗		
株式会社ホンダカーズ松本東 代表取締役 現在至		中南信エリア 12店舗		
株式会社ホンダカーズ長野東 代表取締役 現在至		北信エリア 4店舗		
		合計長野県内30店舗 グループ売上360億円		
株式会社ドリームモータースクール 代表取締役		卒業生 年 間 5,000人		
学校法人 長野日本大学学園 理事長		幼・小・中・高校 在校生 2,000人		
資 格				
昭和46年	ガソリン自動車整備士 取得			
昭和52年	中古自動車査定士取得 取得			
平成25年	漢方養生指導士 取得			
	漢方上級スタイリスト 取得			
表 彰				
令和4年10月 国土交通大臣 表彰				



日本ライオンズ発行 (2023-24 執-39)

2024 年 3 月 7 日

各複合地区協議会議長 様

一般社団法人日本ライオンズ
専務理事 増澤 義治

第 6 2 回 OSEAL フォーラム（札幌）支援協力について

前略 第 8 回理事会（鯖江）で 331 松浦議長からご説明がございましたが、MD331 からの札幌フォーラム協力金拠出のお願い文書中の協力金とりまとめ日に訂正があり、差し替え文書を準備中とのことです。

これに際して、第 8 回理事会では協力金の負担の対象となる会員（正会員）については申し合わせいたしましたでしたが、対象となる正会員のいつ現在の在籍数かを申し合わせを致しておりませんでした。年次大会議案上程の扱いを急がれている地区もありますので、いつ現在の在籍数に基づくかを理事会で申し合わせする必要があります。

また、協力金のとりまとめ日が MD 3 3 1 からの依頼文書では 2024 年 6 月までにと記されておりますが、あまりにも早い締め切りとなるため、この点につきましては次回理事会において下記の通り協議の上、決定致したいと存じます。

次回理事会（3/19）は社員総会日の同日午前 11 時から、日本ライオンズ事務所で開催となります。年次大会議案のお取扱いを急がれている場合もおありかと存じますが、お手数ながら今一度お待ちいただければ幸いです。 早々

記

第 6 2 回札幌フォーラム協力金拠出についての確認事項：

- ① 協力金： 会員一人当たり 2,000 円
- ② いつ現在の在籍会員数か？：2024 年 7 月 1 日現在の在籍正会員を対象とする
子会員（二人目以降の家族会員）、学生会員、支部会員を除く
- ③ いつまでにとりまとめて送金するか？：

理事会で配布された文書中では 2024 年 6 月までにとりまとめとなっておりますが、札幌フォーラム委員会へ確認したところ、最終的に 2024 年 12 月までにとりまとめ頂きたいとの要望がございます。

以上

CC： 田名部理事長、池原副理事長



残 高 証 明 書

令和 6 年 3 月 1 日

下関ライオンズクラブ第7
0 回複合地区年次大会
大会委員長 勝本竜一

殿

株式会社 西京銀行

下関支店

代理発行店 支援セン



預 金

貴名義の下記貸出金等について、令和 5 年12 月31 日現在の

残高を次のとおり証明いたします。

取引種類	番 号	金 額	摘 要
普通預金	2084388	¥4,072,700*	
		以下余白	

(この証明書の金額は、訂正いたしません。)

MD	District	合計 / Amounts
330	330-A	\$68,894.44
	330-B	\$60,801.77
	330-C	\$2,296.42
330 集計		\$131,992.63
331	331-A	\$36,369.71
	331-B	\$12,479.13
	331-C	\$3,249.87
331 集計		\$52,098.71
332	332-A	\$22,278.42
	332-B	\$18,350.08
	332-C	\$7,411.16
	332-D	\$15,404.01
	332-E	\$22,603.23
	332-F	\$2,000.01
332 集計		\$88,046.91
333	333-A	\$1,141.18
	333-B	\$16,703.80
	333-C	\$23,490.54
	333-D	\$26,149.04
	333-E	\$1,900.13
333 集計		\$69,384.69
334	334-A	\$208,807.77
	334-B	\$34,657.31
	334-C	\$44,455.52
	334-D	\$36,446.87
	334-E	\$26,997.45
334 集計		\$351,364.92
335	335-A	\$34,400.98
	335-B	\$37,201.94
	335-C	\$58,188.69
	335-D	\$25,998.85
335 集計		\$155,790.46
336	336-A	\$55,023.26
	336-B	\$16,913.74
	336-C	\$13,750.55
	336-D	\$46,395.62
336 集計		\$132,083.17
337	337-A	\$6,000.04
	337-B	\$21,386.06
	337-C	\$49,187.42
	337-D	\$29,085.10
	337-E	\$1,000.00
337 集計		\$106,658.62
総計		\$1,087,420.11

FY23-24 年次大会 LCIF表彰、ブース、ファンドレイジング活動計画および機材貸し出し申し込み

<提出期限>地区：2024年3月8日（金）、複合地区：2024年3月29日（金） 提出先：LCIFTokyo@lionsclubs.org

大会式典実施日は（社）日本ライオンズより共有いただいた情報を掲載しています。ご確認をお願いします。

LCIF表彰については、別添の「2023-2024年度 前期LCIF表彰のご案内」も参考にご検討ください。

機材（写真は別シートを参照ください）貸し出しの手続きについては、現在、調整中です。今期はパイロット事業として本表にて貸し出し希望をお伺いし、活動内容、寄付目標額を参考に事務局で決めさせていただきます。

その他ご要望がございましたらお書きください。マンパワーやリソースに限りがございますので十分に対応できない事もありますが、年次大会でのLCIF活動に必要なとされている事務局支援について把握できましたら幸いです。

地区名	大会式典実施日	大会参加者数	LCIF表彰実施の有無	LCIFブース設置の有無	ブース活動内容 具体的に	ファンドレイジング活動 具体的に	ファンドレイジグによる LCIFへの寄付目標額（円）	機材貸し出し希望	その他活動に必要な支 援のご要望
330-A	4月20日								
330-B	4月20日								
330-C	4月6日								
331-A	5月12日								
331-B	4月20日								
331-C	4月26日								
332-A	5月19日								
332-B	5月19日								
332-C	5月11日								
332-D	5月12日								
332-E	4月27日								
332-F	5月12日								
333-A	4月13日								
333-B	4月21日								
333-C	4月21日								
333-D	4月20日								
333-E	4月28日								
334-A	4月28日								
334-B	4月14日								
334-C	4月21日								
334-D	4月20日								
334-E	4月27日								
335-A	4月21日								
335-B	4月13日								
335-C	4月14日								
335-D	4月14日								
336-A	4月21日								
336-B	4月27日								
336-C	4月14日								
336-D	4月21日								
337-A	4月13日								
337-B	4月13日								
337-C	4月6日								
337-D	4月13日								
337-E	4月20日								
MD330	5月20日								
MD331	5月25日								
MD332	5月26日								
MD333	5月19日								
MD334	5月26日								
MD335	6月1日								
MD336	6月2日								
MD337	5月18日								

2023-2024年度第3回LCIF開発会議 MD336/MD337 出席者名簿

お名前	地区	役職名
L.山崎 勝彦	336-A	地区ガバナー/LCIF地区コーディネーター
L.石井 淑雄	336-A	第1副地区ガバナー
L.吉村 政男	336-A	青少年/LCIF/ライオンズクエスト委員長
L.藤井 信英	336-B	地区ガバナー/LCIF地区コーディネーター/複合地区LCIFコーディネーター
L.上原 正樹	336-B	第一副地区ガバナー・LCIF副地区コーディネーター
L.畑中 隆之	336-B	GST地区コーディネーター/LCIF委員長
L.三口 巖	336-C	地区ガバナー/LCIF地区コーディネーター
L.山崎 もとみ	336-D	地区ガバナー/LCIF地区コーディネーター
L.日下 眞二	336-D	地区LCIF副コーディネーター
L.中島 繁	336-D	地区LCIF副コーディネーター
L.新里 正雄	337-D	MD337ガバナー協議会議長
L.中村 巧	337-A	地区ガバナー
L.矢野 進	337-A	第一副地区ガバナー/地区LCIFコーディネーター/LCIFアンバサダー
L.萬矢 勝保	337-A	地区GET副コーディネーター
L.岡部 史卓	337-A	地区LCIF/アラート委員長
L.下堂 蘭 一将	337-B	地区ガバナー/地区LCIFコーディネーター
L.武永 健治郎	337-B	第一副地区ガバナー
L.山崎 裕司	337-B	LCIF/国際関係/国際大会委員長
L.古賀 義行	337-C	地区ガバナー
L.為永 一夫	337-C	第一副地区ガバナー
L.内田 信介	337-C	地区LCIF国際協調大会参加委員長
L.宇都 要一	337-D	第一副地区ガバナー
L.金城 寛	337-D	地区LCIF副コーディネーター/沖縄RC
L.下園 雄治	337-D	地区LCIF委員長
L.伊藤 竜彦	337-E	地区ガバナー/LCIF地区コーディネーター
L.早田 勝之	337-E	地区LCIF副コーディネーター

主催者

L.松岡 勲		LCIFエリアリーダー（西日本）
L.橋本 充好		LCIF副エリアリーダー（MD336・MD337担当）
L.高岡 英治	MD336	複合地区LCIFコーディネーター
L.吉村 千鶴子	MD337	複合地区LCIFコーディネーター
L.二場 安之	MD337	複合地区LCIF副コーディネーター

2023-2024 年度地区年次大会等の行事における LCIF 表彰の準備について

2023-2024 年度「前期」の表彰として 2024 年 2 月末まで(一部地区は 3 月末まで)の寄付実績で以下の表彰を準備します。

「後期」は 2023 年 3 月～6 月(一部地区は 4 月～6 月)までの寄付実績で作成予定です。

個人表彰

- LCIF 理事長感謝状ー今期 2024 年 2 月末日までに MJF(US\$1,000)寄付を 3 回以上(US\$3,000 – US\$4,999)行った寄付者の表彰
- 国際会長感謝状ー今期 2024 年 2 月末日までに MJF 寄付を 5 回以上(US\$5,000-)行った寄付者の表彰
- 企業寄付スポンサー(紹介者)感謝状

以下の表彰は、随時個別に複合地区 LCIF コーディネーターを通じて地区キャビネットと相談して贈呈していますが、これらの表彰の今期データも前期表彰データに含めて共有いたしますので、地区大会で LCIF 表彰を行う場合は、式典での表彰をお願いいたします。

- ヒューマニタリアン・パートナー(PMJF100 回目以上へのピンの贈呈)
- 顕彰 PMJF(PMJF51 回目以上 91 回目へのピンの贈呈)
- レガシー・ソサエティ寄付者(一括1万ドルのレガシー・ソサエティ寄付への盾の贈呈)
- キャンペーン 100 関連表彰(リードギフト及びメジャーギフト誓約達成者への盾の贈呈)

クラブ表彰

- モデルクラブ表彰ーキャンペーン 100 期間中にモデルクラブ誓約をして、今期 2024 年 2 月末日までに誓約を達成したクラブの表彰(認定状及びバナーパッチの贈呈)
- LCIF 理事長感謝状ー今期 2024 年 2 月までに以下の 3 つの基準のいずれかをクリアしたクラブの表彰
 - メンバー20 名以上が MJF 寄付をしている
 - メンバーの 30%以上が MJF 寄付をしている
 - クラブの寄付総額が家族会員の子会員を除いた会員数×\$300 以上である

また、MJF フラグクラブの表彰については、随時個別に複合地区 LCIF コーディネーターを通じて地区キャビネットやクラブと相談して贈呈していますが、この表彰の今期データも前期表彰データに含めて共有いたしますので、地区大会で LCIF 表彰を行う場合は、式典での表彰をお願いいたします。

以上



Lions Clubs International FOUNDATION



写真で伝えようLCIFのストーリー

LCIF日本 写真コンテスト

「文章より1枚の写真」

LCIFの交付金事業やファンドレイジング活動で、あなたが撮影したLCIFのストーリー（活動や体験）が伝わる渾身の1枚を。

ネットやSNSで情報が飛び交う時代にあって、時に「写真」が人々の心を大きく動かします。

LCIFでは、世界中のライオンズのストーリーを集め、それを広めることで、次の人道的な支援へとつながる様々な広報活動に取り組んでいます。

毎年たくさんの寄付と多くの交付金事業で貢献する日本のライオンズ会員の皆様にも、人々の心を動かす写真を共有していただく機会として写真コンテストを行います。ぜひふるってご応募ください。

募集要項

応募作品：LCIFの交付金事業、またはファンドレイジング活動で撮影された写真が対象です。事業や活動を通じた人々や子どもたちとのふれあい、活動の様子や臨場感が伝わる、ライオンズクラブの奉仕ならではの1枚をお待ちしております。

※ 詳細は「応募のきまり」を確認のうえ、写真の撮り方資料「写真でLCIFの活動を残し、広める」も事前にご参照ください。

応募資格：応募者は、グッドスタンディングのライオンズクラブに所属するクラブ会員に限ります。

応募方法：LCIF.jpに掲載する応募専用リンクから画像ファイルのアップロード ※「応募方法」をご覧ください。

応募締め切り：2024年5月10日 17:00アップロード分まで

応募作品の審査：ご応募いただいた作品のなかから、募集テーマ「写真で伝えようLCIFのストーリー」をもっともよく表す写真をLCIF日本リーダーズが審査し、3作品を入賞作品として金賞、銀賞、銅賞を授与します。

応募作品の公開：応募作品はLCIF.jpをはじめ、ライオンズ・インターナショナルの各種メディアにて公開させていただきます。可能性があります。あらかじめご了承ください。

LCIF.jpを
クリック！



SCAN ME



お問い合わせ：ライオンズクラブ国際協会 オセアル調整事務局LCIF課 LCIFTokyo@lionsclubs.org ☎050-5497-9338

応募のきまり



Lions Clubs International
FOUNDATION

応募写真について

- ・ LCIF（ライオンズクラブ国際財団）の交付金事業、またはLCIFへの寄付を目的としたファンドレイジング活動であること。
- ・ 応募者のオリジナル作品であること。
- ・ 法令、公序良俗に反しない、第三者の著作権、肖像権その他の権利を侵害しない、展覧会、コンテスト、雑誌などに投稿していない作品であること。
- ・ コンテスト概要に記載された肖像権、著作権についての諸条件を了承し、要項に沿った応募方法と仕様であること。
- ・ 応募作品に過度な加工をしていないこと。（明度・彩度・ホワイトバランスなどの調整は問題ありませんが、実際の風景、また撮影時とは大幅に異なる画像の合成、および大幅な画像処理（色調の調整を除く）、フィルター、キリヌキなどの加工不可）
- ・ 画像はフルカラー、画素数400万画素以上、2,304×1,728ピクセル以上、容量25MB以下。拡張子はJPEG形式（.jpg、.jpeg）のみ。1人3点まで応募可能。
- ・ 画像のファイル名は、アタマにLPをつけて_（アンダーバー）苗字_（アンダーバー）名前のようにすること。1人の方が複数枚応募する場合は、さらに_（アンダーバー）をつけて通し番号を入れる。
ファイル名例）LP_sato_taro_1
- ・ 写真の撮り方資料「写真でLCIFの活動を残し、広める」を読み、写真でLCIFのストーリーを伝える主旨をご理解のうえ応募してください。

著作権・肖像権等への注意

- ・ 応募作品に関する著作権は、LCIF（ライオンズクラブ国際財団）に帰属するものとする。
- ・ 第三者の肖像や、プライバシー及び著作物を含む応募作品に関して、当該権利者（ご応募作品の撮影者）より、本コンテストへの応募、及びLCIF・ライオンズクラブ国際協会による各種メディアでの使用について、事前の使用許諾・承認を受けたうえで応募すること。
- ・ 応募作品が第三者の肖像権、著作権、パブリシティ権その他の権利を侵害している状況、またはそのおそれがあることにより生じる一切の事項については、応募者がその費用と責任をもって対応するものとし、LCIFは一切関与をいたしません。
- ・ LCIFは、応募作品の利用によって応募者および第三者に生じた一切の損害について責任を負いかねます。
- ・ 撮影許諾書のサンプルを確認、または使用のこと。（実施事業の内容に沿って適宜修正されたい）

応募方法

- ・ 応募フォームに必要事項（応募者の情報・写真の情報）を入力し、画像をアップロード。

LCIF.jpにアクセス
<https://lcif.jp/>

ライオンズクラブ国際協会 オセアル調整事務局LCIF課
LCIFTokyo@lionsclubs.org ☎050-5497-9338

			2023-2024年度実績							会員動向（1月データ）、一人当たり寄付（速報値）			
地区	エリア：AL・SAL・MDC	CC・DG	1月までの 累計寄付額	2月19日 速報値	今期累計*	今期目標	達成率	企業寄付 件数	レガシー・ソサエティ 寄付誓約者数**	当月新会員	当月会員	子会員を除く	一人当り寄付額
330-A	東京	阿部 かな子	418,010	6,118	424,129	440,000	96.4%	6	1	222	5,177	4,119	102.97
330-B	神奈川・山梨・東京	石田 真一	402,334	60,902	463,236	500,000	92.6%		2	147	3,445	3,151	147.01
330-C	埼玉	田中 雄一	151,384	6,991	158,375	180,000	88.0%	8	1	70	1,632	1,450	109.22
MD330計	330MDC 阿久津 隆文	田中 雄一	971,729	74,011	1,045,740	1,120,000	93.4%	14	4	439	10,254	8,720	119.92
331-A	道央	設楽 幸子	273,384	40,668	314,052	250,000	125.6%	3	3	122	2,372	2,084	150.70
331-B	道北・道東	藤原 回向	85,659	4,080	89,740	150,000	59.8%			74	2,024	1,762	50.93
331-C	道南	渡部 義男	102,532	6,663	109,194	120,000	91.0%			96	1,515	1,280	85.31
MD331計	331MDC 及川 隆人	松浦 淳一	466,575	51,411	517,986	520,000	99.6%	3	3	292	5,911	5,126	101.05
332-A	青森	大矢 進	89,404	1,455	90,859	120,000	75.7%			96	2,035	1,703	53.35
332-B	岩手	高橋 寛	74,424	2,000	76,424	90,000	84.9%			130	1,847	1,251	61.09
332-C	宮城	渡邊 俊弥	86,516	591	87,107	90,000	96.8%			67	1,539	1,196	72.83
332-D	福島	門馬 弘	114,662	5,594	120,256	120,000	100.2%	1	1	113	2,184	1,747	68.84
332-E	山形	西村 公夫	69,891	3,000	72,891	90,000	81.0%			79	1,540	1,293	56.37
332-F	秋田	石垣 勝康	23,332	0	23,332	70,000	33.3%			39	1,238	941	24.79
MD332計	332MDC 佐野 宏美	栗村 安弘	458,211	12,640	470,850	580,000	81.2%	1	1	524	10,383	8,131	57.91
333-A	新潟	鈴木 壽男	185,680	7,179	192,859	220,000	87.7%			108	2,681	2,459	78.43
333-B	栃木	後藤 一男	94,172	5,400	99,572	130,000	76.6%			44	1,413	1,035	96.20
333-C	千葉	北野 淳子	169,005	17,120	186,126	250,000	74.5%			135	2,699	2,357	78.97
333-D	群馬	福田 勝巳	116,697	7,048	123,746	150,000	82.5%			84	1,791	1,412	87.64
333-E	茨城	齊藤 正行	440,572	10,329	450,901	500,000	90.2%		3	168	3,990	2,933	153.73
MD333計	333MDC 中嶋 正昭	星野 勝美	1,006,126	47,077	1,053,203	1,250,000	84.3%	0	3	539	12,574	10,196	103.30
MD330・333計	330・333 SAL 石原 英司		1,977,856	121,088	2,098,943	2,370,000	88.6%	14	7	978	22,828	18,916	110.96
MD331・332計	331・332 SAL 谷岡 憲行		924,785	64,051	988,836	1,100,000	89.9%	4	4	816	16,294	13,257	74.59
東日本計	東日本AL 鶴嶋 浩二		2,902,641	185,138	3,087,780	3,470,000	89.0%	18	11	1,794	39,122	32,173	95.97
334-A	愛知	木野村 好己	824,329	33,512	857,841	1,100,000	78.0%		2	272	5,152	3,713	231.04
334-B	岐阜・三重	川嶋 富士雄	307,295	8,370	315,664	340,000	92.8%		1	147	3,536	2,620	120.48
334-C	静岡	前田 磨	312,816	1,000	313,816	300,000	104.6%	14		150	2,857	2,589	121.21
334-D	富山・石川・福井	小出 進	293,506	10,100	303,606	400,000	75.9%		1	159	4,387	3,295	92.14
334-E	長野	喜多 友一	242,706	6,150	248,855	260,000	95.7%			88	2,148	1,661	149.82
MD334計	334MDC 遠藤 紀夫	戸祭 宏樹	1,980,651	59,131	2,039,782	2,400,000	85.0%	14	4	816	18,080	13,878	146.98
335-A	兵庫東(神戸)	山中 健	144,577	10,891	155,468	200,000	77.7%			79	1,680	1,596	97.41
335-B	大阪・和歌山	西尾 良典	731,387	14,523	745,911	900,000	82.9%	9		283	6,325	4,879	152.88
335-C	滋賀・京都・奈良	山本 忍	588,752	16,647	605,399	550,000	110.1%	5	3	232	3,624	3,335	181.53
335-D	兵庫西(姫路)	廣田 晃一	227,733	26,272	254,005	200,000	127.0%	40		71	1,577	1,426	178.12
MD335計	335MDC 針田 一郎	中谷 豊重	1,702,452	68,333	1,770,785	1,850,000	95.7%	54	3	665	13,206	11,236	157.60
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	山崎 勝彦	428,459	17,655	446,114	400,000	111.5%		2	277	5,078	4,345	102.67
336-B	岡山・鳥取	藤井 信英	131,869	10,589	142,458	200,000	71.2%			123	2,391	2,198	64.81
336-C	広島	三口 巖	263,535	1,460	264,995	250,000	106.0%			145	2,821	2,526	104.91
336-D	山口・島根	山崎 もとみ	218,239	4,337	222,575	200,000	111.3%			120	2,614	2,509	88.71
MD336計	336MDC 高岡 英治	澤 辰水	1,042,102	34,040	1,076,142	1,050,000	102.5%	0	2	665	12,904	11,578	92.95
337-A	福岡・長崎	中村 巧	381,489	27,460	408,949	500,000	81.8%	2	3	218	4,512	3,749	109.08
337-B	大分・宮崎	下堂菌 一将	84,022	12,245	96,267	200,000	48.1%			114	2,177	1,927	49.96
337-C	佐賀・長崎	古賀 義行	161,463	55,027	216,490	230,000	94.1%			125	3,017	2,205	98.18
337-D	鹿児島・沖縄	新里 正雄	203,680	8,102	211,782	200,000	105.9%		1	94	2,095	1,841	115.04
337-E	熊本	伊藤 竜彦	79,592	8,369	87,961	150,000	58.6%			70	1,676	1,441	61.04
MD337計	337MDC 吉村 千鶴子	新里 正雄	910,246	111,203	1,021,449	1,280,000	79.8%	2	4	621	13,477	11,163	91.50
MD334・335計	334・335 SAL 夏 有民		3,683,103	127,464	3,810,567	4,250,000	89.7%	68	7	1,481	31,286	25,114	151.73
MD336・337計	336・337 SAL 橋本 充好		1,952,348	145,244	2,097,591	2,330,000	90.0%	2	6	1,286	26,381	22,763	92.15
西日本計	西日本AL 松岡 勲		5,635,451	272,708	5,908,158	6,580,000	89.8%	70	13	2,767	57,667	47,877	123.40
全日本合計	全日本AL 丸山 正芳		8,538,092	457,846	8,995,938	10,050,000	89.5%	88	24	4,561	96,789	80,050	112.38

*レガシー・ソサエティ寄付（遺贈寄付）誓約の生前贈与寄付1万ドルを実行された寄付者の寄付も含まます。

**レガシー・ソサエティ寄付を誓約された寄付者数です。誓約を実行された寄付の件数とは異なります。

日本ライオンズクラブ クラブ数・会員数

2024年2月末現在 国際本部集計

* 増減及び入退会等は期首からの累計

	クラブ数	新結成	解散	クラブ数増減	会員数	入会者数	退会者数	会員数増減 (%)	男性会員数	女性会員数	女性の割合	家族会員(子会員)	子会員の割合	男性子会員数	女性子会員数	子会員を除く会員数
330-A	186	2	2	0	5,191	342	490	-148 (-2.77%)	3,763	1,426	27.5%	1,056	20.3%	350	706	4,135
330-B	141	0	0	0	3,466	196	118	78 (2.30%)	2,890	575	16.6%	295	8.5%	90	205	3,171
330-C	66	0	0	0	1,632	89	75	14 (0.87%)	1,362	270	16.5%	182	11.2%	66	116	1,450
330MD	393	2	2	0	10,289	627	683	-56 (-0.54%)	8,015	2,271	22.1%	1,533	14.9%	506	1,027	8,756
331-A	71	0	0	0	2,381	143	118	25 (1.06%)	1,939	441	18.5%	288	12.1%	62	226	2,093
331-B	71	0	1	-1	2,026	85	101	-16 (-0.78%)	1,665	359	17.7%	261	12.9%	37	224	1,765
331-C	43	0	0	0	1,522	118	63	55 (3.75%)	1,227	294	19.3%	232	15.2%	60	172	1,290
331MD	185	0	1	-1	5,929	346	282	64 (1.09%)	4,831	1,094	18.5%	781	13.2%	159	622	5,148
332-A	64	2	0	2	2,047	159	64	95 (4.87%)	1,558	489	23.9%	334	16.3%	72	262	1,713
332-B	49	0	0	0	1,847	141	95	46 (2.55%)	1,223	624	33.8%	598	32.4%	105	493	1,249
332-C	55	0	0	0	1,536	78	57	21 (1.39%)	1,112	424	27.6%	338	22.0%	73	265	1,198
332-D	66	0	0	0	2,189	128	86	42 (1.96%)	1,661	528	24.1%	438	20.0%	96	342	1,751
332-E	49	0	1	-1	1,653	97	59	38 (2.35%)	1,304	349	21.1%	247	14.9%	43	204	1,406
332-F	44	0	1	-1	1,242	45	42	3 (0.24%)	887	355	28.6%	298	24.0%	54	244	944
332MD	327	2	2	0	10,514	648	403	245 (2.39%)	7,745	2,769	26.3%	2,253	21.4%	443	1,810	8,261
333-A	69	0	0	0	2,697	134	119	15 (0.56%)	2,271	426	15.8%	224	8.3%	70	154	2,473
333-B	46	0	0	0	1,421	62	71	-9 (-0.63%)	944	477	33.6%	376	26.5%	101	275	1,045
333-C	105	0	0	0	2,713	163	101	62 (2.34%)	2,098	615	22.7%	341	12.6%	120	221	2,372
333-D	47	0	1	-1	1,803	106	65	41 (2.33%)	1,353	450	25.0%	383	21.2%	88	295	1,420
333-E	81	1	0	1	4,001	235	187	48 (1.21%)	2,902	1,099	27.5%	1,054	26.3%	321	733	2,947
333MD	348	1	1	0	12,635	700	543	157 (1.26%)	9,568	3,067	24.3%	2,378	18.8%	700	1,678	10,257
334-A	105	0	0	0	5,156	305	179	126 (2.50%)	3,588	1,568	30.4%	1,437	27.9%	287	1,150	3,719
334-B	72	1	0	1	3,561	204	131	73 (2.09%)	2,673	888	24.9%	927	26.0%	213	714	2,634
334-C	71	0	0	0	2,859	170	99	71 (2.55%)	2,482	377	13.2%	269	9.4%	42	227	2,590
334-D	92	1	0	1	4,418	216	253	-37 (-0.83%)	3,220	1,198	27.1%	1,090	24.7%	180	910	3,328
334-E	47	0	0	0	2,147	101	164	-63 (-2.85%)	1,547	600	27.9%	489	22.8%	103	386	1,658
334MD	387	2	0	2	18,141	996	826	170 (0.95%)	13,510	4,631	25.5%	4,212	23.2%	825	3,387	13,929
335-A	67	1	1	0	1,686	136	86	50 (3.06%)	1,354	332	19.7%	85	5.0%	20	65	1,601
335-B	146	0	3	-3	6,316	354	397	-43 (-0.68%)	4,497	1,817	28.8%	1,442	22.8%	309	1,133	4,874
335-C	101	1	0	1	3,654	306	165	141 (4.01%)	3,009	644	17.6%	295	8.1%	62	233	3,359
335-D	54	0	0	0	1,580	76	50	26 (1.67%)	1,309	270	17.1%	151	9.6%	39	112	1,429
335MD	368	2	4	-2	13,236	872	698	174 (1.33%)	10,169	3,063	23.1%	1,973	14.9%	430	1,543	11,263
336-A	135	0	0	0	5,070	303	261	42 (0.84%)	3,902	1,167	23.0%	733	14.5%	153	580	4,337
336-B	82	0	1	-1	2,396	144	114	30 (1.27%)	2,013	377	15.7%	193	8.1%	39	154	2,203
336-C	78	0	1	-1	2,823	166	130	36 (1.29%)	2,317	506	17.9%	295	10.4%	52	243	2,528
336-D	84	0	0	0	2,633	155	128	27 (1.04%)	2,311	321	12.2%	105	4.0%	12	93	2,528
336MD	379	0	2	-2	12,922	768	633	135 (1.06%)	10,543	2,371	18.3%	1,326	10.3%	256	1,070	11,596
337-A	112	0	1	-1	4,529	267	246	21 (0.47%)	3,309	1,216	26.8%	761	16.8%	149	612	3,768
337-B	60	0	0	0	2,175	122	85	37 (1.73%)	1,762	414	19.0%	250	11.5%	41	209	1,925
337-C	73	0	0	0	3,012	141	133	8 (0.27%)	2,143	869	28.9%	809	26.9%	224	585	2,203
337-D	69	1	1	0	2,132	163	162	1 (0.05%)	1,702	429	20.1%	270	12.7%	58	212	1,862
337-E	52	0	0	0	1,739	147	63	84 (5.08%)	1,402	336	19.3%	236	13.6%	71	165	1,503
337MD	366	1	2	-1	13,587	840	689	151 (1.12%)	10,318	3,264	24.0%	2,326	17.1%	543	1,783	11,261
総計	2,753	10	14	-4	97,253	5,797	4,757	1,040 (1.08%)	74,699	22,530	23.2%	16,782	17.3%	3,862	12,920	80,471



地区健康診断レポート 336 複合地区 2/2024 現在

地区 名	種別/ 月数 *	クラブ状況							会員状況							会員維持力		解散状況		報告状況			財務状況		役員状況								
		正 タ ス ク ブ 数	ク ラ ブ 数	ス テ ー プ 数	タ ス ク ブ 数	活 動 純 数	新 ク ラ ブ 純 数	解 散 オ ク ラ ブ 純 数	年 度 オ ク ラ ブ 純 数	正 所 属 会 員 数	ク ラ ブ 所 属 会 員 数	ス テ ー プ + タ ス ク オ 会 員 数	タ ス ク オ 会 員 数	年 度 新 会 員	年 度 退 会 者	年 度 純 増 (タ ス ク オ 会 員 数)	年 度 純 増 (正 タ ス ク オ 会 員 数)	12 カ 月 前 + ス テ ー プ + タ ス ク オ 会 員 数	ク ラ ブ 平 均 会 員 数	20 人 未 満 ク ラ ブ %	解 散 ク ラ ブ 平 均 活 動 年 数	解 散 に よ る 退 会 者 数	奉 仕 を 報 告 し て い る 会 員 の %	3 カ 月 告 し る ク ラ ブ	12 カ 月 役 員 報 告 な し %	90 日 以 上 滞 納 ク ラ ブ %	登 録 さ り ゾ ン ・ チ ェ ア パ ー ソ ン	登 録 さ り レ ジ ョ ン ・ チ ェ ア パ ー ソ ン	空 席 レ ジ ョ ン ・ チ ェ ア パ ー ソ ン				
336 A		135	0	135	0%	0	0	0	5070	0	5070	303	261	42	0.84%	5,171	38	13%	0	0	65%	4%	0%	1%	26	9							
336 B		82	0	82	0%	0	1	-1	2396	0	2396	144	114	30	1.27%	2,439	29	32%	34	0	62%	6%	1%	0%	16	0							
336 C		78	0	78	0%	0	1	-1	2823	0	2823	166	130	36	1.29%	2,887	36	18%	40	11	87%	5%	0%	0%	11	4							
336 D		84	0	84	0%	0	0	0	2633	0	2633	155	128	27	1.04%	2,672	31	20%	0	0	62%	0%	0%	0%	16	7							
		379	0	379	0%	0	2	-2	12,922	0	12922	768	633	135	1.06%	13,169	34	20%	37	11	68%	4%	0%	0%	69	20							

* - 地区の種別: P - 暫定地区、T - 移行地区
** - 地区役員空席: DG - 地区ガバナー、1st VDG - 第一副地区ガバナー、2nd VDG - 第二副地区ガバナー
Copyright 2024 LCI, Inc.

差出人： GATJapan
宛先： 330複合地区ガバナー協議会事務局 (lions@md330.jp); md331@ruby.ocn.ne.jp; md332 ライオンズクラブ;
333複合地区ガバナー協議会事務局 (md333@nifty.com); 334複合地区ガバナー協議会事務局
(lions334@lilac.ocn.ne.jp); ガバナー協議会事務局 335複合地区; MD337 ライオンズ; MD336
件名： ミッション1.5 複合地区最終確認および次年度の引継ぎ会議開催のお願い
日付： 2024年2月29日 16:30:00
添付ファイル： image001.png
重要： 高

複合地区ガバナー協議会議長 各位
(BCC: GAT会則地域リーダー、エリアリーダー)

お世話になっております。

先般、12月の第1回会議に続き、第2回ミッション1.5の進捗確認会議を実施いたしました。新クラブの結成や新会員の勧誘において、計画通りに進んでいる地区もあれば、様々な理由で苦戦している地域もあります。複合地区におかれましては、全ての地区がミッション1.5を達成できるように、引き続きご支援いただけますようお願いいたします。

さて、少し早いですが、今年度を締めくくるにあたり、第3回ミッション1.5会議として、ミッションの達成状況の最終確認と次年度に向けた引継ぎのための会議を各複合地区で開催していただきたいと考えております。それぞれの会議には担当のGATエリアリーダーが出席いたしますので、日程をご調整いただきたく、お願い申し上げます。

ミッション1.5は2026年度末まで継続する長期の会員拡大計画ですが、日本は毎年純増500人というターゲットが設定されており、そのためには良い流れの継続だけでなく、見直しと改善も必要です。現および次期の議長、GATコーディネーター、関連事業委員長など、会員拡大の中心的役割を担う方が一同に会し、今年度を振り返り、次年度につないでいただきたいと思っております。

年度末のお忙しい時期となるかと思いますが、会議は対面だけではなく、オンラインやハイブリッドなどの形式もご検討いただき、関係者で情報を共有する機会を作っていただけますようお願い申し上げます。

つきましては、複合地区内で会議をご調整いただき、日時・場所が決まりましたら、オセアル調整事務局 gatjapan@lionsclubs.orgまでお知らせいただけますようお願いいたします。

宜しくお願いいたします。

ライオンズクラブ国際協会
GATエリアリーダー
鈴木誓男
松岡勲(西日本(MD334-337)担当)
小川晶子(東日本(MD330-333)担当)
.....



MISSION 1.5

We're on a mission to grow.

2024年2月29日

ミッション1.5 ジグザグピンの配布について

複合地区ガバナー協議会議長 各位

ミッション1.5達成に向けた日ごろのご活動に感謝申し上げます。

この度、ミッション1.5の更なる普及促進にご活用いただけるよう、パティ・ヒル国際会長より、同梱いたしましたミッション1.5ジグザグピンが支給されました。

複合地区GATコーディネーター、関連事業委員長など、会員拡大の中心的役割を担われている方々に配布していただき、各地区が会員拡大目標を達成できるよう、引き続きご支援いただけますようお願いいたします。

宜しくお願いいたします。

ライオンズクラブ国際協会

GATエリアリーダー

鈴木誓男

松岡勲（西日本（MD334-337）担当）

小川晶子（東日本（MD330-333）担当）

オセアル調整事務局

GATスペシャリスト 畠山直子

gatjapan@lionsclubs.org

【ミッション1.5】



336複合地区2月度会員増強報告＜2023-2024年度＞

地 区	目 標	開始数字	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	増 減	女性比率
336-A	総会員数純増 135名	5,028	19	-9	-3	21	20	-29	31	-8					42	学生 3 23.40%
	女性会員数 60名	1,164	-5	-13	-1	14	5	-11	14	1					4	
	女性会員目標 25.0%	23.22%	22.96%	22.75%	22.74%	22.92%	22.93%	22.85%	22.98	23.40%					0.18%	
	支部結成目標 9支部	11	0	0	0	0	0	1	0	0					1	
	家族会員数 0名	737	-9	-18	0	6	1	-7	21	1					-5	
	新クラブ結成目標 1ｸﾗﾌﾞ	135	0	0	0	0	0	0	0	0					0	
336-B	総会員数純増 10名	2,354	30	7	4	0	5	-19	10	5					42	学生 6 15.77%
	女性会員数 0名	371	-2	3	4	0	2	-1	-1	2					7	
	女性会員目標 %	15.76%	15.48%	15.55%	15.69%	15.70%	15.75%	15.83%	15.73%	15.77%					0.01%	
	支部結成目標 3支部	14	0	0	0	0	0	0	0	0					0	
	家族会員数 0名	193	-1	0	-1	-1	0	1	0	0					-2	
	新クラブ結成目標 1ｸﾗﾌﾞ	83	0	0	0	0	0	0	0	0					0	
336-C	総会員数純増 50名	2,787	33	27	-5	2	8	-42	12	3					38	学生5 17.84%
	女性会員数 65名	502	1	3	-2	2	0	-13	6	5					2	
	女性会員目標 20.0 %	18.01%	17.83%	17.77%	17.73%	17.79%	17.74%	17.51%	17.68%	17.84%					-0.17%	
	支部結成目標 11支部	17	0	1	0	0	0	0	2	0					3	
	家族会員数 7名	309	2	0	-1	0	-2	-12	-1	0					-14	
	新クラブ結成目標 1ｸﾗﾌﾞ	79	0	0	0	0	0	0	0	0					0	
336-D	総会員数純増 30名	2,596	34	-5	-7	3	3	-10	0	19					37	学生 5 12.19%
	女性会員数 5名	322	0	0	0	0	-3	-4	0	6					-1	
	女性会員目標 %	12.40%	12.24%	12.16%	12.08%	12.29%	12.16%	12.04%	12.02%	12.19%					-0.21%	
	支部結成目標 5支部	7	0	0	0	0	0	0	0	2					2	
	家族会員数 0名	101	0	0	0	0	0	0	0	0					0	
	新クラブ結成目標 1ｸﾗﾌﾞ	84	0	0	0	0	0	0	0	0					0	

(2023-24 年度)

第 6 回会則委員会会議 WEB 議事要録

○日 時：2024 年 1 月 22 日（月）10：00～12：00
○会 場：WE B 会議
○出 席 者：

◎一般社団法人日本ライオンズ

・ 理事長
田名部 智之（八戸 LC）
・ 委員長（MD333 前協議会議長）
松本 宰史（南房総 LC）
・ 副委員長（MD336 協議会議長）
中谷 豊重（岸和田 LC）
・ 専務理事
増澤 義治（諏訪湖 LC）

◎各複合地区会則委員

・ 330 複合地区
細川 孝雄（東京赤坂 LC）
・ 331 複合地区
馬場 哲也（函館東 LC）
・ 332 複合地区
荒川 友成（郡山西 LC）
・ 333 複合地区
岩沼 忠何（千葉ネオ LC）
・ 334 複合地区
野村 善弘（岡崎竜城 LC）
・ 335 複合地区
小林 寛（姫路中央 LC）
・ 336 複合地区
松岡 諒（福山久松 LC）
・ 337 複合地区
高野 正勝（佐賀葉がくれ LC）

① 松本委員長より開会宣言

- ・ 能登半島地震について
地震の被害へ合われた方へのお見舞いと、亡くなられた方へのご冥福が伝えられた。

② 一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶 田名部部理事長

- ・ 1/1 から被災地に対して日本ライオンズとして会議を重ね準備している。
被災地から要望・要請があった場合、直ちに動けるよう準備している。
- ・ 会則委員会について、今年度プロトコルなど、昨年までできなかったこと、

中途半端になっていることを今期詰めている。

- ・全国の複合地区を回り、周囲からライオンズの組織や権限が分からない指摘があり。
松本委員長には国際協会、LCIF、一般社団法人日本ライオンズ、GAT の分かりやすい図を作成していただいた。皆さんにも確認の上、全国に発信していきたい。
- ・会則委員会は今期相当に進んでいる、それに対し感謝申し上げたい。

◎増澤専務理事より

- ・ライオンズ必携の件で委員長から議案が提案される、
- ・各複合地区年次大会でも承認頂かなければいけないが、出来上がったものを各複合地区でも皆様に良く周知いただきたい

◎松本委員長

- ・議事録作成人の指名。荒川委員と高野委員が指名される。

1. 前回議事録確認

ライオンズ必携第 61 版改定のスケジュール、発行部数について審議を行った。

- (1) 1 月末には印刷所発送予定。注文部数は、予想より少なく 53,550 部の受注
在庫分 1,450 部合わせ 55,000 部印刷注文を行う。
注文のない分は日本ライオンズ在庫 1,450 部で対応。

(2) 内容変更確認の件

禁忌事項についてライオンズ必携に掲載する。
後のコンプライアンス委員会に規定案に関連する議論を後ほどお願いしたい。

- (3) 国際理事候補者資格審査委員会規則について、
複合地区年次大会での承認必要の件準備を進めたい。

- (4) ライオンズ必携の価格について 250 円で決定した。

- (5) ローカルプロトコルも理事会で認められた。

2. 議案

◎ライオンズ必携第 61 版改定について

- ・発行部数および頒布価格について報告。今回は 55000 部発行、頒布単価 250 円で決定
- ・ライオンズ必携 改定内容勉強会について
三役研修会におけるビデオメッセージを 3 月末までには取りまとめる。
今回大幅な規則改定がありこれをどう伝えるかが重要。

(細川委員)

年次大会の議案提出には事前にガバナー協議会へ提出が必要である。

内容が多岐に渡るため、実際の改定の場合と具体的な事例との差異を明確にしてほしい。

(馬場委員)

第3回キャビネット会議が1/27にある。

ライオンズ必携第61版改定の大きな変更箇所について、資料作成し説明予定。

第4回キャビネット会議では大まかな説明予定。

(松本委員長)

複合地区年次大会ではキャビネット、ガバナー、議長などは議事規則についての理解が重要だが規則自体を知らない場合がある。理解しないまま年次大会に臨み、問題が出てしまうこともある、作成中のビデオメッセージにも入れて具体例と共に伝えたい。

議事規則は近年必携に入っていなかったものを復活させた、各地区で十分周知したい。大会議案は事前提出が基本であり、議案を深く理解の上審議する。

(荒川委員)

キャビネット会議が2/2にあるので概要説明予定。次期3役の勉強会でも必携の内容を周知したい。

(岩沼委員)

地区内では必携規則に対する意識が低い。

地区会則委員長と共に考えていく、複合は各委員長にも伝えていく。

(野村委員)

地域の会則委員長には伝えている、末端会員までは周知できていない。

キャビネット会議で会則委員長がゾーンチェアパーソンにも内容を詳しく説明し、各ゾーン会議でも会則委員長に出席していただき説明いただく。

(松本委員長)

段取りをゾーンチェアパーソンにまで落とし込むのは素晴らしい。

各地区キャビネットを通してどう落とし込むか。ガバナーの協力を求めてやっていただきたい

(小林委員)

キャビネット会議が2/21にある。

ライオンズ必携第61版改定の主な改定は箇所各地区委員長に送っている。

地区委員長に会員から、「案」が取れたものが作成されるかどうか、質問がある。

必携が必要な人とそうでない人がいる。変更内容について周知が必要な方（第1・第2副地区ガバナー・ZCなど）に周知を徹底することが必要だと思われる。

(松本委員長)

主な改定箇所については一般会員に関係ある部分は少ない。

キャビネット運営に関わる人へ向け周知が必要。

(松岡委員)

今回は一般会員に影響がある改定内容が多いわけではなく、キャビネットの運営に関する内容が大きく変更になっている。

各地区のキャビネットにて勉強会が必要と考える。

(高野委員)

必携を見たことがないという会員もいる。会則改定の件について会員が認識できるよう、ガバナーに徹底して、各委員会に指導をお願いしたい。

(松本委員長)

キャビネット会議・クラブ3役会議で改正についてお伝えいただきたい。

◎国際理事候補者資格審査委員会規定の改正に伴う複合地区年次大会への共通提案について

(松本委員長)

複合地区年次大会の議案として提出をお願いする。今回は事後決議という形になる。

決議後大会閉会時から効力を生ずると必携には記載した。

(小林委員)

複合地区年次大会での提案決議事項について、各複合地区委員長が議長に対し議案として提案する事になるのか。

(松本委員長)

議長提案議案になる、説明は複合地区会則委員長に行っていただく。

(松岡委員)

複合地区会則についても同様に年次大会での決議が必要である。説明のための資料は統一したほうがよいのではないか。

(松本委員長)

資料については統一が望ましいと考えられる。各地区での国際理事資格審査規則改定の新旧対比表と共に複合地区、会則改定分も一緒に会則委員長が取りまとめたい。

◎コンプライアンス委員会について（委員会ガイドライン案について）

(松本委員長)

コンプライアンスによって日本ライオンズが全ての事項に対し審議を行うのではなく、ガイドライン案を元に各MD・地区にてコンプライアンス規定が設置される事が望ましい

(細川委員長)

当地区でもコンプライアンスが必要な状況であると議論があった。

日本ライオンズで委員会を定め各地区へ落とししていくことに賛成。

(松本委員長)

日本ライオンズがコンプライアンスを作成し各地区に落とし込む。

地区の中のことは審議できない。それぞれの地区・複合でコンプライアンス委員を設け実行していく事が良い。

(馬場委員)

各地区でバラバラにコンプライアンスを決めたら日本ライオンズが決める意味がなくなる。ルールは統一したほうがよいのでは。

(松本委員長)

基本的なルールは国際理事会方針書に記載がある。そこで解決できない部分をどうするか？そのために必要であると思う。皆さんの意見を聞きたい。

(荒川委員)

日本ライオンズが地区での紛争に関与することは好ましくない。

(岩沼委員)

紛争はクラブ間・人間性の問題・責任である。社団法人とクラブでは考え・運営方法が違う。

日本ライオンズのコンプライアンスはクラブと一線を引いて設置したほうがよい。

(野村委員)

クラブや複合地区で解決できない場合、日本ライオンズのコンプライアンス委員会で最終的に判断するのがよいのでは。

(小林委員)

本来教養とマナーがあればクラブでも問題は起きない、日本ライオンズが基本コンプライアンスを作り、各地区に落とし込み、問題発生時には委員会とは別に利害関係の無い人で都度、第三者委員会を作り、審議するなどどうか。問題解決には情報共有が必要。ひな形を作成することには賛成。

(松岡委員)

紛争は少なからず起きている、解決策としてのコンプライアンス委員会設置だけではなく、しっかり機能するものが必要、日本ライオンズでコンプライアンス委員会を作るのは懐疑的。

処分の権限がない中で責任だけ負うことになってしまうのではないか。

やるのであるなら日本ライオンズの指針の上に各複合地区、準地区の中にコンプライアンス委員会を作り対応する。

本来ライオンズ国際協会の中に紛争処理手続きがあり、ここが機能していれば裁判になるまでいかなと思う。作るのであれば複合地区、準地区のコンプライアンス委員会のサポートとして紛争処理手続きが機能していくように手助けをしていくという位置づけがよいのではないか。

現在のコンプライアンス規定案について、

- ・4条5項の窓口設置についてはここを頼っていろいろな紛争が持ち込まれる可能性があり、権限のない日本ライオンズではかえって混乱を招く可能性がある。

- ・7・8条は会員向け・事務員向けが混じっており、分けたほうが良いのでは。

(松本委員長)

ご指摘の通り、基本的には複合・地区内で処理をできる形が良いと思う。

必ずしも紛争が国際理事会でされるかというところでもなく、コンプライアンス委員会でどう処理していくか。

(高野委員)

本来なら規定を作らないほうが良いとは思いますが、日本ライオンズがまったく関与しないわけにもいかないと思う。

(中谷副委員長)

調停の役割をするのがコンプライアンス委員会。委員会にて禁忌事項やルールのまとめを作り、問題については地区→MD→日本ライオンズの流れが良いのでは。どういう委員会にするか、ルールや流れについてははっきりと決めておきたい。

(田名部理事長)

コンプライアンス委員会には罰する権限・責任はない。

現在は準地区・複合・日本ライオンズに統一された規定はなく、禁忌事項があるだけでも抑止力になり、モラル・ルールを再認識することに繋がる。

全国共通の指針としてもらい、問題発生時に DG.CC が罰則ではなく、戒めとして使えるようにもしたい。

コンプライアンス委員会が罰するところではないことは規定の中で明らかにする。

また会員のみではなく、複合地区事務局員の行動で禁忌事項に触れる事柄が見られるため、指導ができるような規定があればよいと思う。現在は社団事務局員の意識改革に取り組んでいる。その次は複合・準地区の事務局の改善が必要になると考えているが、日本ライオンズが成功例を示すことで改革・改善に至っていくと思う。

なんらかの決めごとは日本ライオンズ、複合地区、準地区まで筋が通るという、見通しのよさがあったほうが良い。

(増澤専務理事)

コンプライアンス委員会を設置しなければいけないというのは恥ずかしいことである。問題に立ち入り調停するようなことは日本ライオンズではできない、クラブや地区の中で解決していただき、罰則が目的ではなく、活動できる指針を簡素化し禁忌事項を中心に明確にする。

事務局員も会員と同様の気持ちでまとまっていくことが望ましい。

新たに委員会を作るのではなく、管理委員会などの中に指針として規約を置く。

(松本委員長)

規定についてまだは精査が必要。日本ライオンズの中で維持管理するのではなく、複合地区もしくは準地区の中でコンプライアンス規定を設けてもらい、審議できる流れを作るべきか。

(馬場委員)

禁忌事項内に、コンプライアンスについて詳しく記載するという意見に賛成。

(荒川委員)

複合地区と準地区は国際協会から認められている組織。

日本ライオンズがコンプライアンスを作るのは難しく、関与すべきではない。

問題は複合、準地区で解決する。

すべての複合・地区でコンプライアンス委員会を作るべきでなく、問題が起こった時に作ればよい。

(小林委員)

コンプライアンス委員会では係争が起こっても解決できない、どちら側も正しいからである。理解の上でどうするか、両方とも認めて落とし込むことも重要である。

(松岡委員)

コンプライアンス委員会を作ることは反対。

作ったとしても会員やクラブに遵守を周知徹底させること、目的事項や道徳、禁止事項を発信し、コンプライアンス遵守のための体制作りを行い、複合地区、準地区で問題が発生した場合にコンプライアンス委員会の設立を促す程度に留める。

地区でコンプライアンス委員会を立ち上げた場合、地区の有力者が集まり、委員会が力を持ちすぎることに懸念がある、委員会は常設せず問題解決できたら解散するほうが良い。

(細川委員)

日本ライオンズにコンプライアンス委員会があっても紛争解決は難しい。

設置せず、今までなかった条文を書面に残し影響を与えるくらいがよい。

(岩沼委員)

複合や日本ライオンズが関わると余計難しい問題になる場合もある。クラブ・地区で解決すべき。

(松本委員長)

複合地区、準地区向けに、今回の意見を元に作り直したコンプライアンス規定案を一つの見本として作るのが良いのではと思う。意見を諮りたい。

賛否評決 賛成：9票 反対：3票

結果を受け、次回までに複合・準地区にて対応できる規定案を作りたい。

(田名部理事長)

禁忌事項も含めた指針ができればよいと思う。

(小林委員)

複合地区で委員会を開きコンプライアンスの説明をする、問題や提案も含めて話し合い、複合地区で作成し委員長に上げる、その内容を委員長がまとめる方法はどうか。

(松本委員長)

日本ライオンズで作成したたたき台を元に、複合地区などの意見をうかがう流れで考えたい。
次回までにメールで案を送る。

・次回第7回会則委員会の日程

2月22日(木) 10:00～12:00 WEB開催

以上

議事録作成人：

332 複合地区会則委員長 荒川 友成

337 複合地区会則委員長 高野 正勝

2023～2024 年度
第 4 回 336 複合地区会則および付則・運営マニュアル編集委員会

議 事 録

開催日時：2024 年 1 月 23 日（火）13：30～14：30

開催場所：336 複合地区ガバナー協議会事務局

開催形式：WEB

出席者：次のとおり（敬称略）

役 職	氏 名
ガバナー協議会議長	澤 辰水
世話人	岡村 聖爾
委員長	松岡 諒
副委員長	一宮 昭夫
336-A 地区委員長	徳本 秀樹
336-B 地区委員長	西尾 愼一
336-C 地区委員長	鈴木 健吾

司会進行：松岡委員長

議事

第 1 開会挨拶（議長）

第 2 議題

1 日本ライオンズ会則委員会報告

松岡委員長より、次のとおり報告とお願いがあった。

・必携が完成間近となっている。各委員は、改訂箇所について、キャビネット会議や三役研修会で周知して欲しい。また、購入しないクラブがあったら、購入するよう促して欲しい。

・コンプライアンス委員会が日本ライオンズ内で立ち上がる。今後、複合や準地区でも同様の委員会を立ち上げて欲しいと要請があるかもしれない。

2 336 複合地区運営マニュアル第 21 版作成の件

改訂箇所の確認を行った。

今後、準地区を通じて希望部数を集計し、業者に発注していく。

第 3 閉会挨拶（世話人）

○次回以降の委員会日程

第 5 回 2024 年 3 月 22 日（金）午後 4 時～6 時（鳥取※会場等は西尾委員が選定）

議事録作成者

松岡 諒

(2023-2024年度)
第7回会則委員会(WEB)議事要録

◎日時：2024年2月22日(木) 10:00~12:00

◎システム：Zoomシステム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ： ○各複合地区会則委員長：

理事長 田名部智之(八戸LC) 330複合地区会則委員長
【欠席】 細川孝雄(東京赤坂LC)

委員長 (MD333協議会議長) 331複合地区会則委員長
松本宰史(南房総LC) 馬場哲也(函館東LC)

副委員長(MD335協議会議長) 332複合地区会則委員長
中谷豊重(岸和田LC) 荒川友成(郡山西LC)

専務理事 333複合地区会則委員長
増澤義治(諏訪湖LC) 岩沼忠伺(千葉ネオLC)

334複合地区会則委員長
野村善弘(岡崎竜城LC)

335複合地区会則委員長
小林 寛(姫路中央LC)

336複合地区会則委員長
松岡 諒(福山久松LC)

337複合地区会則委員長
高野正勝(佐賀葉がくれLC)

1.開会宣言

松本会則委員長より開会宣言。

2.一般社団法人日本ライオンズ理事長 田名部理事長欠席の為
増澤専務理事より挨拶。

3.出席者の確認

別紙資料に基づき確認。

4.議事録作成人の指名

MD331馬場委員長・MD335小林委員長が指名された。

5.議案：

①前回議事録の確認

- a. ライオンズ必携第61版改定について
必携に対して知って頂く為にもビデオメッセージなどにてPRをしている。
- b. コンプライアンス委員会のガイドラインを、本日再度協議する。

②年次大会への共通提案事項について

（松本委員長）

- ・ライオンズ必携第61版改訂箇所の確認。
承認決議事項として、複合地区会則・国際理事候補者資格審査委員会規則がある。
ページ数が相当増えているので、新旧対照表にて説明。
近日中に説明用資料を委員会メンバー並びに各MD事務局にメール送信する予定。
MD330より指摘があったライオンズ必携61版内容の改正が必要な箇所（2点）
について説明。
年次大会においては修正を加えていただいた上での承認決議をお願いしたい。

（細川委員）

修正箇所の説明。第2章については数字のミスであるが、第1章については変えてはならない部分であるとの説明。

③コンプライアンス委員会について

- ・ガイドライン案について

（松本委員長）

コンプライアンス委員会がなぜ必要なのか？

将来的に問題が発生した場合、どこで機関で処理するのか。

現在、基本的に対応する規則がないので、早めに対応のためにもこのような委員会が必要である。

コンプライアンス規定（案）の説明

第3章コンプライアンスへの取り組み

第5条（役員および構成員の義務）

（9）と（10）はいただいた意見を受け、削除する。

（松岡委員）

コンプライアンス規定は、MDの役員に対しての縛りですか？

（松本委員長）

今回は、事務局は除いて、役員と構成員に絞り込んでいます。

（小林委員）

コンプライアンス委員会は常設ですか？

（松本委員長）

常設ではありません、問題が発生したら、事前に決めていたコンプライアンス委員会

を立ち上げ対応する。

私の所属している333-Cでは、運営委員会で対応しています。各地区では？

（松岡委員）

336では、対応する委員会は特になく、キャビネット事務局の運営委員会はありません。

（荒川委員）

332では組織はなく、もし問題があれば改革委員会・地区においては名誉顧問会が対応すると思います。

（松本委員長）

改革委員会のような委員会のメンバーが兼務というのもよいと思います。

（小林委員）

委員会の人選についても考えなければいけない。判断基準が人の心の中にあり、役職に関係なく地区において人望のある人物が望まれる。

（馬場委員）

331では、長期計画委員会と名誉顧問会により、調整され対応が来ておりますので、コンプライアンス委員会は必要なのでしょうか？

（松本委員長）

健全な運営をされている地区もあるが他地区では、現実的に問題が起こっていますので準備として必要で、規定があることにより予防にもなると思う。

（松岡委員）

各MD・地区に降ろすと、コンプライアンス委員会の規定・運営が様々な方向になると思いますが、それでいいのでしょうか？

（松本委員長）

各所で考えは違うと思いますがそれでよろしいかと思います。

規定は作りますが、あくまで見本にすぎません。

必要が無ければ、それでもよろしいかと思います。

（松岡委員）

MDに持ち帰って検討しますが、委員会メンバーをどう選別するか？

第三者を入れないといけないような気がしますし、何をもってコンプライアンス違反なのか、禁忌事項違反・刑事事件・セクハラなど、人それぞれ基準が変わります、悪用するメンバーも出てくるような気がします。

人選と、何をもって違反とするかは明確にしたほうが良いと思います。

（松本委員長）

第5条にハラスメントについて、第7条には禁忌事項の記載がありますが、どのように指摘をしていくか。

そのような観点から、今回第4章、第13条（懲戒の種類）1～3を入れました。

できれば注意で終わればよいですが、特に大きな懲罰に値する3、の降格は、ガバナー協議会もしくはキャビネット会議へ上程され、三分の二の賛成で可決されます。

（細川委員）

330では問題を起こした会員が国際本部に提訴されました。回答は、道徳的に卑劣な犯罪行為には当たらないという回答でした。誰が判断するのか？複雑な問題の場合コンプライアンス委員会でも結論は出せないと思います。

（松本委員長）

同じようなケース発生を想定し、ガバナー一人では、解決出来ない所以で組織で対応する、コンプライアンス委員会で方向性を出し、場合によっては審議結果をガバナー協議会、キャビネット会議へ上程し、それでも解決ができない場合には国際理事会へ訴える。問題発生時にすぐに国際本部へ紛争調停処理をするのではなく、ワンクッションを置く為にも必要。問題がエスカレートすることを防ぎ早期解決をするためにも、将来の問題発生時を考えつくっておくことに意味があると思う。

（小林委員）

そもそもメンバーの私利私欲が問題。情けなく、普通のメンバーなら退会するので。色々な方がいるので、怪文書が出たり、将来的に問題が発生したりする可能性があり、寂しい気持ちではあるが前もって作っておくのはよいと思う。

（岩沼委員）

悲しい現実です。

（高野委員）

当地区でも、一年半前に問題が発生しましたが、ガバナー中心に顧問会・クラブ会長等で何とか解決しました。MD・準地区、問題がおこった場所それぞれで解決する方法しかないし、今後入会メンバーの選出も重要であると思います。

（荒川委員）

332では過去に事件はありません、複合では改革委員会が議長やガバナー、会則委員長など16名で組織していますので、そちらで対応すると思います。

コンプライアンスについては、最近はセクハラなど問題発生しています。

コンプライアンス規定は、今後の叩き台として提示されたら良いと思います。

（馬場委員）

たたき台というのはあってもよいと思います。

（松本委員長）

それでは、こちらを見本とし、取り扱いについてはそれぞれMD/地区の判断で議論して頂く事に致します。

日本ライオンズとしては将来に向けて規約を作り上げることが大切であると思います。

（増澤専務理事）

この規約が頻繁に使われてはいけないので、一つの線引きとして作成し問題発生時に検討する、一つの基準・指針とするために持っておくということによいと思う。

悪用されては本末転倒になるので注意が必要ですし、今後、入会審査をきちんと行うことなど重要になると思う。

（松本委員長）

コンプライアンス規定について、MD年次大会で取り上げて頂きたい。

第5条と第6条を入れ替える。第3章第5条（9）と（10）削除します。

道徳綱領については心構えであるが遵守すべきとして掲載する。

（小林委員）

当MDでは外国人のみのクラブ、男性のみのクラブ、女性のみのクラブがあり、今後、人種差別・性別差別等々発生する要因があるのでは？と懸念する。

コンプライアンス委員会でどの様に対処できるのか？大変難しいのではと感じる。

（松本委員長）

人種差別問題等も世界的に重要なポイントです、今後外国人との関わりは大いにあると思いますので、将来的に向けてコンプライアンス委員会が必要になると思います。

（中谷副委員長）

改廃は、ガバナー協議会またはキャビネット会議となっているが、道徳的・禁忌事項の問題なので年次大会の承認をいただくほうがよいのでは。

（松本委員長）

MD年次大会で決議して頂きたい。準地区は間に合わないと思いますので次年度でよろしいかと思います。

（松岡委員）

対象がMD役員・構成員のみであれば、内規扱いでよろしいかと思います。

（松本委員長）

内規扱いにするかを含め、扱いについては、各議長、ガバナー等々中心としての議論で、各MD・地区にお任せ致します。日本ライオンズからの指針を示し、取り上げるかどうかについては柔軟にお考えいただければと思います。

（増澤専務）

対象は役員・構成員ですか？自分はメンバー全員が対象だと思っておりましてので、役員・構成員へ限定するのであれば、意味がないのでは。

（松本委員長）

最終的には、全メンバーに必要かと思います。会員へ向けては役員必携・ライオンズ必携に道徳綱領や禁忌事項が盛り込まれております。コンプライアンス規約についてはまずは役員・構成員と考えております。

（松岡委員）

MD・準地区・クラブごとに規定を設ける想定でしたので、内規的なものだと考えておりましたが全員を対象とするものになるのでしょうか。

（増澤専務）

ライオンズとして活動する、一個人として生活する上での一つの指針として作成するイメージでした。

（松岡委員）

指針とする場合は、懲戒規定は作るのは難しいのでは。

（松本委員長）

大きなクラブの場合は規約が必要になるかもしれませんので、その際の見本となればいいと思います。

（増澤専務）

ライオンズ国際会則における理事会方針書のような位置づけで、会則委員会の中に規約を置いておく形でははいかがでしょうか。

（松岡委員）

いろいろな選択肢を示しながら、複合で議論してみます。

（松本委員長）

最終的にどこで審議が行われ、どう結果を伝えるのか、指針を有効活用いただくために委員会設置と併せて規定が必要だと思う。

指針として取りまとめる方向で進め、次回委員会でも議論したいと思います。

第3回ガバナー協議会が終了している複合もあるとは思いますが出来れば今年度で、MDで決議して頂きたい。

（増澤専務）

焦らないで、複合では今期無理しなくても次年度でいいのでは。MDに持ち帰り議論して頂き、会則委員会にフィードバックして頂いて更に詰めて、次年度に結果を出す方がいいと思います。

（松本委員長）来年度でも問題ないと思います。一度MDで審議をお願い頂ければと思います。

（荒川委員）

2月26日、日本ライオンズの理事会がある様なので、協議して頂いて会則委員会に下ろして頂きたいと思います。

④ライオンズ必携第61版 修正箇所と対応について

（松岡委員）

第3条の、メンバーの件はどの様に対処致しますか？訂正を周知する必要があると思います。

（松本委員長）

各MDに、訂正文をメール送信致します。

訂正箇所についても年次大会へ取り上げていただきたい。

WEB版を日本ライオンズHPへ掲載の際には修正したものを掲載します。

（増澤専務）

再度全体を確認し、修正文を各MD事務局に送信して、必要な分を使って頂く事にし

たらいかがでしょうか。

6.次回開催予定について

第7回会則委員会 3月14日 木曜日 10:00~12:00 【ZOOM開催】

7.閉会挨拶

会則委員会副委員長 中谷 豊重

以上

2024年2月22日

議事録作成人

MD331会則委員長 馬場哲也

MD335会則委員長 小林 寛

議事録署名人

会則委員長 松本宰史

第3回アラート委員会 議事要録

◇日時：2023年11月13日（月）14:30-16:30 場所：岡山県岡山市＋ZOOMシステム
 ◇司会：若林 純也（水戸葵LC）

◇ 開会宣言

2023-2024年度 アラート委員会委員長 池原 堅

今日は2024年2月24日に予定している全国アラートフォーラム西日本の開催について、及び、アラート委員会運営規則改定に関する事項等を中心に協議を行いたい。フォーラムの開催に向け中心となって動いていただいている佐々木統括リーダー、木村東日本統括リーダー、藤井西日本統括リーダーには感謝申し上げる。

◇ 一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶

一般社団法人日本ライオンズ理事長 田名部 智之

オセアルフォーラムを始め複合地区、準地区のイベント等忙しい中、委員会に参加いただき感謝を申し上げます。諸事情でWEBでの参加となったが、現地では様々な確認が行われていると思うが、しっかりとアラートフォーラムの成功に向けて準備を進めて欲しい。又、アラート委員会ルール改訂について検討が進んでいる様だが、上半期のうちに決めて理事会を通し、しっかりとしたルールの下で活動できるようお願いしたい。

◇出席者の確認

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之	（八戸LC）	【WEB】
専務理事	増澤 義治	（諏訪湖LC）	【WEB】
アラート委員会委員長	池原 堅	（福山久松LC）	【WEB】
アラート委員会副委員長	新里 正雄	（沖縄LC）	

日本ライオンズ アラートチーム

統括リーダー	佐々木 健太	（大阪若獅子LC）
東日本統括リーダー	木村 知紀	（青森ZERO LC）
西日本統括リーダー	藤井 信英	（岡山みらいLC）

アラート委員

MD330委員	増田 正明	（東京田無LC）	【WEB】
MD331委員	浅野 敬一	（北見中央LC）	【WEB】
MD332委員	木川田 明弘	（仙台大砂LC）	【欠席】
MD333委員	中田 泰範	（新潟東LC）	【WEB】
MD334委員	堀岡 昭夫	（金沢東LC）	
MD335委員	堀口 清隆	（神戸みなとLC）	【欠席】
MD336委員	西尾 慎一	（鳥取LC）	
MD337委員	高野 裕子	（熊本平成LC）	【WEB】

委員長補佐・MD333アラート班長

若林 純也	（水戸葵LC）
-------	---------

オブザーバー参加

アラート委員会MD336班長	畑中 孝之	(岡山みらいLC)
MD336アラート副班長	織田 秀樹	(東予LC)
MD336アラート副班長	井上 哲孝	(岡山みらいLC)
MD336アラート副班長	廿日出 一晴	(呉安浦LC)
MD336アラート副班長	植田 節雄	(浜田LC)
MD336アラート副委員長	出射 隆文	(高松フェニックスLC)
336Bアラート委員	眞治 憲之	(倉敷天領LC)
336Cアラート委員	田部眞 一郎	(庄原LC)
336Dアラート委員	中川 和昌	(岩国錦LC)

◇ 議事録作成人の指名

MD336委員 西尾 慎一を指名

◇ 前回議事録の確認

10月26日開催の臨時アラート委員会の議事録（MD336堀岡委員作成）について、増澤専務理事より、池原委員長に承認を頂いているので、これから田名部理事長に回付し、承認が取れ次第各委員に配信する予定であると報告された。

◇ 議案

① アラートフォーラム（岡山）開催について

池原委員長は、10月26日開催の臨時アラート委員会於いて、2月24日開催予定の全国アラートフォーラムin岡山の組織図について承認を頂き、これを日本ライオンズの執行理事会に報告し承認を得たとして佐々木統括リーダーに組織図について説明を求めた。

※注：その後開催日を2月3日開催に変更。

佐々木統括リーダー

組織図を画面共有し、池原委員長を大会委員長とする主催委員会（計画）、MD336の西尾委員を実行委員長（開催地大会委員長としてMD336澤議長を検討）とする開催地委員会（主管）について説明した。尚、今後相談の上、主管委員会組織に田名部理事長の役職を加える事としたいとした。

池原委員長

組織について日本ライオンズ執行理事会で承認を頂いてはいるが、個人的な意見として組織に田名部理事長、澤議長を加えることに加え、開催地委員会に藤井西日本統括リーダーを加えるべきと思うが意見を聞きたいと質問。

藤井西日本統括リーダー

私としては総務部会に名前があり、役職には拘っていない。実体として自分が中心となり実行する事なので問題はない。しいて言えば、アドバイザー補佐に加える事で良いと思うと答えた。

池原委員長

問題がなければ今期はこれで良いと思うが、来期や再来期、今後同じスタンスで行うとなった場合、開催地以外の関係者も構成図に入れるように、同じような問題が起きないようにお願いしたいと要望した。

藤井西日本統括リーダー

ご指摘に従い、アドバイザー補佐としてやらせていただくと述べた。又、澤議長

の役職について、大会委員長とした場合は上に委員長が2人となるので、大会顧問とさせていただきたいと提案した。

以上の発言を受け司会のL.若林は、会議参加の各委員に組織図の変更について賛否を諮り、全員異議無くこれを承認した。

次に、池原委員長は本日行ったアラートフォーラム開催会場の視察結果について説明を求めた。

藤井西日本統括リーダー

本日、フォーラム開催予定会場である岡山市民会館を視察した。会場へのアクセスはJR岡山駅から徒歩3分の所にある路面電車の岡山駅から東山行きに乗車、城下駅で下車し徒歩5分弱の所に立地、会場は1,700名収容と申しぶんなく、ホールは1階・2階に分かれており、1階の収容人数は約700名。せめて1階を満席にしたいと考えている。閉会後は、同じルートで帰り、岡山駅直結の“ホテルグランヴィア岡山”で懇親会を行うと報告した。

池原委員長

会場へのアクセスは、案内に添付するようになっているかと質問。

藤井西日本統括リーダー

案内パンフレットに、会場のURLを記載しているのに加え、フォーラム当日はアクセスのポイントとなる地点にメンバーを配置し案内するようになっていると答えた。

池原委員長

先回の臨時委員会後、日本ライオンズにMD336よりフォーラムの案内をどの様に発信するかという問合せがあり、執行理事会、臨時理事会で案内はMD336で作成し日本ライオンズに送付、日本ライオンズから8複合に、そして35準地区に発信するという事で承諾をえているがそれでOKかと尋ねた。

藤井西日本統括リーダー

そのように理解しており、すでに案内をMD336から社団のほうに送付、返事待ちとなっていると答えた。

増澤専務理事

案内に関し、11月15日に大阪で開催される理事会で承認を得た後発信する予定である。但し、参加者の集約については、MD336にお願いしたい。併せて登録料（参加費2,000円、懇親会費8,000円）について、MD336で単独の専用口座を作り管理してほしいと付け加えた。

MD330増田委員

案内は何時頃出していただけるか、当方としては出来るだけ早く出して欲しいと要望した。

増澤専務理事

社団としては、送付いただいている内容に問題なければ11月15日の理事会で決定し16日には発信できると答えた。

木村東日本統括リーダー

昨年仙台で開催した際も各クラブに案内が届くまでに3週間程度かかってしまった。11月16日に発信出来れば良いと思うが、全国フォーラムなので遅れないようにお願いしたいと要望した。

池原委員長

今話があった通り昨年は1月の執行理事会で案内についての話しがあり、タイミングとして遅いと感じた。本年は、執行理事会に於いて8複合の議長にしっかりと連絡、案内をアラートらしく速やかに議長より夫々のMD内地区に下ろすように徹底すると答えた。

増澤専務理事

事務局に連絡したところ、案内に瑕疵がなければ理事会翌日の11月16日に各MD宛一斉に配信する事が確認出来たと付け加えた。

池原委員長

若林委員長補佐がフォーラムの内容について説明したい旨述べたのを受け、池原委員長はフォーラムの内容について説明するよう求めた。

藤井西日本統括リーダー

フォーラムの内容について、昨年の仙台では青森、静岡の豪雨災害に関する事例発表を行ったが、今年は5年が経過した西日本豪雨災害について、ライオンズ関係、倉敷社協の事例発表、四国の大学生の取組み事例発表を考えている。併せて本年の秋田、岩手の豪雨災害について取り上げるか、或いは来年にするか、又、その他に取り上げるべき内容がないか意見を聞きたいと述べた。

若林委員長補佐

池原委員長が皆から意見を聞くように要望したため、若林委員長補佐は各委員を指名し意見を求めた。

MD337高野委員

次年度災害が起こらないとも限らないので、今年度起こった災害は聞かせて頂きたいと思うので入れた方が良くと思うと述べた。

MD336西尾委員

災害は起こった地域によって色々なケースがあると思うので、取り入れた方が良くと思う。併せて専門家の意見も取り入れるべきと述べた。

MD334堀岡委員

入れたほうが良く思うと述べた。

MD333中田委員

パソコンの調子が悪く今参加したばかりで質問の内容が不明、後ほどお話しすると述べた。

MD331浅野委員

昨年行った仙台のフォーラムは素晴らしく、ビデオもインパクトがあった。フォーラムは全国が対象なので、全てを網羅すべきだと述べた。

MD330増田委員

時間が許すのであれば、全国の多種多様な事例を見聞きたいのでよろしくお願いしたいと述べた。

池原委員長

各委員の意見を総合すると、本年の秋田、岩手の豪雨災害について取り上げれば良いと思うので、皆さんの賛否を取るようにと述べた。

若林委員長補佐

全員賛成意見なので、藤井西日本統括リーダーは今まで各地で色々経験しているので、フォーラム内容の組み立ては、これまでの災害を出来るだけ多く取り入れる方向で検討する事としたいと述べ、全員がこれに賛成した。

②アラート委員会研修について

池原委員長

本件について、臨時アラート委員会でも話したが、佐々木統括リーダーの発案と言う事で、佐々木統括リーダーに説明を求めた。

佐々木統括リーダー

現在、東・西の各統括リーダーにお願いし、夫々3月（日程は未定）の各委員の都合の良い日に4MDごとに研修会を行うよう進めている。研修会開催の意図は、過去5～6年アラート委員会を開催してきた中で決まった事を見ると、東京・大阪・九州・東北と各地域によって対応がバラバラだと受援側も支援側も活動がやりにくいのではないかといい事で、まず各地区から集まっている委員が意見を出し合い、決まった事の周知を図る事、周知は委員が複合に持って帰り、準地区の委員会、各クラブの皆様伝えて頂きたいという事で提案した。日程については両統括リーダーが皆様に連絡して決めると思うので協力をお願いしたい。又、研修会の対象は委員だけでなく、将来的に複合の委員長になる方としたいので、班長の方もお願ひしたいと説明した。

若林委員長補佐

池原委員長が皆から意見を聞くように要望したため、若林委員長補佐は各委員を指名し意見を求めた。

MD330増田委員

研修会の開催は大賛成だが、参加対象は委員長と班長に限られるのか？開催場所によっては多く動員したいが如何か、開催は東日本と西日本2箇所の開催となると質問した。

佐々木統括リーダー

社団の行う研修会なので、複合地区の委員長、班長を対象としている。その方々が複合地区、準地区の皆様を対象とした研修会を開き周知するのが良いと考えている。又、開催地は東日本と西日本の4複合ずつ2箇所（対象者各8名）での開催を計画している。また、研修内容は社団のアラート委員会が出来て現在に至るまでの経緯を柿原シニアアドバイザーや坂本アドバイザーに協力をお願いしお話し頂くのに加え、研修内容は作成後に池原委員長、田名部理事長にチェックしていただいた後に、それらの資料を使って研修を行いたいと考えていると答えた。

MD331浅野委員

研修を東と西に分けて行う事に何か意図があるか？私は皆が一堂に会して色々な話を聞ける方が良いと思うと意見を述べた。社協との締結状況などもお話いただけるとありがたい。

佐々木統括リーダー

研修は過去の事例ではなく、委員会としての方向性を意思統一する事、過去に決定した事の周知徹底を図るためのものなので、移動距離が短くなるよう東西に分けて行うよう計画。アラートは日本独自であり、国際協会から指針が示されるわけではないので、日本のアラート委員会はこう有るべきといった事も含め、東と西で実施内容は統一して行うことを予定していると答えた。なお今回は第1回目であるため、次回以降開催形式を変えていくことも考える。

MD333中田委員

複合と日本ライオンズでは、アラートに対する考え方が微妙に違うと考えているので、統一する意味でもぜひ研修会を開いていただきたいと要望した。

MD334堀岡委員

ライオンズクラブは学ぶことが最優先。正確な学び、正しい情報、共有なくしてガバナンスは取れないと思うので、とにかく勉強しましょうと述べた。

MD336西尾委員

ライオンズのアラートとはこうあるべきというベクトルを統一する事は必要だと考えるので、ぜひ開催して頂きたいと述べた。

MD337高野委員

研修会を行う事は賛成だが、2月のフォーラムに続いて3月というのは少し性急。4月は年次大会等があるので5月位にと考えると希望を述べた。

若林委員長補佐

各委員から一通り意見を頂戴した。開催時期については池原委員長、統括リーダーで協議し決定いただきたいと述べた。

池原委員長

研修会の実施は前向きな提言で良い。アラートチームの委員の方はアラートに対する基本的な知識の醸成が必要であり、そういった意味で多種多様なアラートに対応するためにはライオンズ外の専門職を招聘し研修を行うのも一つの方法。アラートには多種多様な状況に応じた研修会が必要だと考えており、毎年新しい委員や班長が任命されてもアラートに対する基礎知識がないと対応が難しくなるので、災害時に十分に情報やノウハウを共有できる組織であることが大切だと思っている。次年度は新里副委員長が中心となって進めていくと思うがトップダウンではなく、今後についても最低限必要な事項についての研修を皆さんの意見を聞きながら進めて行かねばならないと述べた。

佐々木統括リーダー

池原委員長の発言に補足するとして、アラートは全社協や、地区の中でもガバナー協議会との連携が必要な組織である。研修は今後2回目、3回目と続くが、今回の研修内容は1回目であることから、委員会としてどう動くか、日本ライオンズとして、複合地区として、準地区としてどのように受援体制と支援体制を整えるかと言うことにスポットを当てた研修であり、個人のスキルの問題については考えていないので理解いただきたいと述べた。

池原委員長

皆さんの意見もくみ上げて、前向きに取り組んでいただきたい。

③アラート委員会運営規則改定に関する事項

池原委員長

本件は継続している事項であり、組織図と運営規則がマッチしていない部分があるため佐々木・木村・藤井の3名を中心に少しずつ見直しを行っている状況である。細部に亘って見直しがあるので、この改定を今回の社員総会に間に合えばとは考えているが、無理に間に合わせるようあせってやることは考えていない。実際今の組織図は昨年度承認を得ておらずそのまま今期まで来ており、これを最終的に今期でしっかりとした組織図とそれに連動した運営規則にしなければならない。すべてについて承認をいただいたかたちでスタートできるようにしたい。最終的には改定しておくべき部分や新規に追加する部分について皆の意見を聞いた上、ベストなものにと仕上げたいと述べた。

佐々木統括リーダー

緊急アラート災害支援運営規則について、森川委員長時に20年12月の社員総会で承認されたはずが、社団の中では（案）としか残っておらず現在に至っている。修正削除しなければいけない項目、例えば、第3条5項、「対象とする災害は原則は国内を優先するが、東日本大震災において諸外国から多くの支援を受けた経緯を鑑み、国外においても理事会で必要と認めた場合支援対象とする。」についてこれは過去の議論の中で、35準地区のガバナーが決めれば良いことであり、アラート委員会が関わらないほうが良い、理由としてアラート委員会は日本独自の組織なのでガバナーたちの連携により議論をすすめていただければよいのではないかとという考えでありこの項目は削除すると言った箇所を初め、削除・改正項目は私が見た中で少なくとも22箇所に入る。従ってこれを田名部理事長・池原委員長に見ていただき、執行理事会の中で論議していただき、内容が固まってから皆様に届くのが良いのではないかと池原委員長に提案し進めている。現在末尾には森川委員長の名前と日付が掲載されているが、出来れば3月末あたりを目途に理事会に通して頂き、社団のアラート委員会の中で理事会も社員総会も承認されたものを見ていただけるよう、12月～1月と作業を進めていく予定である。この様な日程で進める事で良いかと述べた。

又、池原委員長の組織図が言葉だけの説明では参加者に分かりにくいのではないかとこの発言に対し、組織図について、規約では委員長が指名するとなっているので問題ないと考えている。ただ、色々役職を設け、来期もその次も定番的に続けるのかどうか、毎年ガバナーチームでも新しい委員会を設けたりするのでその様にした方が良いという意見、或いはあまり役職者を増やさない方が良いという意見もあるので、全てを見直さなくても良いと思っていると佐々木リーダーより意見。

池原委員長より、現状の組織図と規約が一致していないことが問題であると発言。佐々木リーダーより、今期の役職の中には、柿原シニアアドバイザー、坂本・森川アドバイザーが、あまり人数が多くなってもということで入っていない。今期の委員長が来期のアドバイザーとして残ってもらうよう変えては如何かと言う提案があったので、その方向で作業を進めているので理解いただきたいと述べた。

池原委員長

組織図等について引継ぎが出来ていない事は理解いただきたい。引継ぐためには、委員会だけでなく最終的に社員総会で承認されたものでなくてはならない。組織などについて不透明なまま引き継がれてしまっており、皆さんの意見を反映して、良いものにするということは絶対であり、きちんと引き継いでゆけるものにしないといけないと強調した。不透明な部分を改正し皆が納得できる組織図と運営規則にしないといけないという事を理解いただきたいと述べた。

若林委員長補佐

池原委員長の考え方を基に各リーダーで調整をお願いしたいと本議題を結んだ。

④その他

池原委員長

皆様の方でその他意見があればお聞きしたいと述べ、無ければ新里アラート委員会副委員長に挨拶を頂きたいと述べた。

若林委員長補佐

今日は複合を代表して委員の皆様に参加いただいているので、皆様から意見を賜

りたいとして、各委員を指名した。

MD330増田委員

東西に分けて研修を行うのは大変ありがたいこと。MD330でも単独での研修会開催を考えているので、佐々木・木村リーダーにお願いしたいと要望した。

若林委員長補佐

研修会の単独開催はウエルカムなので各リーダーに相談の上進めていただきたいと答えた。

MD331浅野委員

岡山でのフォーラムが成功裏に終わるよう願うのと同時に出来る限り協力したい。研修について、規則や決まった事等に加えて、実際に災害時現場で活動している木村リーダー等、現場での経験や苦労などの話しも聞きたいと要望した。

MD333中田委員

先般、若林L、松本前議長にお願いしアラートセミナーを開催した。大変勉強になったが、日本ライオンズのアラート委員会で聞いた事とMD336の認識に多少のズレを感じたが、その事がMD333でも問題となっているので、それらを整合するためにも研修会で勉強したいと述べた。

MD334堀岡委員

災害についてMD330～MD337の認識はバラバラと感じている。その為、災害時に共通の認識を持ってもらうこと、加えてこれからのガバナーが、災害の規模を示すステージ1（クラブもしくはゾーン対応）、ステージ2（MDでの対応が必要）、ステージ3（阪神大震災・東日本大震災レベル）の各段階の認識、夫々の段階でどのように対応するかといった共通の認識を持ってもらうための研修であって欲しいと述べた。

MD336西尾委員

2月23日開催予定のアラートフォーラムの案内について11月15日開催の理事会で承認を頂く運びとなり、いよいよ本番に向けてスタートし、開催内容についても承認を頂いたので、現地実行委員長として実り多き大会となるよう努力するので宜しくお願いしたいと述べた。

MD337高野委員

岡山フォーラムの準備にあたって頂いている皆様に感謝いたします。研修会について、ガバナーが研修を受けなければ意味がないと思う。ガバナーと第1、第2、チームで研修を受ける、その為に少し時間を取って内容を考えていただきたいと要望した。

池原委員長

今回はMD336の班長、副班長、委員の方々にも参加いただいているので、夫々お話しを頂きたいとして発言をもとめた。

議長の発言を受け、会議へ参加した感想や、フォーラム開催へ向けて、地区でのアラート活動を通じて感じた点や取り組み、社協との協定や地区での体制作りの重要性など、出席のMD336班長、副班長、委員が夫々挨拶した。

池原委員長

アラートは何よりも結束が大切である。意見の相違もあるかもしれないが、お願いしていきたい。

佐々木統括リーダー

岡山アラートフォーラム組織図の主催委員会に記載が抜けていた田名部理事長について、仮で大会顧問と言う役職を充てているが如何かと諮ったところ同意を得たので、改めて組織図を作り直した上で関係者に配信するとした。

閉会挨拶

アラート委員会副委員長

新里 正雄 （沖縄LC）

今日は皆様お忙しい所、多くの方にご参加いただきました。又、日本ライオンズ田名部理事長、増澤専務理事にもご参加いただき有難うございました。統括リーダーの皆様にはご苦勞をお掛けしますがよろしくお願いします。さて、2月23日開催のアラートフォーラムの内容が見えてきたが、後は周知徹底が肝要なので理事会で早期に承認いただき発信をお願いしたい。今後MD336の皆様にはフォーラムに向け宜しくをお願いしたい。佐々木統括リーダーからお話の合った研修会の開催は必要だと思っている。研修会を通して準地区での意思統一を図ること、その意味においてガバナーチームも加えての研修会は必要だと考えている。運営規則の改正についても小さな改善の積み重ねとはなるが、必要だと考えているので宜しくお願いしたい。

今日は有難うございました。

議事録作成人

MD336委員 西尾 慎一

(2023～2024 年度)

第 4 回アラート全体会議および

第 1 回能登半島地震支援対策本部会議【WEB】議案要録

◎日時：2024 年 1 月 22 日(月) 14:00～16:30

◎システム：ZOOM システム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長

田名部 智之 (八戸 LC)

専務理事

増澤 義治 (諏訪湖 LC)

アラート委員会委員長

池原 堅 (福山久松 LC)

アラート委員会副委員長

新里 正雄 (沖縄 LC)

オブザーバー

334-D 地区ガバナー

小出 進 (金沢兼六 LC)

ライオン誌日本語版委員会編集長

団 英男 (神戸みなと LC)

日本ライオンズアラートチーム

統括リーダー

佐々木 健太 (大阪若獅子 LC)

東日本統括リーダー

木村 知紀 (青森 ZERO LC)

西日本統括リーダー

藤井 信英 (岡山みらい LC)

アラート委員

MD330 委員

増田 正明 (東京田無 LC)

MD331 委員

浅野 敬一 (北見中央 LC)

MD332 委員

木田川 明弘 (仙台高砂 LC)

MD333 委員

中田 泰範 (新潟東 LC)

MD334 委員

堀岡 昭夫 (金沢東 LC)

MD335 アラートアドバイザー

平田 佳之 (大阪狭山 LC)

MD336 委員

西尾 慎一 (鳥取 LC)

MD337 委員

高野 裕子 (熊本平成 LC)

委員長補佐・MD333 アラート班長

若林 純也 (水戸葵 LC)

アラート班長

MD330 班長

高橋 長正 (東京レスキュー LC)

MD332 班長

山下 里美 (山形アルカディア LC)

MD335 班長

中尾 斉 (摂津 LC)

MD336 班長

畑中 隆之 (岡山みらい LC)

MD337 班長

石永 扶佐夫 (武雄 LC)

司会進行：佐々木統括リーダー

- ・出席者の確認
- ・議事録作成人の指名
西日本統括リーダー藤井信英・MD336 班長畑中隆之が指名された。
- ・前回議事録の確認
全体会議としては一回目である、委員会議事録は先日送付の資料を確認願いたい。
- ・開会挨拶
池原アラート委員会委員長より開会の挨拶。
- ・一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶
田名部理事長よりご挨拶。
- ・議案：
 - ① 全国アラートフォーラム(岡山)開催直前情報
 - ・藤井西日本統括リーダー
資料 A の次第、懇親会、フォーラム内容について説明。
 - ② 令和 6 年能登半島地震について
 - ・佐々木統括リーダー
資料 B の能登半島地震被災地支援の関する書面の確認。
 - ・小出 334-D 地区ガバナー
能登半島地震発生から現在の状況を報告。
 - ・団ライオン誌編集長
ライオン誌、WEB マガジンへ掲載する能登半島地震被災地現状、支援活動などの情報提供を被災地地区より寄せて頂きたい旨のお願い。
 - ・小出 334-D 地区ガバナー
被災地区ライオンの安否確認、動向、活動状況の報告。
 - ・被災地支援活動報告
山下 MD332 班長、若林委員長補佐、木村東日本統括リーダーより報告。
 - ・池原委員長
今後の支援を行う時期や内容、支援金に関する考えを小出 334-D 地区ガバナーに尋ねた。
 - ・小出 334-D 地区ガバナー
334-D 地区災害対策本部で計画調整を進めている。
被災地避難所への支援活動は堀岡 MD334 委員長を中心として進めている。
今後現地入りするボランティア活動は事前に連絡があると調整しやすい。
アラート委員会での統制を行ってもらうとありがたい。
全国から支援金送付先の問合せに応じて 334-D 地区支援金口座を開設した。

募金活動、クラブからの資金等を送金頂ければありがたい。

多額の支援金は能登復興支援に活用して行きたい。今後のご協力をお願いしたい。

現状の情報提供は 334-D ホームページより発信する。

- ・池原委員長

被災地区ガバナー、担当委員、班長との連絡を密にして適確な情報提供を日本ライオンズに頂きたい、それを受けてアラート委員会は早急に会議を開催している。

全体として結束をしてアラートを前に進めて行きたい。情報を共有して対策を一日も早く復旧復興に向けて進むことが大事である。色々な面で必要な物があるが欠ける事なく進めていけるアラート委員会にして頂きたい。

- ・田名部理事長

日本ライオンズとアラート委員会が被災地区ガバナー、MD 委員長の要望のもとに情報を集めてしっかりと正しく進めていく事を条件に行ってほしい。

アラート委員会組織の指示命令系統の中で困っている皆さんへの支援には佐々木統括リーダーを中心として具体的に日時、内容、人数を確認し全国のアラートメンバーを動かして頂きたい。具体的日時、ニーズが分かれば日本ライオンズとしても動いていけるのではないか。

- ・佐々木統括リーダー

334-D 地区の発災からの動きを説明。

CtoC、クラブ合同での支援活動をスプレッドシートを活用し情報共有を行いたい。

能登半島地震支援について各委員に意見を求めた。

それをうけ各委員より、お見舞いと現在の支援活動について発言があった。

③ アラート委員会組織・運営規約改定について

④ 台風 19 号剰余金の活用について

- ・佐々木統括リーダー

- ・資料 C（組織図・緊急アラート災害支援運営規則）について説明。

- ・運営規約第 26 条から 28 条までのアラート委員会運営規約改定

について第 26 条に記載のある、台風 19 号支援金剰余金について、会計上は預り金約 680 万があり、アラート支援基金（仮名）と変更して今後の災害支援に使える資金とするよう変更したい。

- ・池原委員長

- ・資料 C 組織図について補足説明。

- ・第 26 条剰余金について補足説明。

- ・佐々木統括リーダー

- ・異議、意見等求めたところ挙手がないため、本件は可決承認された。

- ・名目については執行理事会に一任する。

- ・増澤専務理事

- ・名称により使用が変わる、支援金と基金では違いがある、緊急で利用できる資金として理解をもとめ緊急時に正しく使えるような方向性をもった名称に協議する。

⑤ アラート研修会開催について

- ・佐々木統括リーダー

グループ LINE で東西統括リーダーより案内をする。

・閉会挨拶

新里アラート委員会副委員長より閉会の挨拶。

以上

議事録作成

西日本統括リーダー

藤井 信英

MD 3 3 6 班長

畑中 隆之

MD336 青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会議事録

2024年2月21日（水）12:30～14:30 WEB 開催

出席者 別紙参照

議事進行：沖一雄 副委員長

1.開会挨拶

春木委員長の挨拶から始まった。

三口 巖担当ガバナーよりご助言をいただきながら複合地区内で、ライオンズクエストについての説明と普及活動のお願いを継続しております。少しずつですが、新しく取り組むクラブも出始め、ライオンズクエストに関心を寄せて頂くようになり、大変うれしく思っております。336複合地区で多くのライオンズクエストの灯りが灯り、子ども達に届く事を切に願っております。本日は青少年育成支援フォーラム馬淵事務局長にご出席いただきましてライオンズクエスト・LCIF 交付金についてご講演をいただきます。今後の活動に活かせていただきたいと思います。

議事録作成人 沖一雄 副委員長を指名

2.講師紹介 特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム事務局長 馬淵 英晃 様

3.ライオンズクエスト普及活動及び交付金状況報告 準地区 4 委員長

○吉村 政男 336-A 地区 青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員会委員長

コロナ禍の影響があり、2021年LCIFの交付金158万2千円があり、今年度まで持ち越して事業を行っています。2021年～2022年 2022年～2023年まで1件しか事業が出来ていませんでした。

2023年～2024年は、鳴門LC・土佐LC・高知LCで教員向けのライオンズクエストワークショップを実施。6R7R合同で、ライオンズメンバー向けのライオンズクエスト体験セミナーを実施。来期は、4件のライオンズクエストワークショップを予定。ライオンズメンバー向けと、教員向けのライオンズクエスト体験セミナーを2件予定。LCIFに、来期1万1,300ドルの交付金の申請をしている。

高松東LCがライオンズメンバー向けの1日ワークショップを実施するなど、ライオンズクエストに積極的に取り組んでおり、今後活動が広がりつつあります。これからもライオンズメンバーに、ライオンズクエストの理解を深めて頂きたい。

○小沢 恭介 336-B 地区 青少年・ライオンズクエスト委員会委員長

10月の第一回複合地区委員会報告から、進展がない。次年度に繋げて行ける動きだけはしたいと思っている。今、何が決まっている、と言う報告は出来ない。

（会場を押さえて頂ければ、複合地区委員会でも、お手伝いいたします。岡山・鳥取両県で

のライオンズメンバー向けのライオンズクエストワークショップの開催は難しくないの
でぜひ実施して頂きたい、との発言が複数ありました)

○神原 高宏 336-C地区 青少年(クエスト・薬物乱用防止)レオ委員会委員長

2023年に、7/25・26 福山市で、私立3校のライオンズクエストワークショップ開催。
9/20 福山市市民参画センターで21名のライオンズメンバーが参加して、ライオンズク
エストワークショップが開催されました。9/21 広島市南区民センターで22名のライオンズ
メンバーが参加して、ライオンズクエストワークショップが開催されました。

次年度、2024年7/25・26 福山市で、私立3校のライオンズクエストワークショップ開
催。公立校では、安佐北区の小学校でライオンズクエストワークショップの開催が決定。
広島市の牛田小・中学校。宇品小学校でも開催に向けて活動中。受けるクラブ、Z・Rを
探している。コロナ禍の影響で、ワークショップ開催が止まっている、廿日市市・呉市・
三原市・世羅町などへのワークショップ再開の働きかけを地区委員会にお願いする。

コロナ禍明けでライオンズクエストワークショップの開催が増えて来ます。

資金が足らなくなるので、LCIFの交付金の増額を図る必要がある。(三口担当ガバナー)

○坂根 良一 336-D地区 青少年健全育成委員会委員長

D地区では、教員向けのライオンズクエストワークショップは、7～8年やっていない。

まず、ライオンズメンバー向けのライオンズクエストワークショップを2024年6月
15日山口市で、6月16日に大田市で開催する事が決定。両会場各40名のライオンズメ
ンバーで実施予定です。

LCIFの交付金申請に向けて、山崎もとみD地区ガバナーの指導のもと、対象の学校の
リストアップを行い、島根県は終了。山口県も、1つのRごと2校のリストアップをお願い
している。

4.青少年育成支援フォーラム事務局長 馬淵 様 講演

- ①ライフスキルとは ②ライオンズクエストプログラムの基本要素
 - ③ライオンズクエスト普及活動の内容 ④全国のワークショップ開催状況
 - ⑤ライオンズクエスト普及活動の関係組織(LCIF・ライオンズ・JIYD)
 - ⑥LCIF交付金について ⑦ライオンズクエスト普及活動の歴史 ⑧その他
- 詳細は 資料を参照

5.質疑応答

6.まとめ 336 複合地区青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会

三口 巖担当地区ガバナー

A 地区 コロナ禍前に戻りつつあるのかな、と思っています。

ただ、交付金5万ドルには、ほど遠い印象。12ワークショップの開催が出来るはずです。

12ワークショップに近づける様にして頂きたい。引き続き、ライオンズクエストの普及活動に取り組んで頂きたい。

B 地区 今の所、全く動きがない。小沢地区委員長を中心に、ぜひとも今年度中に、ライオンズメンバー向けのライオンズクエストワークショップを岡山・鳥取で開催して頂きたい。ライオンズメンバーが、ライオンズクエストの事を知って頂かないと、普及活動が出来ません。ホテルなど、使わなくて、会場費が安い公民館などを押えて頂ければ、複合地区委員会・青少年育成支援フォーラムでもお手伝いさせていただきます。簡単にできますし、まだ間に合いますので、今年度中の開催を実現して下さい。今年度何も無かった、では、何の為に委員会が存在したのか分かりません。ぜひ、実施をお願いしたい。

C 地区 まだ、コロナ禍前に戻っていませんが、学校の先生方も、やってみようかな、と言う気運が高まっている。C地区も、コロナ禍前の12ワークショップ出来るように頑張って頂きたい。

D 地区 以前平田ライオンズなどで、活潑にライオンズクエストワークショップがされていたと思います。山口県・島根県で、ライオンズメンバー向けワークショップが開催されず。地道に、活動を進めて頂ければと思います。

ライフスキルを身につけると、人生100年時代。70歳・80歳になっても生きている限り、子ども達に身につけているものですから、ライフスキル教育(ライオンズクエスト)をやる地域と、やらない地域で、地域格差が生まれる。地域格差が生まれない為にも自分達の地域の子どもの為に、ライオンズクエスト普及活動に取り組んで頂きたい。

LCIFの交付金

寄付をするだけでなく、LCIFの交付金を活用して頂きたい。

1地区で、5万ドル。A地区とB地区が共同で申請すれば、15万ドル。

C地区とD地区で申請すれば、15万ドル。336複合地区で、30万ドル。

2年間で4,500万円の活動資金を活用して、ライオンズクエストワークショップを実施する事が出来ます。336複合地区で、資金を活用して活動して頂きたい。

春木委員長から一般社団法人日本ライオンズから「クエスト委員会、薬物乱用防止委員会」宛にアンケートがあった件について「合同委員会か、個別委員会か、又、委員会の名称について現状把握のためのアンケート」各準地区の委員長に委員会の名称を確認した。

A 地区：青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員会

B 地区：青少年ライオンズクエスト委員会

C 地区：青少年健全育成（クエスト・薬物乱用防止）レオ委員会

D 地区：青少年健全育成委員会

ライオンズクエストや薬物乱用防止の名称が入っていない委員会でも中身はライオンズクエストや薬物乱用防止活動を行っている。

その回答に対して、三口担当ガバナーから、委員会名にライオンズクエスト・薬物乱用防止の名前を入れて、活動が分かる様にして頂きたいとの要望があった。

7.閉会挨拶

ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区ガバナー協議会 澤 辰水 議長

本日はお疲れ様でした。青少年育成支援フォーラム 馬淵事務局長ありがとうございました。私は、日本ライオンズのライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会の副委員長をしています。薬物乱用防止の認定講師証は持っていますが、ライオンズクエストについては、ガバナーの時、コロナ禍で、あまり詳しくはなかったので、今日は、ありがとうございました。ライオンズクエストについても、出来る限りお手伝いをしたいとの挨拶がありました。

次回開催は 4 月は行事が多いので 5 月連休明けを予定。

議事録署名人：MD336 青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会

委員長 春木扶佐子

承認年月日 ： 2024 年 3 月 1 日

春木 扶佐子



ライオンズクエスト プログラム

2024年2月21日

ライオンズクラブ国際協会336複合地区

2023-2024年度 第2回 青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会

特定非営利活動法人青少年育成支援フォーラム（JIYD）
（Lions Quest プログラム普及事務局）

2024/2/21

1

1

本日の内容

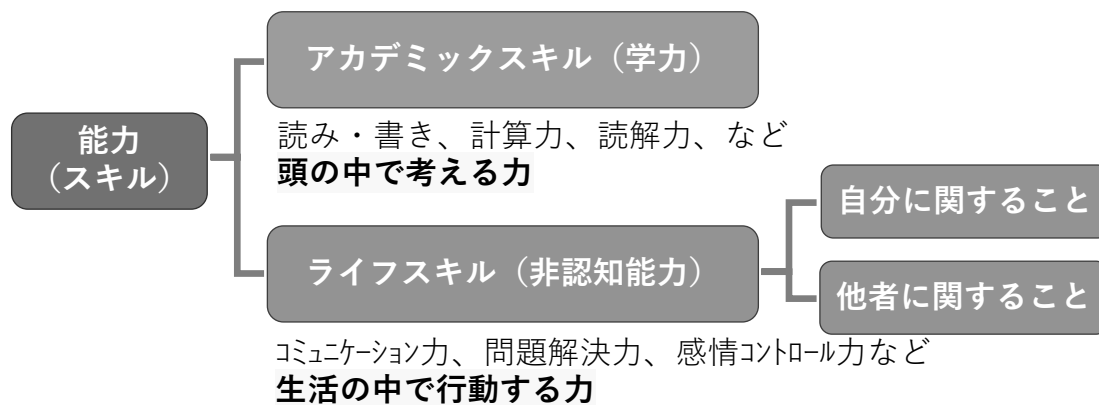
1. ライフスキルとは
2. LQプログラムの基本要素：教材とワークショップ
3. LQプログラム普及活動の内容
4. 全国のワークショップ開催状況
5. LQ普及活動の関係組織：LCIF、ライオンズクラブ、JIYD
6. LCIF交付金について
7. LQ普及活動の歴史
8. その他

2024/2/21

2

2

ライフスキルとは



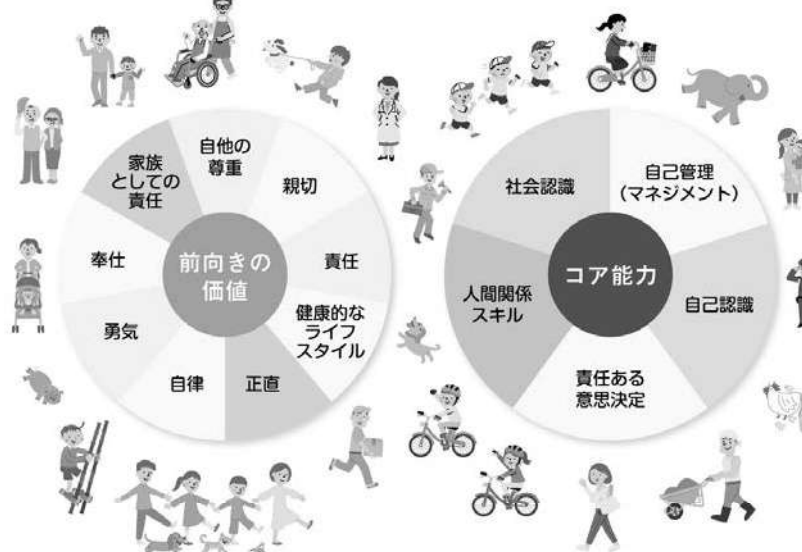
ライオンズクエスト プログラムは、ライフスキルを系統的に学習できる教育プログラムです。

2024/2/21

3

3

LQの目指す「コア能力」と「前向きな価値」



2024/2/21

4

4

LQプログラムの基本要素

学校などの教育現場で実施するために

教材

- ・未就学児～中学生まで（発達段階に合わせた作り）
- ・学校・家庭・地域が連携する内容や資料が充実
- ・小学生・中学生向けは電子版、幼稚園・保育所向けは冊子

ワークショップ（指導者養成研修）

- ・研修時間は1日または2日間
- ・「基本編」（1日）：プログラム実践の為の必須研修
- ・「実践編」（1日）：実践者向けのスキルアップ研修
- ・おすすめは「基本編＋実践編」（2日間）



2024/2/21

5

5

LQ普及活動の内容

① 学校・教育委員会への働きかけ（普及広報）

- ・学校・教育委員会への訪問説明
- ・体験セミナーの開催



ライオンズ向けセミナー

② 指導者の養成（ワークショップ開催）

- ・教育現場（学校など）の実践者を養成

③ フォローアップ

- ・学校での活用状況の確認
- ・新任・転任教員のワークショップ参加支援
- ・フォローアップ校内研修の開催



学校向けセミナー

2024/2/21

6

6

全国のワークショップ開催状況 (2024年2月現在)



複合	2019-20	2020-21	2021-22	2022-23	2023. 7-12	2024. 1-6
330	4	3	3	2	4	
331	4		2	3	1	3
332	9	3	4	5	7	2
333	21	2	12	13	15	1
334	11	2	7	10	11	
335	21		7	19	19	3
336	10		1	2	6	3
337	20	2	5	16	19	
合計	100	12	41	70	82	12

(2024年1-6月期の内、3-6月期は予定。)

2024/2/21

7

7



ライオン誌日本語版ウェブマガジン <https://www.thelion-mag.jp/1802th01>

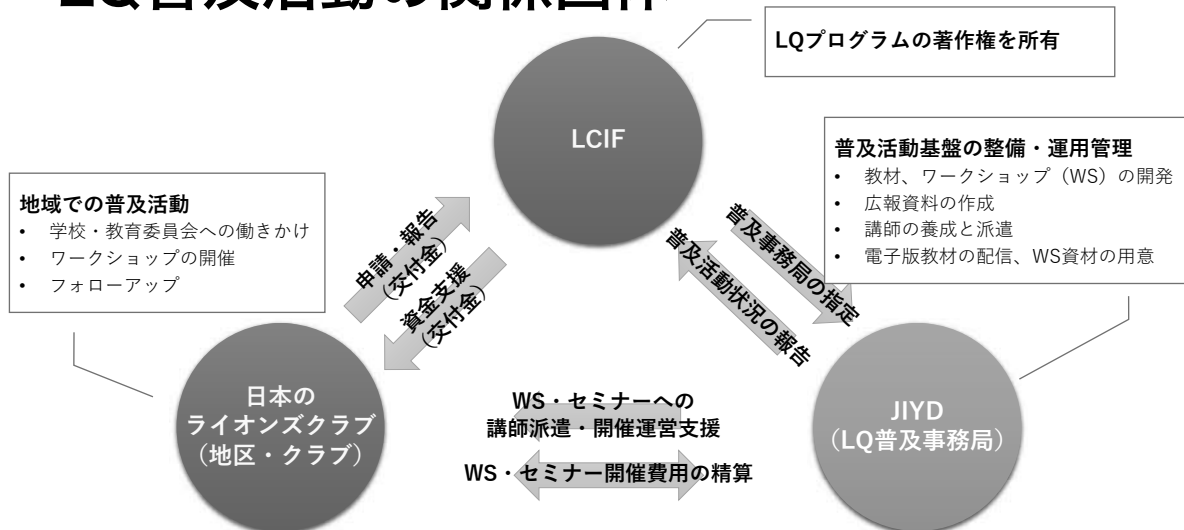


2024/2/21

8

8

LQ普及活動の関係団体



2024/2/21

9

9

LCIFライオンズクエスト交付金

- 目的：地域と対象の拡大
- 事業期間：最長2年間
- 申請金額：
 - 準地区＝上限5万ドル
 - 複合地区＝上限15万ドル
- 資金割合：交付金は最大75%まで（残りは国内資金）
- 申請期限（審査時期）：
 - 2月（5月）、5月（8月）、10月（1月）



2024/2/21

10

10

LQの歴史



開発秘話が
紹介されて
います。

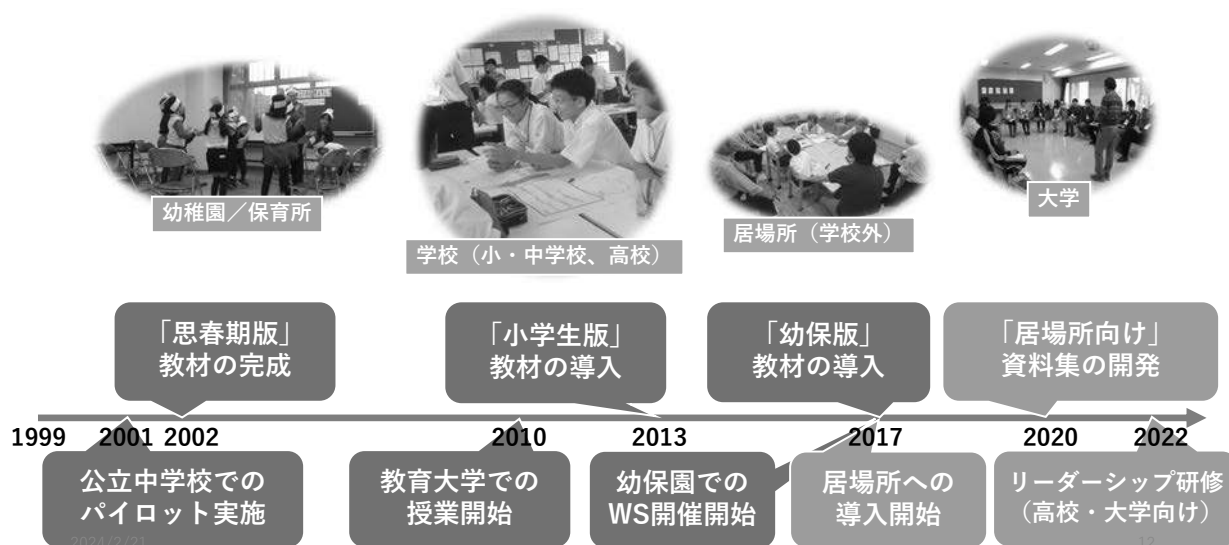
時期	アメリカ	日本
1975	アメリカの青年、リック・リトルが開発をスタート、後にクエスト国際財団を設立	
1984	ライオンズクラブ国際協会とクエスト国際財団により普及活動開始	
1999		330複合地区がパイロット地区として、LCIF 四大交付金を得て、青少年育成支援フォーラム（JIYD）と協同して、普及活動を開始する
2002	ライオンズクラブ国際財団（LCIF）が著作権を取得し、国際プログラムとして世界中で普及	
2003		LCIFよりJIYDが普及事務局の指定を受ける

2024/2/21

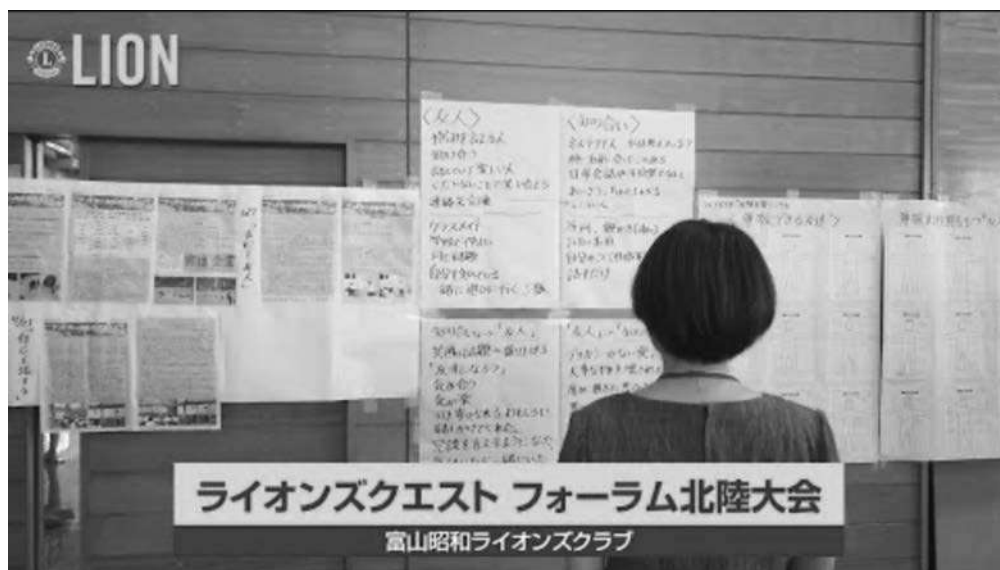
11

11

LQの歴史（国内の対象・教育現場の広がり）



12



ライオン誌日本語版ウェブマガジン <https://www.thelion-mag.jp/2309th01>



2024/2/21

13

13

かめのり未来をつくるリーダーシッププロジェクト

＜かめのり未来をつくるリーダーシッププロジェクト 2023＞

これからの時代にチャレンジしていく
リーダーシップ研修

参加費無料
20名限定！

オンライン研修、オンデマンド学習、宿泊研修の
ベストミックスで学ぼう！

現在は「過去に成功体験が通用しない」「未来を知らぬ時代」となりつつあります。このような時代には、強いリーダーシップを養育することも、一人ひとりがリーダーシップを発揮することも必要です。この研修は、それらに必要な「未来を築くリーダーシップ」について理解を深め、必要「ライフスキル」を身につけることを目指します。

実施時期 - オンライン研修 3回（①11/18、②11/19、③11/22） 会場20回（11/22）
オンライン学習 3回（オンライン研修①～③各回後に各自で学習）
宿泊研修1回（2023/12/9-10日）（ホテル・アムステルダム）

応募資格 - 上記研修にすべて参加できる方
応募資格は、高校生・大学生
・その他特設ページを参照

参加費 - 無料
（宿泊研修の交通費は別途）

詳細や募集要項・申込はこちら
特設サイト
<https://kari.jp/>

高校生・大学生を対象とする
リーダーシップとライフスキルの研修



2024/2/21

14

14



かめのり未来をつくるリーダーシッププロジェクト2022

<https://kafl.jp/>


2024/2/21

15

15

目次

指導者用ガイド 第7巻 (※対象 小学校6年生・中学校1年生)

単元1 - 明るく意欲的な学習集団

はじめに.....7

授業1: オリエンテーションと知り合う活動.....8

授業2: みんなの得意でルールづくり.....11

単元2 - 個人の発達:ひとり1人の力を伸ばす

はじめに.....14

授業1: 大切な価値を知る.....15

授業2: スキルと責任という宝珠.....18

授業3: 集中すればできる.....21

授業4: ある成功の物語.....24

授業5: 私の行動計画.....27

授業6: 感情を見分け言葉で表現する.....30

授業7: ストレスに負けない.....33

授業8: 喜びのポケット、悲しみのポケット.....36

単元3 - 社会的発達:みんなと生きる力を伸ばす

はじめに.....39

授業1: じょうずな聞き方を身につける.....40

授業2: 相手の価値を認め、敬意を示そう.....43

授業3: 何、いつ、なぜ、どのようにメッセージ.....46

授業4: ちょっと手伝ってください.....49

授業5: 友だち、それとも知り合い?.....52

授業6: 『6ステップ解決法』でうまく解決.....55

授業7: いじめが行われるのはいつ?.....58

授業8: 勇ましくいじめに負けない.....61

単元4 - 健康と病気の予防

はじめに.....64

授業1: 先を見ずして.....65

授業2: 責任ある意思決定.....68

授業3: 責任: 選択とその結果.....71

授業4: なぜたばこに手を出す?.....74

授業5: アルコール類には要注意.....77

授業6: 薬物には手を出すな.....80

授業7: 薬物とプレッシャー.....83

授業8: 健康をめざす選択の輪を広げよう.....86

単元5 - リーダーシップと奉仕学習

はじめに.....89

授業1: 奉仕学習の5つのステップ.....90

授業2: 才能、スキル、興味関心を生かして人の役に立つ.....93

授業3: 学校と地域のニーズを学ぶ.....96

授業4: 奉仕学習プロジェクトの選択と調査.....99

授業5: 目的と計画.....102

授業6: 目標・計画・実行.....105

授業7: 学習の振り返り: 成功の物語.....108

授業8: 成果の発表とお祝い.....111

単元6 - ふりかえりとまとめ

はじめに.....114

授業1: 思い出をありがと.....115

授業2: すばらしい仲間!.....118

ライオンズクエスト 単元5-リーダーシップと奉仕学習

5.1.2 つなげる活動 奉仕学習の5つのステップ

1 調査

『調査』の課題は2つです。自分たちの能力(=才能、スキル、興味関心)を把握すること。そして、学校や地域のニーズ(=困っていること、取り組みが求められたいこと)を見つけることです。

生徒たちは調査、観察、研究などの方法を使って、必要な情報を集めます。そしてこの段階から、奉仕学習プロジェクトの記録を取り始めます。

2 準備と計画

このステップでは、計画を立て、目標を設定し、役割を分担し、協力者を探します。

3 実行

いよいよ奉仕学習プロジェクトを実行します。プロジェクトとは、学校や地域のニーズに応え組織的に実施する活動のことです。これには次のタイプがあります。

- ・直接型: 受け手に直接に働きかけを行う

- ・間接型: 受け手に接しないで、受け手に有益なことをする
- ・報道型: 目的や目標のために、人々の意識を高める
- ・調査型: ニーズに、情報を集め報告する

4 ふり振り返り

プロジェクトが終了したら、個人として、またグループとして、プロジェクトがうまくいったかどうかをふり振り返ります。そしてそれを、実践記録、レポート、絵などの作品、コンピュータを使ったプレゼンテーション資料などにまとめます。

5 発表とお祝い

プロジェクトの全活動の記録を整理し、行ったこと、他の人から学んだことをまとめて発表し、プロジェクトの成功に貢献してくれた人たちに、感謝の気持ちを伝えます。

16

16

64-報告事項-

LQでリーダーシップ研修をやってみませんか？

ご提案

- 対象は**中学生・高校生** LQ実践校の生徒やレオメンバー
- 研修スタイルは**オンライン**（複数回）と**対面**（1日）
- 目的は地域のニーズに応えるための
「**リーダーシップ**」と「**ライフスキル**」を身につける

ご提案

研修を通じて参加生徒が考えた地域貢献活動を
地元のライオンズクラブと一緒に取り組んでみる。

2024/2/21

17

17

居場所ライフスキル教育サポートプログラム

学校外へのライフスキル教育の導入



2024/2/21

18

18

LQのホームページとオンラインブックストアもぜひご覧ください！



<https://lionsquest-japan.org/>



<https://still-silence-490.stores.jp/>



2024/2/21

19

第4回日本ライオンズ YCE 委員会 WEB 議事録

◎日時：2024 年 1 月 16 日（火）13：30-16：00

◎開催方法：WEB（於：ZOOM システム）

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 (八戸 LC)

専務理事 増澤 義治 (諏訪湖 LC)

YCE 委員会

委員長 吉村 弘吉 (和歌山 LC)

副委員長 田中 雄一 (狭山 LC)

各複合地区 YCE 委員

MD330 ベイリー 久美子 (加須 LC)

MD331 鈴木 善一 (千歳 LC)

MD332 菊池 徳男 (北上国見 LC)

MD333 藤川 清幸 (前橋中央 LC)

MD334 石本 雅之 (鯖江 LC)

MD335 正岡 章 (吹田江坂 LC)

MD336 蔵本 守雄 (高松源平 LC) 【欠席】

MD336YCE 委員会世話人 三島 英揮 (福山東 LC) 【代理出席】

MD337 岡秀昭 (大川 LC)

- ① 吉村委員長より開会宣言と挨拶。
- ② 日本ライオンズ田名部理事長より挨拶。
- ③ 出席者の確認：出席者名簿を確認、MD336 は三島 L.が代理出席。
- ④ 議事録作成人指名：MD333 藤川委員長を指名
- ⑤ 前回議事録の確認

吉村委員長より前回の会議は主に情報共有であった旨説明がなされた。

⑥議題：確認事項及び協議事項

1.各 MD より冬期交換事業の報告

MD330：派遣について MD335 にお世話になり感謝している。マレーシアからのホスト家庭等の情報が直前まで混乱していたため、父兄より心配の声があった。現地空港でホスト家庭が迎えに来ず、直接親へ連絡してしまうなどトラブルもあったが帰国した子供たちからは楽しかったと報告があり全体的には再開後としては良い結果と思う。

MD331：交換なし

MD332：交換なし

MD333：派遣ではマレーシアについて MD335 にお世話になり感謝。派遣、受け入れ共に各準地区委員長や役員の方が送迎していただいたことに感謝している。受け入れについて、シンガポール 2 名、メキシコ 3 名。ウェルカムレセプションでは 5 名の YE 生に対して議長はじめガバナーなど 40 名ほどライオンが参加して盛大に行われた。

MD334：派遣生の荷物紛失などトラブルがあり心配される父兄との連絡に労力を費やした。また、コロナに感染した YE 生もいた。不慣れなこともあり事務方とともにかなりの時間を費やした。ドイツへは派遣は 4 名行ったが来日 4 名は中止となった。受け入れに関してはイタリアのみ 6 名来日しキャンプも行った。関係者に感謝している。

MD335：E チケットの種類の勘違いによる小さなトラブルがあった。ニュージーランドは 4 名（うち MD335 から 2 名）現地で川に入るイベントがあったようだが日本の派遣生は怖がって川に入らなかったとのこと。危険な行為はしてはいけないと日本で言われていると話していると現地キャンプより連絡があった。

受け入れはマレーシア 11 名。2 泊 3 日のキャンプを実施。雪不足のため急遽内容変更。南国の子供たちは雪があると喜ぶので今後場所の変更も検討している。B 地区の今村委員長よりレポートあり。別途資料。

MD336：交換なし

MD337：シンガポールに絞って 9 名の派遣。1 名がコロナに感染したため 3 日遅れで参加。派遣生のうち 2 名が現地でコロナ感染してしまったが無事年明けに帰国。来日はシンガポール 3 名。後半は 330・333 へ移動した。

吉村委員長より：全体的にまずまずの結果と思う。初めての体験で派遣生の父兄が心配するため情報提供はスピーディーに正確に行うことが重要と思われる。反省を基に改善していきましょう。

2.春・夏期交換について

・春の実施は MD330 のみ。派遣についてはタイへ 3 名、グアムへ 4 名。3/26-4/5 予定。来日についてはタイから 10 名、グアムから 2 名程度を予定している。3/23 から 2 又は 5 日。

・夏の実施

MD331：派遣は現在集計中であり 1 月中締め切り予定、受け入れはスイス 2 名、スペイン 2 名。フィンランドは 10 名予定だが現地より返事がない。

MD332：春のタイ派遣を MD330 に 1 名お願いしている。夏は派遣・受け入れともノルウェー、テキサスと調整中。

MD333：派遣はリトアニア1名、メキシコ2名、チェコスロバキア2名、ブラジル1名、ポーランド1名、スロベニア1名。受入はリトアニア1名、メキシコ2名、チェコスロバキア2名、ポーランド1名、スロベニア1名、インドネシア1名、スイスとブラジル調整中。どちらも現在8名程度を調整中である。夏のキャンプは最大10名程度を見込み検討中である。

MD334：現在28名派遣希望。イタリア7名、ドイツ7名、ベルギー4名、エストニア2名。マレーシア希望の10名前後はMD335と、スイス希望1名はMD331と調整が必要。来日はイタリア7名、ドイツ7名、ベルギー4名、エストニア2名、マレーシア調整中。

MD335：派遣・受け入れとも40名程度を予定。派遣について、マレーシアは25名、東マレーシアには別枠がある。ニュージーランド4名、ミシガン2名、アルバータ2名、リトアニア1名、ルーマニア2名、インド1名、オーストラリア若干名を予定しており、現在30名程度を予定。1/15に締め切りした。他の複合からの派遣希望にも対応していきたいと思うので、声掛けしていただければ検討する。336へマレーシアからの来日生受け入れの提案あり。

MD336：今期の夏は派遣・来日とも中止予定。再来期以降再開を目指したい。

MD337：派遣はシンガポール12名を予定している。東マレーシアとシンガポールが同じ複合だったこともあり、東マレーシアへ4名希望あり。MD4に1名希望あり。

- ・MD330より、アメリカの日程が6月13日からになると連絡があった旨報告。

- ・MD335キャンプ日程予定について、資料を元に説明あり。準地区ごとに行っていたが今後は複合で行う予定。

正岡委員長より：キャンプについては国際協会のHPに掲載される。参加者は情報の正確さやスピードを考えると、窓口制でなく直接のやり取りをした方がよいと思う。フィンランドから直接来日・キャンプ参加1.2名の希望連絡あり、鈴木委員長にキャンプ希望の来日生について直接やり取りの可否について確認。

鈴木委員長より：直接やっていただいたほうが良いというのが率直な意見。

担当窓口のフィンランドについて窓口の変更を提案したい。南国のYE生は北海道の雪に感動すると思う。正岡委員長よりマレーシアより数人受け入れていただいてもいいのではと提案あり。

吉村委員長： キャンプについては直接やりとりするしかないと思うが、通信国・窓口との連絡は密にしておいてほしい。

MD331窓口について、一度協議し、実情に沿った通信窓口の見直しを行いたい。

3.その他

- ・共通ユニフォームについて

藤川委員長より進捗の報告あり。フジマキネクタイより 7000 円を下回る見積もりを頂いている。各複合の必要枚数を集計してフジマキネクタイに作成依頼をする。
吉村委員長より各複合の予定枚数を聞き取り。

330	331	332	333	334	335	336	337	計
30	20	24	50	60	60	希望 なし	60	304

現状で 304 枚、この枚数だと 6800 から 6900 円ほどになると藤川委員長より回答。
集計表を事務局より各複合に送付する。MD330 より、春の派遣に間に合うかとの問いがあった。フジマキに確認したところ対応できるとのこと。3/26 までに 10 枚程度を先行作成する。

吉村委員長より、派遣生の手引きにユニフォームのイラストがある。イラストはフジマキネクタイへ依頼するが、ベストの下スタイル等、改定しなければならない部分があると思うが、皆さんの意見を聴きたい。

- ・例会などのフォーマルな場とアクティビティなどへの参加時、空港でのユニフォームの必要性など意見が求められた。
- ・海外の例会は日本とは違ってラフな服装が多い。ポロシャツでも襟があればセミフォーマルになる。学校の制服または襟付きのシャツの上にベストを羽織る程度でいいのではないか。
アクティビティの場合はカジュアルな服装にベストが良いと思う。
- ・派遣先の空港ではベストを羽織ることで日本の YE 生と目印になると思う。
- ・ユニフォーム着用について、着用する場面の記載など、YE 生の手引きの見直しを各複合で行ってはどうか。
- ・髪の色、ピアス、タトゥーなどを含めて、門戸を狭めないような配慮も今は必要かもしれない。「清潔感のある身なり」のような表現ではどうか。
- ・従来頒布していたネクタイ・リボン・ワッペンについて、着用は強制しないこととしたい。
- ・現在のルールが厳しすぎるとの意見が出、改定のためもう一度実務者会議を行ってもよいのではと意見が出る。
- ・各委員よりマニュアル改善が必要であるという意見が出、ユニフォームについてもなるべく現代にあった改定を行いたいという意見。案としてフォーマルな場では襟付きの服装、アクティビティではベスト着用など最低限の規定にし、他は YCE 生の判断に任せるのもよいのでは。

→YE 生の手引き（マニュアル）の改定を各複合で検討いただいた上、次回委員会にて

話し合うことを申し合わせた。

・共通アプリケーションフォームについて

吉村委員長より、前回会議を元に作成した共通フォームについて説明。青の網掛け部分はヨーロッパの個人情報保護に関する記載である旨の説明があった。その後、各 MD 委員長に意見を聴き、全体的によくできていると思われるため、これを統一フォームとして申し合わせた。各 MD で準地区に伝えていただきたい。共通フォームは事務局よりエクセルデータで各複合に送る。記載する言語について質問があり、来日生については相手国へは英語版での提出が必要であると回答。英語での記載については現在日本語での記載を地区委員が修正している複合などもあり、派遣生に英語での記載をお願いするのもいいのではなどの案があり。

受入れのフォームについても問いがあったが、現状は各国別のフォームで送られてくる旨の報告があり。各国の意向もあると思われるので現状通りとすることを申し合わせた。

・次回委員会について

3月13日（水）13：30～16：00

WEBでの開催を申し合わせた。

吉村委員長より次回までに服装を含むマニュアル見直しと、複合間での人数調整についてお願いしたいと要望あり。

⑦ 閉会の挨拶

・増澤専務理事より閉会あいさつ。

以上

議事録作成：

MD333 YCE 委員長 藤川清幸

第4回 336 複合地区 YCE・国際関係・レオ・平和ポスター委員会議事録

議事録作成人：複合地区 YCE 委員会世話人 三島 英揮

開催日時：2024 年 2 月 24 日(土)18:00~19:00

開催場所：土佐鰯処 康（やす）式号店 高知市追手筋 1-4-8 中央ビル 1F 北

出 欠

※敬称略

議長	澤 辰水	欠
世話人	三島 英揮	○
委員長	蔵本 守雄	○
副委員長	大和 博見	○
A 地区委員長	馬場 信一	○
B 地区委員長	小銭 和明	○
C 地区委員長	鈴木 啓介	○
D 地区委員長	林 昴史	欠

開会挨拶 三島

12 月の委員会では残念ながら次期の派遣、受け入れもしないということになりましたが懇親会で盛り上がり場所を変えてまた集まろうということになりました。こうして高知で開催されることを嬉しく思います。1 月行われた全国の Y C E 委員会に蔵元委員長の代理で出席致しました。他の地区ではこの冬から既に派遣、受け入れ共行っており、MD 3 3 6 の出遅れを実感しました。このままでは MD 3 3 6 は取り残されてしまうので、来々期に向けて今日のこの委員会で有意義は話し合いがされることを期待しております。

各地区からの現状報告

A：受け入れ、派遣ともなし

B：受け入れ、派遣ともなし

C：受け入れ、派遣ともなし

D：次期の委員長のクラブが周年なので、その記念行事で何名か派遣をしたいとの問い合わせがあるがどうしたものかと質問が出る。

それに対して蔵本委員長より、クラブ独自でされるのであれば問題なしと。それに対して複合としては何もしないのかという質問に対して今期は予算取りもなにもしていないので動きようがないとのこと。

独自でするといっても MD 事務局のお手伝いがあるわけでこんな状態で高杉さんをお願いしてもしてくれるわけがないということに。

これまで何度も出た話が続く。

C 地区鈴木委員長より、Y C E の活動が素晴らしいのは理解できるが行事をこなすことが目的になり会員のなかには負担としか思っていない人も結構いると思います。受け入れは押し付け合いになっているゾーンもあります。

三島世話人より このまま期が変われば委員長以下が変わりこの繰り返しになりいつまでたっても MD 3 3 6 では Y C E の活動は再開されないおそれがあります。そうならないためにも今期中に次期議長、次期ガバナー、次期委員長を交えて今後の進め方を話し合う必要があるという意見が出る。極力リアルで行いたいのが予算の関係もあるのでハイブリットもしかたない。

蔵本委員長より、ある程度雛形が必要ではないかという意見が出る。それをもとに第 5 回を行うということに。時期としては 3 月 2 3 日に全国の会議があるので 4 月頭がいいのではないか。

議事録署名人：

336 複合地区 YCE 委員会委員長 蔵本 守雄

承認年月日 ：2024 年 2 月 27 日

蔵本 守雄

複合地区協議会議長様
地区ガバナー様
地区平和ポスター・コンテスト委員長様
複合地区ガバナー協議会事務局 ご担当者様
地区キャビネット事務局 ご担当者様

※複合地区ガバナー協議会事務局および地区キャビネット事務局におかれましては、お手数ですが上記役職の皆様にご本メールをご転送いただきますようお願い申し上げます。

お世話になっております。2024-2025 年度の平和ポスター・コンテストのテーマが「**限りない平**

和」に決定し、平和ポスター・キットの販売がスタートしましたのでお知らせいたします。クラブへのご案内として、平和ポスター・コンテストの概要、キットの購入方法、よくある質問などを記載した『平和ポスター・コンテスト ご案内』を添付しますので、地区内クラブへ広くご案内いただけますと幸いです。

平和ポスター・コンテストは 30 年以上続く国際協会の歴史あるプログラムであり、毎年多くのクラブにご参加いただいています。長引くウクライナの戦争やガザでの戦争のニュースが途切れることのない毎日に、平和の大切さを誰もが再認識している今、平和ポスター・コンテストを通じて子供たちに平和について考え、表現する機会を提供する役割をライオンズが担っていただければと思います。

国際協会では添付の『地区平和ポスター・コンテスト委員長ガイド』という資料をご用意しています。地区平和ポスター・コンテスト委員長が不在の地区もあるかと思いますが、その場合は地区ガバナーを中心にこちらの資料を参考にいただきながら、複合地区・地区レベルでクラブへ参加を働きかけ、コンテストを推進することをぜひご検討ください。

どうぞよろしくお願い致します。

平和ポスター・コンテストに関するお問い合わせは、オセアル調整事務局 梶澤・澤田 までご連絡ください。

電話： 050-1791-5822 ／ Email: Shopjapan@lionsclubs.org

ライオンズクラブ国際協会 オセアル調整事務局



LIONS INTERNATIONAL

PEACE POSTER

2024-2025年度国際平和ポスター・コンテスト

平和ポスター・コンテストは30年以上の歴史があるプログラムで、世界各国のライオンズクラブが11歳から13歳の子どもたちを対象に実施する芸術コンテストです。日々のニュースで戦争の恐ろしさや平和の大切さを実感している今こそ、平和ポスター・コンテストを通じて地域の子供たちに平和について考え、自らのビジョンを表現する機会を提供しませんか？

◆国際平和ポスター・コンテストのオフィシャルページは[こちら](#)

◆パティ・ヒル国際会長からのコンテストについてのメッセージビデオは[こちら](#)（日本語の字幕が設定できます）

前年度の受賞作品一例



2022～23年度優秀賞受賞者

メイファン・スー
12歳
中国



2022～23年度大賞受賞者

エマ・アンドレア・バヴェリウク
13歳
ルーマニア



2022～23年度優秀賞受賞者

今田柚妃
12歳
日本

◆平和ポスター・コンテストの流れ

1. コンテストは地域内の学校または青少年グループを対象に実施します。まずはコンテストを宣伝し、参加する学校や青少年グループを募ります。
 2. コンテストの実施が決まったら、平和ポスター・キットをライオンズ・ショップから購入します。平和ポスター・キットの中身を知りたい場合は、「平和ポスター・キット開封の儀」の動画をご覧ください。コンテストの進め方について知ることもできます。
 3. 地区審査が行われる日程を確認し、地区ガバナーにクラブがコンテストに参加することを伝えます。
 4. 子供たちのポスターが集まったら審査を実施し、入賞作品1点を選考します。
 5. 入賞作品を地区審査のために地区ガバナーに送ります。
 6. 地区審査でも入賞作品1点が選ばれ、複合地区協議会事務局へ送られます。
 7. 複合地区で選ばれた1点が国際審査のために本部へ送られます。
 8. 芸術家、青少年関係者、教育関係者、平和論者等が審査員を務めて、国際審査が行われ、23点の優秀賞受賞作品と1点の大賞受賞作品が選ばれます。
- ※上記は大まかな流れです。コンテスト実施手順の詳細は平和ポスター・キットに同梱の「クラブ・コンテスト公式ガイド及び既定」をご確認ください。

◆審査基準とテーマ

平和ポスターの審査基準は独創性・芸術的価値・テーマの表現力の3点です。テーマは毎年変わり、2024-2025 年度平和ポスター・コンテストのテーマは「**限りない平和**」です。今年度は、限りない平和の理念を追求すれば、私たちの世界を思いやりで満たす無限の可能性のあることを伝えるポスターの制作を、若い生徒たちに呼び掛けています。

平和ポスター・キットを購入



【お問い合わせ先】

コンテストに関するご質問は、以下にお問い合わせください。また、次ページの「よくある質問Q&A」もあわせてご確認ください。

ライオンズクラブ国際協会オセアル調整事務局 担当：桜澤（かばさわ）

電話： 050-1791-5822 / Email : Shopjapan@lionsclubs.org



よくある質問 Q&A

Q. 平和ポスター・キットはどのように入手できますか？

A. ライオンズ・ショップ <https://lionsclubsjapan.myshopify.com/products/ppkl> から購入可能です。

Q. なぜキットを購入する必要があるのですか？

A. 一つのコンテストにつき、一式の平和ポスターコンテストキットを購入しなければなりません。各コンテストで入賞作品 1 点を選考し、キットに含まれている入賞作品ステッカーをポスターの裏の右下に貼る必要があるためです。入賞作品ステッカーが付いていないポスターは失格となります。

Q. キットの価格はいくらですか？

A. 1,640 円です。

Q. 販売期間はいつからいつまでですか？

A. 2024 年 1 月 15 日～10 月 1 日です。

Q. 注文から納品までどのくらいかかりますか？

A. 通常発送でご注文から 10～14 日位かかります。お急ぎの場合はご連絡ください。

Q. 学校単位ではなく個人で参加できますか？

A. このコンテストは、ライオンズクラブが主催し、学校や青少年グループ単位での参加となります。

Q. 年齢制限はありますか？

A. 11 歳から 13 歳の子どもたちが参加可能です。

Q. 過去の受賞作品を見ることはできますか？

A. 前年度の受賞作品ならびに歴代の大賞受賞作品は [平和ポスターコンテストのウェブページ](#) からご覧になれます。

Q. コンテストにはどのような賞があるのですか？

A. コンテストを主催するクラブ、地区、複合地区での各選考に段階で、それぞれ賞を授与することができます。国際協会に推薦される作品の中から、優秀賞が選ばれ、賞金と賞状が授与されます。優秀賞の中から大賞が 1 点選ばれます。大賞に選ばれた作品の受賞者とスポンサークラブはニューヨークの国連本部での表彰式に出席し、賞金と楯を授与されます。





ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト 地区平和ポスター・コンテスト委員長ガイド

地区平和ポスター・コンテスト委員長は、地区ガバナーと共に活動を取りまとめ、コンテストの成功について地区ガバナーに伝え、地区ガバナーが必要とすれば力添えをすることが期待されています。

歴史

平和ポスター・コンテストは、世界平和への気持ちを独創的に表現し、そのビジョンを世界に伝える機会を子供たちに提供するため、1988年に設けられました。毎年、75ヶ国の約600,000人の子供たちがコンテストに参加しています。

このコンテストは、ライオンズクラブがスポンサーとなり実施します。地元の小学校又はボーイスカウト・ガールスカウトや学童教育などの後援・組織されている青少年グループに所属する、11歳から13歳の子供が参加することが出来ます。コンテストは、ライオンズが地域社会内で若者たちと交流し、青少年が国際相互理解に関心を持つきっかけとなると共に、ライオンズクラブについての良いイメージ作りや広報活動の手段ともなるでしょう。

準備開始

まず、コンテストについて熟知する必要があります。このガイドには、コンテスト規定、条件、役立つヒントなど、必要な情報が記載されています。併せて下記の資料もご活用ください。

- [協会ウェブサイト内の平和ポスター・コンテストのページ](#)
- ライオン誌、E ニュースレターの記事

オセアル調整事務局から無料で取り寄せられる資料については、このガイドにある「入手可能な参考資料」の箇所をご参照ください。

クラブに参加を促す

熱意を込めて参加を促すことが、コンテスト実施に大きく影響します。自分が地区の平和ポスター・コンテスト委員長であり、どんな役を担っているかをクラブに伝え、必要な連絡先や情報を知らせましょう。下記のアイデアを使って、コンテストをスポンサーするよう地区内クラブを奨励してください。

ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト

地区会報やウェブサイト、ソーシャルメディア（Facebook や Twitter など）に特別記事を掲載する：地区マーケティング委員長と協力して、地区会報やウェブサイトに載せる記事を作成しましょう。コンテストに参加する方法、クラブが参加すべき理由、コンテスト締め切り日、地区入賞者に関する事後ニュース、次の段階の審査過程への入賞者の進出状況、コンテスト応募作品の写真、地区ウェブサイトから国際ウェブサイトへのリンクなどの情報を含めます。クラブのコンテストが好意的に報道された場合には、ぜひ紹介しましょう。

コンテスト説明の準備：平和ポスター・コンテストのビデオ（DVD をオセアル調整事務局より入手可、または www.lionsclubs.org からダウンロード可）を見せ、平和ポスター・コンテスト・チラシを配って、コンテスト参加を地区内のクラブに促します。コンテストは地域社会の青少年と交流する機会であり、良いイメージの報道を受けるチャンスでもあることを強調してください。以前の参加者（生徒、教師、審査員など）に、ためになった経験談を話してもらうことも検討すると良いでしょう。また、クラブが入手できる資料や、コンテストの締切日なども伝えます。

展示：地区大会で展示会を催します。人々の関心を引く色彩豊かな展示会にするため、前年の平和ポスター、以前の参加者の感想を載せた展示物またはバナー、広報資料切り抜きの寄せ集め、以前のコンテストからの切り抜きスクラップブックなどを活用しましょう。平和ポスター・コンテストのDVD（オセアル調整事務局より入手可）や、テレビの報道を受けた場合にはその際のニュースクリップを紹介すると良いでしょう。配布用に平和ポスター・コンテストのチラシを用意しておきます。

ヒント：地区大会で平和ポスター・コンテスト・セミナーを開催することをご検討ください。

クラブの広報活動に協力する

コンテストの主な利点の一つは、コンテスト実施がクラブや地区に対するポジティブな報道を受ける機会となることです。報道してもらうためには、まずそのための努力が必要です。コンテスト・キットの中には、クラブのためにニュースリリース見本と広報の案が入っています。クラブと地区のマーケティング委員長に問合せ、報道記事をタイミング良くマスコミに送ったかどうか確認するなど、できる限りのサポートを提供しましょう。

コンテストの審査

生徒たちの想像力をひらめかせるため、毎年新しいテーマが選ばれます。テーマの表現、芸術的な技巧、独創性が、すべての審査過程でポスターを評価するために使われる3つの基準となります。

クラブがスポンサーするコンテスト 1 件毎に、一人の入賞者が選ばれて地区審査に進出します。地区レベルでも入賞作品が 1 点選ばれて、複合地区協議会議長に送られます。複合地区が次に、ポスターを 1 点選んで国際審査のために国際本部に送ります。注：地区に属さないクラブおよび単一地区は、作品を直接国際本部に送ります。

国際審査では、芸術家、青少年関係者、教育関係者、平和論者等が審査員を務め、23 点の優秀賞受賞作品と 1 点の大賞受賞作品が選ばれます。



ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト

コンテスト・アワード

大賞入賞者は、国連ライオンズ・デーでの賞贈呈式（変更の可能性あり）に無料招待されます。この式典で入賞者は、US\$5,000（または地元通貨での相当額）の賞金とアワードを受け取ります。家族二人（このうち一人は子どもの親または法的保護者）およびスポンサー・ライオンズクラブの会長又はクラブ会員（クラブ会長指定）が、式典に同伴します。

23 人の優秀賞受賞者には、US\$500 の賞金（または地元通貨での相当額）と表彰状が贈られます。最終審査に進んだ 24 点のポスターは更に、国際大会で展示されます。

注意: クラブ、地区、複合地区は、自分たちの判断に基づいて地元のレベルで追加的に賞を贈ることが出来ます。協会ウェブサイト (www.lionsclubs.org) の平和ポスター・コンテストのページからは、Honorable Mention (佳作) 表彰状 (PPC 790) を印刷することが出来ます。この表彰状は、オセアニア調整事務局に連絡して取り寄せることも可能です。

コンテスト・キット

クラブは、スポンサーする各コンテストにつき一式の平和ポスター・コンテスト・キットを注文しなければなりません。平和ポスター・コンテスト・キット(PPK-1)は、ライオンズ・ショップからオンラインで注文が可能です。キットには下記が含まれます：

- クラブ・コンテスト公式ガイド及び規則(PPC-1)
- 学校または青少年グループ・コンテスト公式ガイド及び規定*(PPC-2)
- 参加者用チラシ*(PPC-3) コピーして、参加する生徒が持ち帰れるように配布。
- 受賞ポスターの裏に貼るステッカー (PPC-4)
- 表彰状 コンテスト入賞者用(PPC-5)とスポンサーされた学校又は青少年グループ用(PPC-6)

*クラブは、この 2 種類の資料だけを参加する学校又は青少年グループに渡します。キット内の他の資料は、クラブが保管します。

コンテスト締め切り日

下記の締め切り日を守らない応募作品は失格となります。

1 月 15 日

コンテスト・キット販売開始

10 月 1 日

キットを購入出来る締め切り日

11 月 15 日

クラブが（スポンサーした各コンテストにつき）受賞ポスター1 点を地区ガバナーに送る期限（消印有効）

12 月 1 日

地区ガバナーが地区の入賞ポスター1 点を、複合地区協議会議長に送る期限（消印有効）

12 月 1 日

複合地区に属さない地区のガバナーが入賞ポスター1 点を、国際本部のブランド&クリエイティブ課に送る期限（消印有効）

12 月 1 日

地区に属さないクラブが入賞ポスター1 点を、国際本部のブランド&クリエイティブ課に送る期限（消印有効）

12 月 15 日

複合地区協議会議長が複合地区の入賞ポスター 1 点を、国際本部のブランド&クリエイティブ課に送る期限（消印有効）

2 月 1 日

国際レベルのコンテスト入賞者は、この日迄に通知を受ける

ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト

コンテストの規定及び条件

クラブ、地区、複合地区は、入賞作品を次の審査に送る前に、基準のすべてに沿っていることを確認します。下記の規定及び条件に沿っていない応募作品は失格となります。

- ❑ ライオンズクラブだけが、地元の学校、あるいは YMCA プログラム、ボーイスカウト、ガールスカウトなど後援されて組織されている青少年グループでのコンテストをスポンサーすることができます。注意: レオクラブ又はスカウト部隊などライオンズクラブがスポンサーする青少年グループでコンテストを行うことはできません。しかし、これらグループ（レオ又はスカウトなど）の個々のメンバーは、自分の学校又は他の青少年グループで行われるコンテストに参加できます。
- ❑ コンテストには、11 月 15 日に 11 歳、12 歳、又は 13 歳である生徒が参加できます。参加できる生徒の誕生日については、コンテスト・キットに掲載されています。
- ❑ コンテストのテーマは毎年変わり、コンテスト・キットに掲載されています。
- ❑ 作品は、33 センチ×50 センチ（13 インチ×20 インチ）以上で、50 センチ×60 センチ（20 インチ×24 インチ）以下でなければなりません。台紙に貼ったり、額に入れたりしてはいけません。
- ❑ 生徒一人につき 1 点だけ提出できます。生徒が単独で作成した作品でなければなりません。
- ❑ ポスターは、個々の生徒独自の作品でなければなりません。複製は受け付けられません。
- ❑ 全ての絵画用具が認められます。注意: チョーク、木炭、パステルを使用した場合には、かすれ防止のスプレーで処理します。作品をラミネートしてはなりません。
- ❑ 立体作品は受け付けません。のり、テープ、ホッチキスなどでいかなる物もポスターに添付してはなりません。
- ❑ ポスターの表には、どの言語であれ、文字や数字を使ってはいけません。作製者の署名やイニシアルは、ポスターの裏面に記入してください。

- ❑ 応募作品は、郵送用の円筒に巻いて入れられるように柔軟性のある物でなければなりません。ポスターを折らないでください。

作品提出の遅延あるいは紛失、提出宛先の間違い、応募に際して書かれた文字が読み取れない作品については、参加者側の責任となります。郵便料不足で送付された作品は失格となります。ライオンズクラブ国際協会は、審査中の作品の破損、破壊、紛失に対し責任を負いません。作品の受領について本部から連絡はいたしません。作品は返却されません。受領した時点で、作品はライオンズクラブ国際協会の所有物になります。ライオンズクラブ国際協会の書面による許可がなければ、平和ポスター・コンテストの絵を使う事はできません。

平和ポスター・コンテストに応募することで、参加者は、ライオンズクラブ国際協会の推進及び広報の目的で自分の氏名及び写真が使用されることに同意します。更に、国際大賞受賞者、二人の家族（1 人は親又は保護者）並びにコンテストをスポンサーしたクラブ会長又はクラブ会員（クラブ会長指定）は、「国連ライオンズ・デー」（変更の可能性あり）での賞贈呈式に出席する必要があります。一度国際大賞受賞者に選ばれると、ライオンズクラブ国際協会がスポンサーする今後の平和ポスター・コンテストで賞を受ける資格はなくなります。応募する事により参加者は、これらの規定並びに審査員及びライオンズクラブ国際協会の決断に従う事に同意します。

ライオンズクラブ国際協会は、いつでも通知なしにコンテストを取りやめることができます。コンテストは、禁止されたり、課税されたり、法律で制限されているところでは無効です。



ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト

入手可能な参考資料

ブランド&クリエイティブ課には、委員長及び地区内クラブのために役立つ参考資料が用意されています。下記資料は無料で提供されるもので、ライオンズクラブ国際協会ウェブサイト (www.lionsclubs.org) に掲載されています。

ウェブサイトの平和ポスター・コンテストのページ – ライオンズクラブ国際協会のウェブサイトにある [平和ポスターのページ](#) に行けば、過去の大賞受賞作品や優秀賞受賞作品を見たり、コンテストについての追加情報を得たり、資料 (*Honorable Mention* 《佳作》表彰状や平和ポスタービデオなど) をダウンロードすることが出来ます。

平和ポスター・コンテスト・チラシ(PR775) – このカラー出版物には、コンテストの説明が載っています。配布用に注文も出来ます。ライオンズ及び非ライオンズのどちらにも適した内容で、全公式国語で作成されています。ダウンロードは [こちら](#) から。

平和ポスタービデオ – このビデオ (英語のみ、字幕あり) は、ライオンズ及び非ライオンズのどちらにも適した内容で、オンラインで視聴が可能です。また、オセアル調整事務局に連絡すれば DVD を取り寄せることもできます (1枚のみ)。

平和ポスター・キット開封の儀:

平和ポスター・コンテストのキットを開梱し、その中に含まれているものについて説明する動画。

質問/リクエスト

ライオンズクラブ国際協会
オセアル調整事務局

電話:	050-1791-5820
ファックス:	03-6745-1777
電子メール:	shopjapan@lionsclubs.org
ウェブサイト:	https://www.lionsclubs.org/ja



中四国ブロックにおけるライオンズクラブ 献血推進の基本方針（2023 年度～2024 年度）

1. 400mL 献血及び成分献血を中心に、前回以上の献血協力者の確保を目指して推進活動を行う。
2. ライオンズクラブ会員所属の企業・団体等からの協力を一層推進し、呼びかけや紹介による献血者を前年度より増加させるよう、積極的な推進活動を行う。
3. 将来に向けた献血基盤の確立に向け、若年層（特に 10 代～30 代）の献血者確保及び啓発活動の推進を行う。
4. 待機時の密集による感染症の拡大防止及び事前問診による受付等の待ち時間緩和の観点から、ラブラッド（献血者専用サイト）への登録及び事前予約について関係協力団体を含めて協力を得られるよう推進活動を行う。
5. 感染症拡大など不測の事態による献血者減少時に協力を得られるよう、平素から献血状況の報告など連携を密にし、安定した献血者確保を目指した推進を行う。
6. 上記のことを推進するために、各県のライオンズクラブと連携を強化する。

令和5年度_ライオンズクラブ献血推進・協力実績【令和5年7月～12月】

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計	令和4年度 同期間実績
受付者数	295人	3,153人	2,917人	4,680人	3,219人	2,493人	4,389人	6,363人	3,335人	30,844人	32,185人
献血者数 -①	255人	2,824人	2,502人	4,027人	2,841人	2,188人	3,902人	5,825人	3,141人	27,505人	28,728人
協力日数(稼働数)-②※	8.0	60.0	44.9	66.0	49.0	45.2	54.0	96.7	77.5	501.3	528.0
1日当たりの献血者数(①/②)	31.9人	47.1人	55.7人	61.人	58.人	48.4人	72.3人	60.2人	40.5人	54.9人	54.4人
参加協カクラブ数(実数)	10団体	30団体	36団体	44団体	45団体	24団体	31団体	45団体	28団体	293団体	305団体

※協力日数(稼働数)について:終日の会場は1稼働、半日の会場は0.5稼働など、献血時間に応じて稼働数が変わります。

対象期間における 各県総献血者数	11,300人	10,539人	38,640人	58,493人	23,991人	13,165人	18,239人	26,415人	14,487人	215,269人	219,894人
中四国内総献血者数に占める ライオンズクラブ献血者数の割合	2.3%	26.8%	6.5%	6.9%	11.8%	16.6%	21.4%	22.1%	21.7%	12.8%	13.1%

令和５年度_ライオンズクラブ献血推進・協力実績【令和６年１月～２月】

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計	令和４年度 同時期実績
受付者数	21人	1,077人	1,446人	1,445人	824人	414人	1,724人	1,790人	726人	9,467人	10,173人
献血者数 -①	21人	985人	1,248人	1,257人	732人	386人	1,538人	1,653人	679人	8,499人	9,014人
協力日数(稼働数)-②※	1.0	18.6	19.8	21.0	12.5	7.8	21.5	27.5	15.5	145.2	157.3
1稼働当たりの献血者数 (①/②)	21.0人	53.0人	63.0人	59.9人	58.6人	49.5人	71.5人	60.1人	43.8人	58.5人	57.3人
参加協力クラブ数(実数)	1団体	17団体	20団体	23団体	14団体	8団体	17団体	17団体	7団体	124団体	119団体

※協力日数(稼働数)について:終日の会場は1稼働、半日の会場は0.5稼働など、献血時間に応じて稼働数が変わります。

対象期間における 各県総献血者数	3,710人	3,497人	12,962人	19,491人	8,080人	4,444人	6,179人	8,591人	4,717人	71,671人	72,029人
中四国内総献血者数に占める ライオンズクラブ献血者数の割合	0.6%	28.2%	9.6%	6.4%	9.1%	8.7%	24.9%	19.2%	14.4%	11.9%	12.5%

2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第7回会議 報告書

日 時：2024年2月7日（水）14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	鶴嶋 浩二（北海道・札幌中島ライオンズ ^㉟ ）
国際理事	城 阪 勝喜（大阪港ライオンズ ^㉟ ）
委員長	藤 谷 文雄（332複合地区／秋田県・大曲ライオンズ ^㉟ ）
編集長	団 英 男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズ ^㉟ ）
委員	田 中 明（330複合地区／埼玉県・和光ライオンズ ^㉟ ）
委員	馬 場 哲也（331複合地区／北海道・函館東ライオンズ ^㉟ ）
委員	増 澤 義治（334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズ ^㉟ ） 一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長
委員	上 田 隆政（336複合地区／広島県・三原ライオンズ ^㉟ ）
ITアドバイザー	荘 英 隆（東京恵比寿ライオンズ ^㉟ ）
欠席者：国際理事	濱 野 雅 司（埼玉県・岩槻ライオンズ ^㉟ ）
委員	三 枝 久 夫（333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズ ^㉟ ）
委員	瀧 野 二 三 世（337複合地区／大分ライオンズ ^㉟ ）
一般社団法人理事長	田 名 部 智 之（青森県・八戸ライオンズ ^㉟ ）
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	星 野 勝 美（群馬県・太田ライオンズ ^㉟ ）



藤谷委員長による開会あいさつがあり、その中で「1月25日発行の印刷版冬号の掲載原稿についてさまざまな意見が寄せられており、今後熟慮していく必要がある」として、委員の協力を求めた。続いて鶴嶋、城阪両国際理事からあいさつがあり、委員長が言及した原稿について次の趣旨の発言があった。

鶴嶋国際理事：国際協会から補助金を受けて活動の普及を図るべきライオン誌に、個人の意見とはいえ協会を揶揄するような原稿が掲載されたことに大きな問題がある。これまで、国際理事はライオン誌の発行に対する責任はあるものの、編集に口をはさむことはないと言ってきたが、どうしてこのような投稿が掲載されたのか、今日の審議の中でこの原稿が掲載された経緯の説明を聞きたい。委員会でよく議論して同じ轍を踏まないようにしてほしい。

城阪国際理事：会員を意欲付け、より良い方向へ向かうようにすることがライオン誌の役目である。国際理事は必要な時に注意を促すガードレールのような立場であり、編集内容に関してはライオン誌委員で十分に検討して良いライオン誌を作ってほしい。どのような考え方でこの原稿を掲載したのか説明してもらい、この先は同じようなことが起こらないようにしていかなければならない。

あいさつの後、出席者を確認し、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●2023年7～12月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。収入の部では12月に上半期の国際協会翻訳料30,000円（予算執行率25.0%）が入金された他、1月入金の上半期国際協会補助金11,519,062円（同53.1%）を未収入金として計上。支出の部では、12月は印刷版ライオン誌の発行はなかったため直接出版費は前月からほぼ変動はなく16,487,089円（同51.8%）だった。毎月発行のデジタル版関連費は6回発行完了時点で2,862,669円（同41.1%）だった。予算に沿って運営されていることを確認した。

●国際本部からの翻訳料及び補助金

国際本部から12月に入金された翻訳料と、1月に入金された補助金の送金通知書を確認した。

●2024-25年度ライオン誌事業計画案

委員会として次年度予算案を作成するため、ライオン誌の事業計画を検討した。発行回数は今年度と変わらず、印刷版年4回とすることを決定。予算案に事務費を含めるべきかを社団の専務理事である増澤委員に確認したところ、事務費は含めずにライオン誌の編集・印刷の費用のみの予算案作成を求められた。印刷・編集・発送の外注費の3社見積もりを取った上、4月委員会で予算案をまとめて社団へ提出する。

2. ウェブマガジン編集関係

●2024年2月号（2月1日公開）出来

公開済みの2月号の出来を確認した。1月末に掲載を開始した「特集・能登半島地震」で被災地支援に取り組むクラブから寄せられた情報を掲載。また団編集長から、2月2～3日に石川県に入り輪島市門前町、能登町で支援活動の取材を行ったことが報告された。団編集長の取材リポート記事は委員会後、各委員が確認した後、掲載する。

●2024年3～5月号更新予定（案）

3～5月号の主要コンテンツの内容を確認した。3、4月号の「取材リポート」を一部変更し、能登半島地震の被災地支援に関する記事を追加。今後の地区及

びクラブによる支援活動の情報を集め、可能な場合は委員による取材を行う。

3月号「日本ライオンズ情報」は全国アラートフォーラムの原稿を池原堅アラート委員長に依頼済み。

4月号「国際理事だより」は国際理事3人に原稿を依頼し、春季国際理事会の終了後、3月中を目処に提出をお願いする。

- 「取材レポート」取材対象候補
「クラブアンケート」で収集した5～6月に実施予定のアクティビティのリストから、取材候補を協議した。候補に上がった活動の詳細情報の確認と取材対象の選定は、団編集長に一任する。

3. 印刷版編集関係

- 2024年冬号(1月25日発行／81,100部)出来
1月25日発行の冬号の出来を確認した。冒頭あいさつでの両国際理事の求めを受け、獅子吼欄に投稿原稿「クラブの主権を考える」を掲載した経緯について団編集長、続いて藤谷委員長から、次の趣旨の説明があった。
- 団編集長：編集部へ届いた当該の投稿原稿の内容を委員長と編集長で精査し、文中にかなりきつい言葉があるためそのまま掲載することは出来ないと判断。投稿者に対し、穏当な表現に書き換えることが出来れば掲載の可能性のある旨を編集部から連絡した。獅子吼の投稿はウェブマガジンにも掲載しているが、当該原稿については一般の人が閲覧出来るウェブでの公開は控えた方がよいと考え、掲載する場合には印刷版のみにすることを委員長と編集長で協議。その後、書き換え済み原稿をライオン誌委員へ送って確認を求めたところ、掲載に反対する意見はなかった。理事会方針書 第16章ライオン誌には『会員の意見は、それが必ずしも協会の立場を表すものでないことを明記することを条件に、手紙又は記事の形で載せることができる』とある。獅子吼は会員が自由に発言出来る場とすべきとの判断から掲載することとした。
- 藤谷委員長：掲載の経緯は団編集長の説明の通り。前回委員会の前に冬号記事を送っており、内容については了承を得たものと理解していた。国際理事への確認が不足していたことについて申し訳なく思っている。

続いて各委員がそれぞれの意見を述べ、以下のような意見があった。

「言葉の解釈の仕方は人によって異なるため、無難な形を探っていくしかない」

「掲載を拒否すればSNSなど他に波及する危険があり、掲載すればそれに対する批判もあって、判断が非常に難しい」

「こうした原稿を全て排除することにも問題があり、高度な判断が必要」

「今後、どのように掲載を判断するかしっかり考える必要がある」

委員が意見を述べた後、両国際理事から次の趣旨の発言があった。

鶴嶋国際理事：国際協会の補助金と会員の拠出金で発行する機関誌であることを鑑みると、掲載内容が国際協会の普及活動になるか、ならないかを第一に考えるべき。活字が暴力になることもある。個人の意見とはいえ、活字になったことの影響は大きく、この問題が拡散した時の責任の所在について委員会で考えてもらいたい。

城阪国際理事：会員の意見は何を載せてもよいというものではなく、ルールがあるべきで、この内容を掲載したことは遺憾。団編集長が触れた理事会方針書の項の前段には「公式版の編集者は、国際理事会、複合地区ガバナー協議会、又は地区キャビネットの方針に反する方針を支持してはならない」とあり、ライオン誌にそぐわない記事は責任を持って外すべき。どうしても載せるのであれば「国際協会の方針に反するものであるが、個人の意見である」という記載を入れる必要がある。

出席者の意見交換の後、団編集長から、委員によるしっかりとした議論とより慎重な判断をもって編集に当たることとし、今回の件については今後の状況を見ながら対応していきたいと述べた。これに対し鶴嶋国際理事から、各委員が説明出来るように現時点での委員会としての統一見解を示してはどうかとの助言があった。助言を受けて藤谷委員長が、団編集長と共に文書を作成して各委員に送ると応じた。

- 2024年春号(4月25日発行)台割(案)
前回検討した台割に「特集①能登半島地震被災地支援」を追加した修正案を確認した。国際協会配信「ミッション1.5」「国際理事だより：城阪国際理事」「編集室：団編集長、増澤委員」「特集②：小児がん」。
- 「ミッション1.5」の記事掲載に関して城阪国際理事から、国際協会配信の記事と共に、日本国内の進捗状況を伝える記事も掲載してはどうかとの提案があった。日本国内の活動も一緒に掲載出来るよう、2月15日に開催されるミッション1.5進捗報告会(愛知県名古屋市)の内容を取材するか、担当リーダーに原稿を依頼するか、いずれかの方法で記事を作成する。

4 主要記事予定

- 2023-24年度主要記事予定
今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。
- 2024年3～4月取材経費概算
3～4月に行う取材の経費概算を確認し承認した。

5. その他

- ServannA(サバンナ)関係
前回委員会の決定を受けて、日本情報サービス合同会社(旧・JPインターナショナル)から新しい会員種別「特典会員」をサバンナに反映させるための見積り(110,000円)を取った。その内容について荘ITアドバイザー

から説明を受け、機能を追加することを承認した。

●ライオン誌公式SNS

ライオン誌が運用している公式SNSの登録者数のデータを確認した。SNS登録者を増やすため、ライオン誌のSNS投稿に対して委員が自身のアカウントで反応するよう努める。

閉会あいさつ 藤谷委員長

【次回開催予定】

3月 4日（月） 14:00～16:00 第8回会議（Zoom）

2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第8回会議 報告書

日 時：2024年3月4日（月）14:00～16:00
場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	鶴 嶋 浩 二（北海道・札幌中島ライオンズ [㊟] ）
国際理事	濱 野 雅 司（埼玉県・岩槻ライオンズ [㊟] ）
国際理事	城 阪 勝 喜（大阪港ライオンズ [㊟] ）
委員長	藤 谷 文 雄（332複合地区／秋田県・大曲ライオンズ [㊟] ）
編集長	団 英 男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズ [㊟] ）
委員	田 中 明（330複合地区／埼玉県・和光ライオンズ [㊟] ）
委員	三 枝 久 夫（333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズ [㊟] ）
委員	増 澤 義 治（334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズ [㊟] ） 一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長
委員	上 田 隆 政（336複合地区／広島県・三原ライオンズ [㊟] ）
委員	瀧 野 二 三 世（337複合地区／大分ライオンズ [㊟] ）
一般社団法人理事長	田 名 部 智 之（青森県・八戸ライオンズ [㊟] ）
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	星 野 勝 美（群馬県・太田ライオンズ [㊟] ）
ITアドバイザー	荘 英 隆（東京恵比寿ライオンズ [㊟] ）
欠席者：委員	馬 場 哲 也（331複合地区／北海道・函館東ライオンズ [㊟] ）



藤谷委員長から開会あいさつがあり、能登半島地震の被災地におけるライオンズクラブの支援活動は一部ではあるがウェブマガジンに掲載しており、多くの人に読んでほしいと述べた。また、前回委員会で鶴嶋、城阪両国際理事から指摘を受けた印刷版冬号「獅子吼」の投稿原稿に関して、これを掲載したことで両国際理事の心証を損なったことを謝罪した上、「ライオン誌編集においては理事会方針書第16章ライオン誌に『公式版の編集者は、国際理事会、複合地区ガバナー協議会、又は地区キャビネットの方針に反する方針を支持してはならない』という記載があり、私たちライオン誌日本語版委員会は理事会方針書に則って編集・発行に努めるべくご協力をお願いしたい。国際理事の皆様にはこれまで以上に、大所高所からのご指導をお願いしたい」と述べた。

続いて各国際理事からあいさつがあり、それぞれ次の趣旨の発言があった。

鶴嶋国際理事「今年度は残り3カ月となり、残る期間でやり残すことのないように励んでほしい」、濱野国際理事「ライオン誌の内容充実だけでなく、多くの人に読んでもうための施策やアイデアを出し合って読者数を増やしてほしい」、城阪国際理事「藤谷委員長から獅子吼に関する話があったが、これからはそのように編集をお願いした。今年度初めに委員長、編集長から預かった質問事項に対する回答が、公式版ライオン誌に関する権限を持つ国際本部の事務総長、マーケティング部長、法律部長から届き、現在翻訳を行っている。バンクーバー国際理事会終了後の4月中に次回のライオン誌検討委員会が開かれるかと思うので、その際に英語原文と日本語訳を提示したい」

田名部理事長からのあいさつでは、次の趣旨の発言があった。「前回委員会は欠席したが報告書を読み、また藤谷委員長から説明があった『獅子吼』の原稿に関しては国際理事から意見を伺っている。ライオン誌日本語版委員会は一般社団法人日本ライオンズの中の委員会ではあるが、編集については全て委員会に任せており、編集について口を出すことはこれからはないわけだが、編集方針のルールを外れてしまったことに対して社団としてどう対処するかという指摘もある。社団の執行理事会と理事会でこの件を審議し、さまざまな意見が出た。私としては社団として何かを罰するとか責任を取らせるということは避けたいが、再発防止のためには明確な措置を取らなければならない。これについてどのように始末をするか、藤谷委員長、団編集長と協議して速やかに手を打ちたい」

あいさつの後、出席者を確認し、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●2023年7月～2024年1月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。1月は印刷版ライオン誌が発行され、年間4回中3回の発行が完了した時点で直接出版費は24,347,765円（予算執行率76.6%）。毎月発行のデジタル版関連費は7回発行完了し3,137,729円（同45.1%）。ライオン誌委員会の旅費は1月に集合会議が開催されて285,000円（同45.2%）となった。予算に沿って運営されていることを確認した。

●2024-25年度ライオン誌事業計画案

前回委員会で、次年度予算案を作成するために3社見積を取ることにしたのを受け、委員による業者の推薦がないか確認。増澤委員から印刷会社への打診をしており見積要項書を作成してほしいとの発言があった。印刷及び発送に関する見積要項書を作成するよう事務局に指示した。

2. ウェブマガジン編集関係

- 2024年3月号（3月1日公開）出来
公開済みの3月号の出来を確認した。

●2024年4～5月号更新予定(案)

4～5月号の主要コンテンツの内容を確認した。5月号「編集室」(印刷版流用なし)の担当は渕野委員(337複合)の担当とすることを決定した。

●「取材レポート」取材対象候補

前回委員会での協議を踏まえ、4～5月実施予定の奉仕活動の中から団編集長が挙げた4件を6、7月号の取材候補とすることを決定。うち3件は日程が確定していないため、掲載号は開催日によって調整する。また、6月実施予定のアクティビティのリストを検討。取材候補とする奉仕活動は団編集長に一任する。

3. 印刷版編集関係

●2024年春号(4月25日発行)台割(案)

基本の編成に8ページ増やした44ページの台割案を確認した。「特集①能登半島地震」「ミッション1.5」(国際協会配信)「国際理事だより：城阪国際理事」「編集室：団編集長、増澤委員」「特集②：小児がん」。

国際協会から配信された「ミッション1.5」英語版を確認。記事は掲載必須、表紙は掲載推奨の指定となっている。掲載推奨の表紙を使うかどうか委員の意見を聞いた上、配信された表紙で編集作業を進めることにした。また、前回委員会で指定記事と併せて掲載することにした日本国内のミッション1.5進捗状況報告はオセアル調整事務局に手配を依頼済みで、報告原稿が届き次第、確認することとした。

4 主要記事予定

●2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

●2024年4～5月取材経費概算

ウェブマガジン6、7月号の取材候補とした奉仕活動4件の経費概算を確認し、承認した。

5. その他

●ライオン誌投稿欄(ウェブマガジン・印刷版)

前回委員会において、国際理事から印刷版冬号「獅子吼」に国際協会を批判する内容を含む投稿を掲載したことを問題視する意見が出たことを受けて、団編集長から2021-22年度ライオン誌日本語版委員会で策定した掲載ガイドラインに関する説明があった。ガイドラインでは他者への誹謗中傷や差別に当たるもの、営利目的の宣伝や勧誘に当たるもの、差別的表現など人を不快にさせる表現を含むもの、委員会が掲載に不適と判断したものを含む原稿・写真は掲載対象から除外することとしている。団編集長は、今後このガイドラインに沿って慎重に掲載可否を判断すると述べた。ま

た、印刷版春号からは「獅子吼」欄内に、掲載原稿は個人の意見であり、国際協会の立場を表すものではないこと、ライオン誌日本語版委員会がその内容を支持するものではないことを明記するとし、記載する文章については用意出来次第、各委員に確認してもらうとの説明があった。

これに関連し、現在「獅子吼」で掲載保留としている投稿原稿1点の掲載について協議した。団編集長から、原稿には個人の経歴に関する情報が含まれていることから慎重に判断したいとの説明があり、出席者に意見を求めた。投稿者の社会貢献活動に関する内容で掲載して問題ないとの意見が大半だった一方、「掲載により執筆者が傷つくような事態が生じる危惧もある」という意見や「個別の内容よりも掲載することが会員の意欲を高めるものであるかを基準に判断してはどうか」との示唆もあった。これらを踏まえ、更に情報を確認した上で判断することにした。

●ウェブマガジンの改修

団編集長から、PDF配布に切り替えた「ライオンズクラブ入門」の注文フォームの削除や、ハッシュタグによる記事収集機能のキーワードなど、基幹部分で改修が必要な箇所があるとの報告があり、制作を担当した業者に見積を依頼することとした。

●ServannA(サバンナ)関係

荘ITアドバイザーから、オセアル調整事務局へ問い合わせた懸案事項2件の経過報告と説明があった。

Lion Portal移行に伴うeMMRについては、大きな影響はないとの国際本部IT部長の回答ではあるが、技術担当者から回答が届くことになっている。また、新しい会員種別・特典会員の施行によるライオン誌発送対象の変更はないことを確認した。

サバンナへの特典会員(学生会員、レオライオン、若年成人会員)の項目追加については、前回承認された見積で発注し近くテストが出来る見込み。

閉会あいさつ 藤谷委員長

【次回開催予定】

4月 8日(月) 14:00～16:00 第9回会議 (Zoom)

5月 9日(木) 14:00～16:00 第10回会議 (Zoom)

6月13日(木) 14:00～16:30 第11回会議 (集合／日本ライオンズ事務所)

2023-2024
一般社団法人 日本ライオンズ
第5回国際大会委員会(Web) 議事要録

作成者 : MD334 大山 恭範

日時 : 2024年1月18日(木) 13:30-16:00

出席者

国際理事

2022-24 国際理事/LCI 大会委員会	鶴嶋 浩二 (札幌中島 LC)	【欠席】
2023-25 国際理事	城阪 勝喜 (大阪港 LC)	【欠席】
2023-25 国際理事	濱野 雅司 (岩槻 LC)	

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部智之 (八戸 LC)	
専務理事 / 国際大会委員会(補)	増澤 義治 (諏訪湖 LC)	【遅れて参加】

国際大会委員会

委員長	吉村 弘吉 (和歌山 LC)	
副委員長/副理事長	松浦 淳一 (岩見沢はまなす LC)	【欠席】

各複合地区国際大会委員

MD330	中嶋 文夫 (東京文夫 LC)	【代理出席】
MD331	本所 光男 (室蘭東 LC)	
MD332	村上 孝 (水沢中央 LC)	
MD333	岡野 良男 (土浦環 LC)	
MD334	大山 恭範 (一宮 LC)	
MD335	江草 長史 (和田山 LC)	
MD336	徳永 修 (尾道 LC)	
MD337	曾山 純廣 (霧島みらい LC)	

公認 TC 代表

MD335 公認 TC JTB 大阪第二事業部	沼間 章作	
-------------------------	-------	--

オブザーバー/各複合地区公認 TC

MD333-E 国際大会委員長	車田 一恵 (霞ヶ浦 LC)	
MD333-E 国際大会副委員長	藤野 将寛 (霞ヶ浦 LC)	
MD330 公認 TC ウィントラベル 東京営業支店	大西 智久	【欠席】
MD331 公認 TC JTB 北海道事業部	中牟田憲一	
MD332 公認 TC 名鉄観光サービス 盛岡支店	川村 勲	【代理出席】
MD333 公認 TC ウィントラベル 代表取締役	加藤 勉	
MD334 公認 TC JTB 名古屋事業部	丹羽 祐太	
MD336 公認 TC 近畿日本ツーリスト 広島支店	金子愛梨佳	
MD33.7 公認 TC JTB 福岡支店	蘭田 花奈	

議 事

1. 開会宣言

吉村委員長より開会宣言と盛りだくさんの協議内容のため、会議のスムーズな進行に協力をお願いがなされた。

2. 挨拶

◇濱野雅司国際理事より以下の挨拶があった。

今年もよろしくお願いします。メルボルン国際大会まであと半年となり3月のバンクーバー理事会では最新の情報があると思う。メルボルンでの国際理事会の案内がすでに届いており半年といっても身近に感じるので参加者に案内しながら多くの方にご参加いただきたい。

また、冬の国際大会であること、現時点では国際理事候補者がいないなど通常の国際大会とは異なるので、パレード・ジャパンレセプションなど費用の点も含めて皆さんで知恵を出し合っていていただえずばらしい大会にしてほしい。本日はどうぞよろしくお願いします。

◇田名部智之一般社団法人日本ライオンズ理事長より以下の挨拶があった。

会議冒頭は移動中の参加であったため音声がつながらず議事進行途中の挨拶となりましたことお詫びいたします。内容は拝聴しておりましたが、今年度は議長とガバナーの連絡を上手くとることを目指しております。メルボルン国際大会参加について今年度は複合地区単位で動くということを確認しておりますので、複合地区委員長としてご出席の委員の皆さんには是非とも議長とガバナー、複合地区と地区の橋渡しをお願いしたい。

3. 出席者確認及び進行について

吉村委員長より出席者リストに基づき各複合地区の委員長とオブザーバーで出席の333-E地区大会委員長・副委員長の紹介、各複合地区公認のツアーコーディネーターの紹介があり、ツアーコーディネーターは、MD330TCが欠席、MD332TCは体調不良により上司である川村氏の出席を確認した。

4. 議事録作成人の指名、および提出締切日の確認

大山恭範 MD334 国際大会委員長が指名される。1月31日までに提出のこと。

5. 第106回メルボルン国際大会【2024年6月21日(金)－25日(火)】

A. 公認TC報告

① 公認TCリストとして最新版の名簿が配布された……………A

② ホテル予約室数……………B

幹事エージェント(株式会社JTB大阪支店)沼間氏より以下の報告があった。

○オセアル調整事務局のご協力の基に日本全体でシングル・ツイン合わせて560室を国際協会に要望し、デポジットも支払い済み。ただし日本として希望していた4つのホテルでは確保しきれず、他の二つのホテルも追加しての確保となっている。また、現時点ではホテルごとの部屋数も確認できていない。

部屋数が判明し次第TC会議を開催、各複合地区のホテル配分を行いたい。

③ ——吉村委員長からの補足……………追加資料1

・1月18日付けでオセアル調整事務局から日本ライオンズに入った情報では全部で8つのホテルに分散して利用することになる。

- ・いずれもシャトルバスが利用可能であり、またトラムの駅も近いので、特に専用バスをチャーターする必要はないと思われる。

- ・沼間氏には早急に各複合地区配分を決めるようお願いしたい。できれば MD 単位で振り分けられたい。(各複合地区委員長と TC とよく相談しておく)

○MD330 は準地区ごとに公認を指定しているので、今回の予約室数に関しても国際協会との間で混乱が生じた。日本ライオンズ国際大会委員会または MD330 として態勢を整えていただきたい。

——吉村委員長から、MD330 中嶋副委員長に今年度のメルボルン大会は複合地区単位でまとも動くことを前提としているので MD330 におかれても複合地区指定のウイントラベル(MD333 も指定)を中心にまとめてもらえるよう要請があった。

- ④ 各 MD 登録状況C および追加資料 2
- 各複合地区から早期登録者数の報告があり 8 複合地区合計で 786 名。この数字から日本全体で 800 名の参加が見込まれる。準地区ごと登録者数および参加予定者数を 1 月 25 日までに日本ライオンズに報告する。

B. パレード・代議員会

- ① パレード参加体制D
- 参加方法(日本で一本化するのか、MD 毎とするのか)とユニフォーム、参加者対象者について各複合地区の考えを発表、濱野国際理事、田名部理事長の意見もお聞きしながら検討の結果、以下の通りとすることとした。

——・日本で一本化して参加する。

- ・基本的には希望者全員に参加していただくが、複合地区内の参加希望者が多すぎて統制がとれなくなると判断された場合の対応は各複合地区に委ねる。

- ② パレード頒布品

——・ユニフォームは防寒着の上からでも着用可能なベストにする。

- ・交換ピンは 2 種類のデザインとする。缶バッジも含め検討する。

- ・ライオンズ公認業者に連絡しコンペとする。

- ・コンペ実施は、次回会議にて (※2024 年 2 月 21 日(水))

- ③ 代議員会開催、取り組みE

MD331 本所委員、MD332 村上委員からの提案のジャパンレセプション実施要領に基づき代議員会のみとするのか、レセプションとすることを含めて検討した。

——6 月 22 日(土)17:00-18:00、500 人規模のジャパンレセプション(立食)として開催することとして、オセアル調整事務局を通して国際協会に会場の申し込みをする。その結果をもって次回委員会で改めて内容の検討をする。

6. 次回、開催日程

2024 年 2 月 21 日(水)13:30-16:00 の開催とする。

公認 TC 代表 JTB には出席いただくが、ほか MD 公認 TC についても、改めてお声がけするとして念のためご予約空けておいていただければありがたいです

7. 閉 会

※閉会后ウイントラベル加藤氏よりメルボルンに関する情報提供があった。次回詳しく聞くこととした。

以 上